

(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画

平成30年3月

長 南 町

目次

第1章 基本計画策定にあたって

1	基本計画策定の目的	2
2	基本計画の対象地	3
3	基本計画策定の進め方	4
4	渡邊辰五郎の「創造性」	5
5	東京家政大学の「専門性」	5

第2章 前提条件

1	町の概況	8
2	建設予定地概要・周辺状況	9
3	アンケート・ワークショップの結果概要	11

第3章 基本理念・基本コンセプト

1	基本理念・基本コンセプト	18
2	導入機能	19

第4章 導入機能・諸室構成

1	導入機能の詳細検討	22
2	諸室構成の検討	29

第5章 施設計画

1 建物・広場の配置計画	34
2 諸室の配置計画	36

第6章 管理・運営計画

1 管理・運営体制	42
2 運営組織の形態・運営費	46
3 自立化へ向けて	48

資料

1 策定体制	56
2 (仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会	57
3 先進事例視察の結果	61
4 (仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画策定に向けたアンケートの結果	64
5 導入機能・諸室構成の検討に関わるワークショップの結果	96

第1章 基本計画策定にあたって

1 基本計画策定の目的

長南町は、都心から 60km 圏内にあって豊かな自然、質の高い農産物、豊富な歴史遺産や観光資源など、多くの魅力を内包した地域であるが、過疎地域に指定され、活性化が大きな課題となっている。

町では、「長南町第 4 次総合計画」において、「自然が誇り 住むことが誇り 元気な町 長南」を将来像として掲げ、その実現に向け様々な施策を展開しているところである。その一環として、「長南町都市計画マスタープラン（H26.3 改訂）」の中で、まちづくりの基本理念として「環境共生のまちぐるみ博物館 長南～人と自然が協奏するエコ・ミュージアムづくり～」(以下、「長南まちぐるみ博物館」という。)を掲げている。

また、「長南町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、「総合戦略」という。)の中で、基本目標の一つ「地方への新しいひとの流れをつくる」副題として、「～自然環境と資源を活用した魅力あふれる長南づくり～」を掲げている。

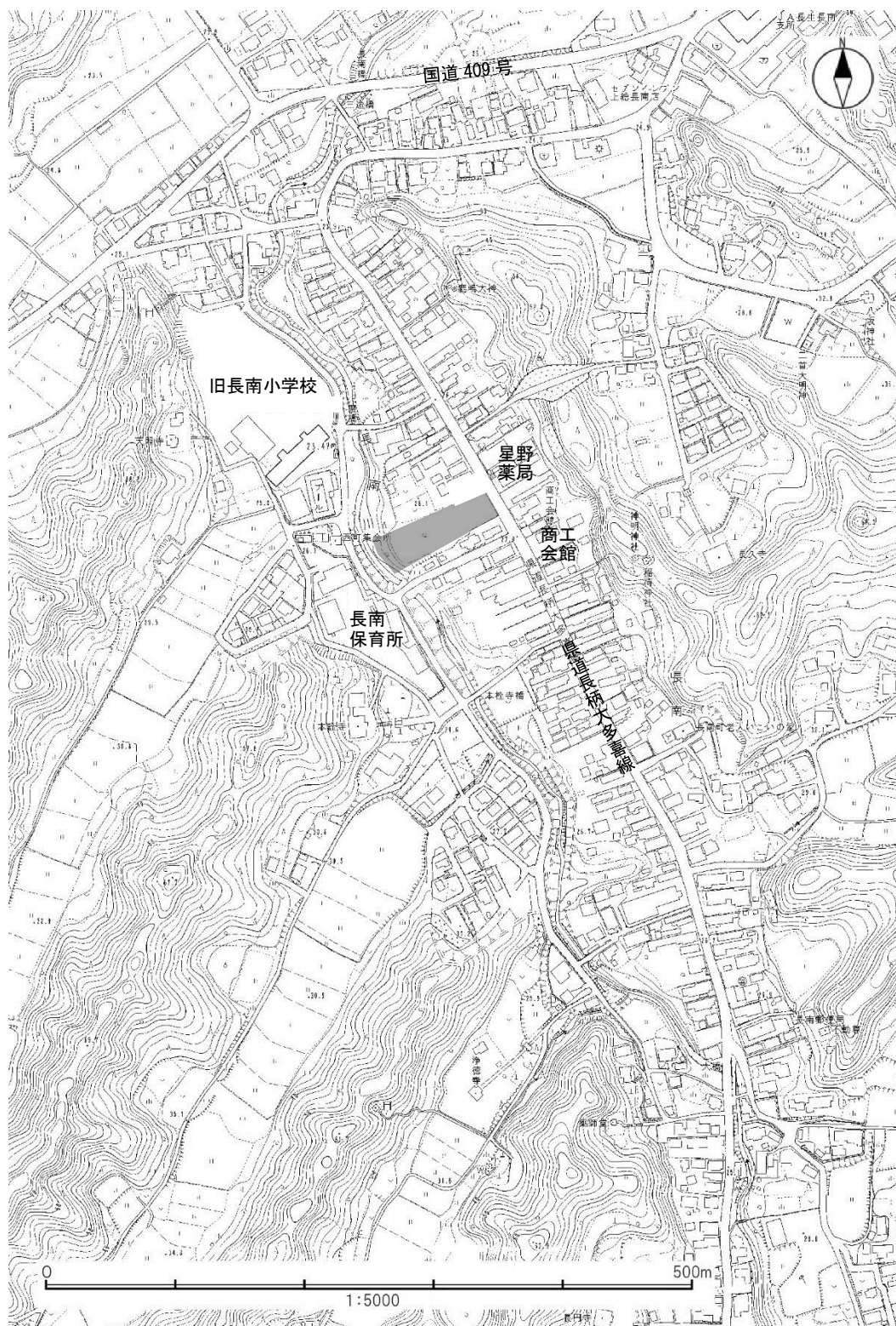
町の魅力を高め、新しい人の流れを創り、町の活性化に繋げるためには、新たな魅力づくりが必要である。この新たな魅力づくりへ向けて、「長南まちぐるみ博物館」構想の中核をなし、総合戦略に位置付けられた、郷土の偉人渡邊辰五郎の記念館を拠点とする長南宿活性化と、国の「地方創生加速化交付金」の対象に位置付けられた事業の推進へ向けて、平成 28 年度には、記念館の基本理念・基本コンセプト、施設や運営に関する基本的な考え方、方向性を整理し、方針として示した「(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本構想」(以下、「基本構想」という。)を策定したところである。

「(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画」は、「基本構想」でとりまとめた内容を基に、施設整備や活動について具体的に検討し、国の「地方創生推進交付金」の活用により策定したものである。

2 基本計画の対象地

記念館の建設予定地は、長南宿の中央（仲宿）に位置し、県道長柄大多喜線に面する渡邊辰五郎出生地跡である。本基本計画においては、建設予定地及び、長南宿の範囲を最大とした建設予定地周辺を対象とする。

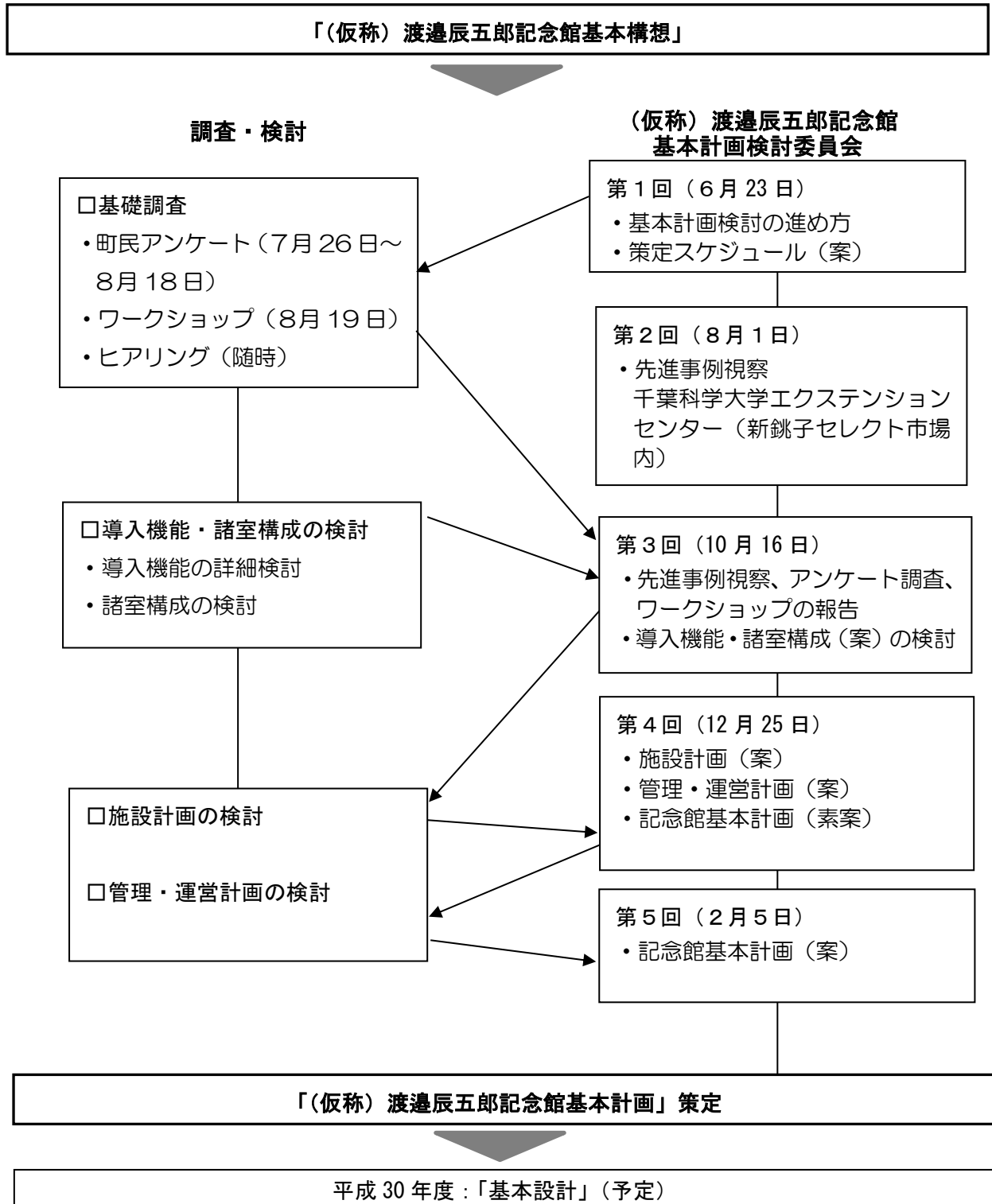
●建設予定地 (◎所在地：千葉県長生郡長南町長南2550-1～3、2551)



3 基本計画策定の進め方

基本計画の策定にあたっては、地域団体の代表者、学識経験者、関係機関の職員等、産業界及び金融機関の関係者、教育委員会が必要と認める者で構成する「(仮称)渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会」を設置し、この委員会の中で計画の検討・協議を行った。

また、無作為抽出した18歳以上の町民1,000人を対象に「町民アンケート調査」を実施する一方、町民及び検討委員会委員による「ワークショップ」を開催し、町民の意見把握を行った。



4 渡邊辰五郎の「創造性」

■～仕立職人から近代女子教育のパイオニアへ～■



渡邊辰五郎

渡邊辰五郎は弘化元（1844）年、長南の仲宿に生まれ、15歳で江戸の仕立屋に奉公して修練を積んだ。

明治元（1868）年に長南で仕立屋を開業し、仕事の合間には近くの子女に裁縫を教えていた。

明治6年に開校した長南小学校は、当時就学率が低かった女子を学校に通わせるため、辰五郎を裁縫教員として迎えた。しかし、従来の裁縫手習いと近代的な学校教育の授業は全く異なっており、辰五郎は工夫を重ねて教科書やひな形を使用した学習法などを考案し、近代的な裁縫教育の基礎を創りあげた。

本格的に教育者の道を歩み始めた辰五郎は明治14年、東京で和洋裁縫伝習所（現・東京家政大学）を創立し、同19年には共立女子職業学校（現・共立女子大学）の創立にも参画して、新しい時代に生きる女性の教育に、生涯を通して情熱を注いだ。

本記念館の整備にあたっては、渡邊辰五郎がこのように自らの裁縫技術を近代教育という新しい場に活かすため、様々な道具や方法を考え、発展させていった「創造性」を規範とした地域活性化の拠点づくりを目指すこととする。

5 東京家政大学の「専門性」

東京家政大学は、本町出身の渡邊辰五郎を校祖とし、女性の“自主自律”を建学の精神とした東京都板橋区加賀に本部を置く私立大学である。学部は、家政学部・人文学部・看護学部（平成30年4月より健康科学部）・子ども学部・短期大学部から成り、子どもの保育・教育や服飾、栄養、造形芸術分野の研究など、人間の生き方を中心により良い生活のあり方を探求し、社会と密接に関わる研究と教育を進めている。また、大学の専門性を活かした産官学等各種機関との連携につとめ、地域社会の発展に寄与することを積極的に推進している大学でもある。

長南町との関係においても、平成28年8月に、相互の資源を活用することにより地方創生の推進や住民福祉の向上、学術等の発展に寄与することを目的とした「連携協力に関する包括協定書」を締結し、子育て支援、児童教育、食育、健康づくり、環境、福祉、文化・芸術等の分野において、大学の特性を活かした連携を行っていくことが明記されている。これまで、長南町産の食材を使用したレシピ開発や大学生が長南町に滞在し、長南宿のまち歩きや町民との意見交換により、町の魅力を相互に発見していく「協働プログラム」の実施などの連携が行われている。

本町では、このように、東京家政大学の様々な分野における専門性を「（仮称）渡邊辰五郎記念館」を拠点とする地域のまちづくりに活用していきたいと考えている。

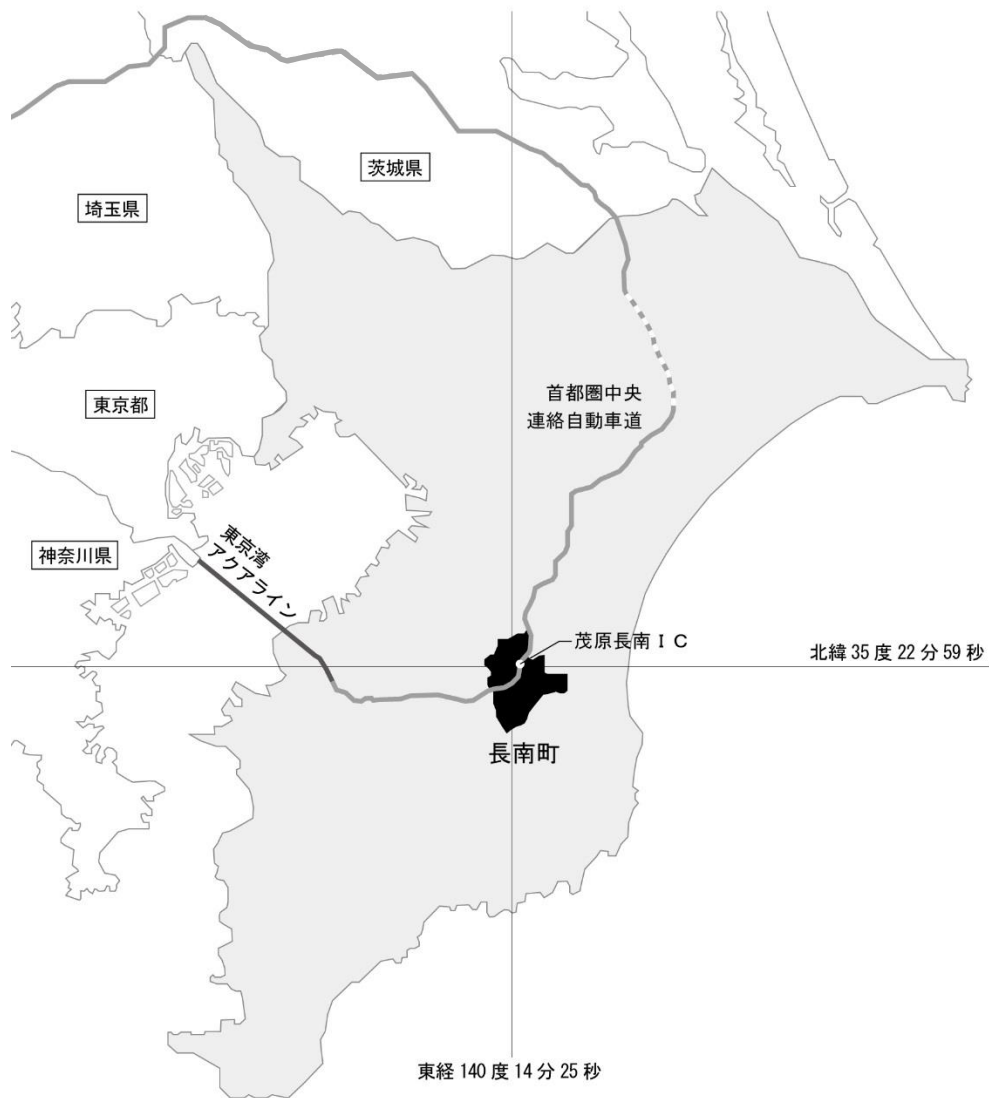
第2章 前提条件

1 町の概況

本町は、昭和30年2月に庁南町、豊栄村、東村、西村の1町3村が合併して誕生した。県都千葉市の南約25km、茂原市の南西に隣接した位置にあり、緯度経度は北緯35度22分59秒、東経140度14分25秒である。

面積は、65.51km²を有し、茂原市・長柄町・市原市・大多喜町・睦沢町の2市3町に接している。

本町には鉄道はないが、国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）が平成25年4月に開通し、茂原長南ICも開設された。この整備効果の活用が、本町のまちづくりの課題としてあげられている。



2 建設予定地概要・周辺状況

(1) 周辺状況

□建設予定地の東側

- ・県道 147 号（県道長柄大多喜線）が通っている。
- ・県道 147 号を挟んだ向かい側は、国登録有形文化財の星野薬局や商工会館が立地している。

□建設予定地の西側

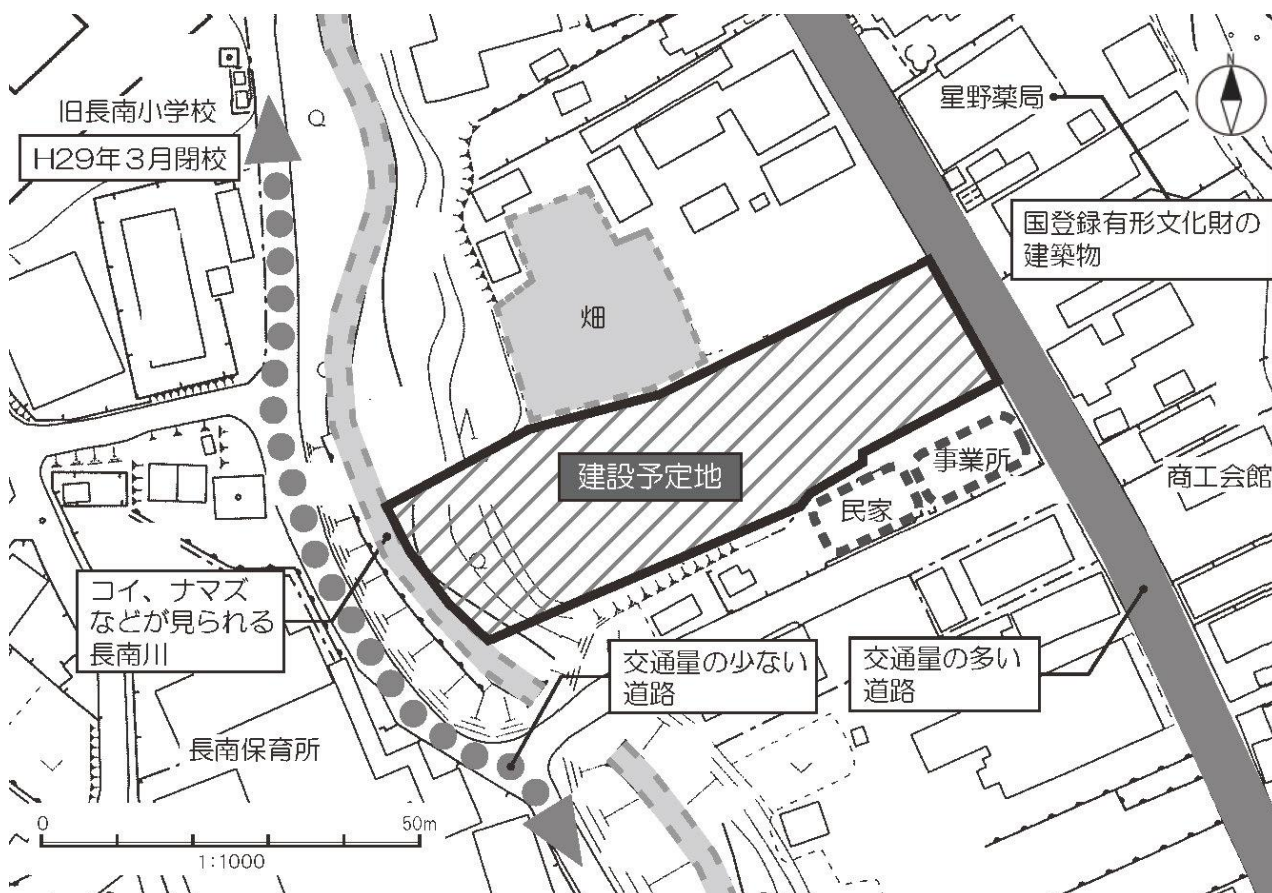
- ・水質がきれいな準用河川の長南川が流れ、川沿いは竹藪となっている。
- ・長南川を挟んだ向かい側には、閑静な生活道路が通っており、沿道には旧長南小学校（平成 29 年 3 月閉校。長南町立小学校跡地活用検討委員会で跡地活用を検討中）や長南保育所といった公共施設が立地している。

□建設予定地の北側

- ・県道 147 号に面する部分は駐車場、長南川に面する部分は畑として利用されている。

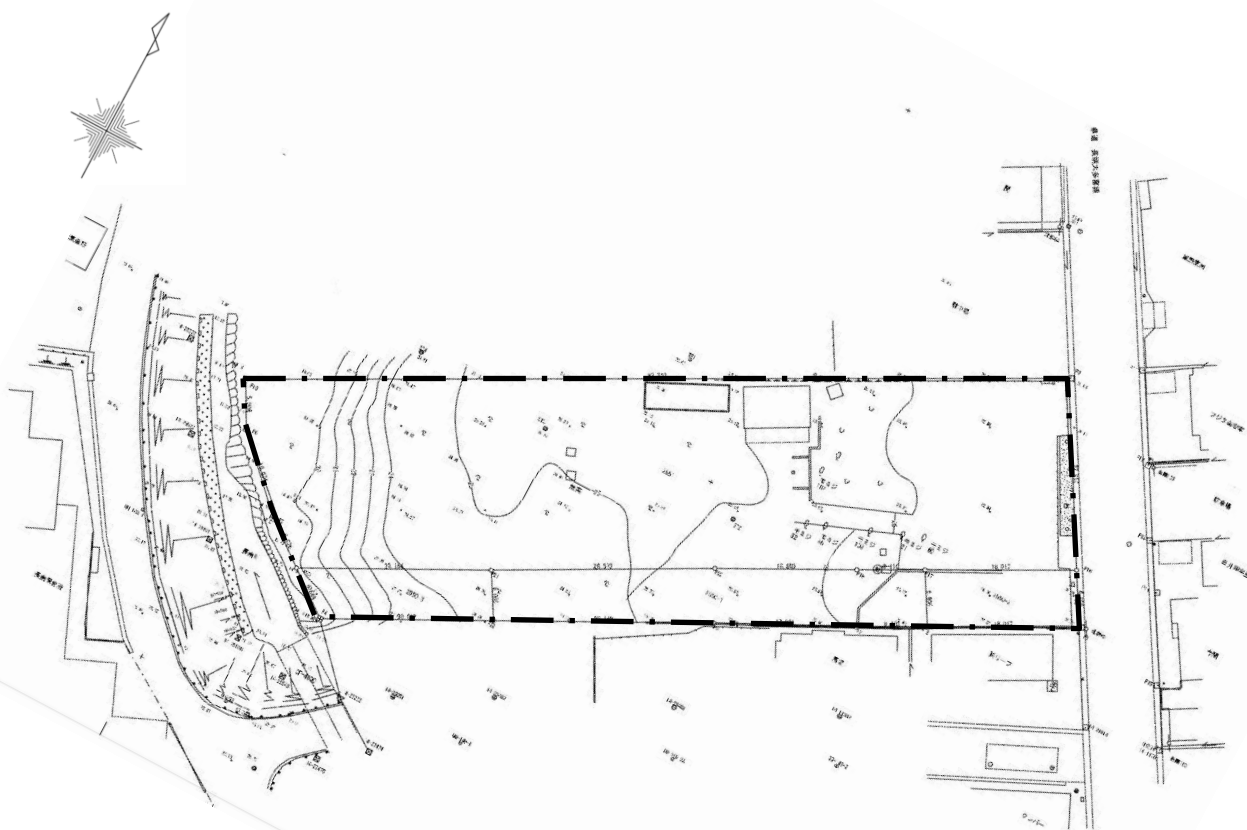
□建設予定地の南側

- ・3階建ての事業所や2階建ての民家が建ち並んでいる。



(2) 建設予定地の概要

敷地面積	2,742.04 m ²
現況土地利用	宅地と畑
接道状況	東側を県道長柄大多喜線（幅員約 7.5m）に接道
地域地区 建築制限	<ul style="list-style-type: none"> • 都市計画区域内の非線引き白地地域 • 建蔽率 70%：特殊基準地域（道路端から 25m） 60%：一般基準地域（道路端から 25m以遠） • 容積率 200% • 斜線制限 道路斜線制限：勾配 1.5 隣地斜線制限：20m+勾配 1.25



出典：（仮称）渡邊辰五郎記念館建設予定地測量業務委託（平成 29 年 3 月）
※地方創生加速化交付金を活用して実施

3 アンケート・ワークショップの結果概要

基本計画、特に導入機能と整備方針の検討へ向けて、「記念館をどのように利用していきたいか」「記念館でどのような活動を行いたいか」などの町民意向を把握するため、アンケートとワークショップを実施した。

アンケートとワークショップで出た意見と、基本計画への反映の方針については、下記のように整理した。

■ 「(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画策定に向けたアンケート調査」の概要

調査対象：18歳以上の町内在住者から無作為抽出

調査期間：平成29年7月26日(水)から平成29年8月18日(金)まで

配布状況：1,000票

回収状況：回収数334票(回収率33.4%)

■ 「導入機能・諸室構成の検討に関わるワークショップ」の概要

開催日：平成29年8月19日(土)13:30~16:30

参加者数：計37名

分類		アンケート、ワークショップ で出た意見	基本計画への反映の方針
展示に関する意見	ワークショップ	「渡邊辰五郎の功績や明治時代の交流エピソードについての展示」「長南町の歴史や教育の町、名産品に纏わる展示」「町民が自主企画展を行える」といった意見があった。	活動・利用の内容に、 ・ 渡邊辰五郎の生涯や偉業の紹介 ・ 渡邊辰五郎が生まれ育った長南町の紹介 ・ 大学や町民による企画展示を盛り込む。
	アンケート	“見てみたい展示”については、「郷土史に関わる展示」「長南町のゆかりの偉人紹介」「東京家政大学の学生による作品の展示」の順で多い結果となった。 「その他」の自由記述では、「町民の作品発表展」や「子ども向けの展示」等といった意見があった。	
研修・講座に関する意見	ワークショップ	「着付けや着物づくり、紅花を使った染物に関する講座」「郷土料理や地元食材の調理方法の伝承、地元食材の収穫から調理までの一連の体験ができる講座」「昔の遊びを子どもに体験させたり、昔の知恵を教えたりする講座」といった意見があった。	活動・利用の内容に、 ・ 郷土や歴史、文化、自然に関して学べる講座 ・ 体験型の講座を盛り込む。

分類		アンケート、ワークショップ で出た意見	基本計画への反映の方針
研修・ 講座 に関する意見	アンケート	<p>“受けてみたい講座”については、「裁縫、ものづくり教室」「自然体験教室」「歴史・文化体験教室」の順で多い結果となった。</p> <p>「その他」の自由記述では、「季節の行事に関する装飾講座」や「東京家政大学による講座」が受けられるという意見があった。</p>	<p>活動・利用の内容に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土や歴史、文化、自然に関して学べる講座 ・体験型の講座 ・東京家政大学の専門性を取り込んだ教養講座を盛り込む。
情報発信に関する意見	ワークショップ	<p>「観光案内や空き家情報などの移住支援情報」「自宅で食べきれない食材についての情報」「耕作放棄地解消のための未利用農地情報」の提供といった意見があった。</p>	<p>活動・利用の内容に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長南町周辺の見どころの紹介 ・長南町への移住促進に必要な情報提供を盛り込む。
	アンケート	<p>“利用してみたい支援”については「長南町への移住促進のための情報提供」が最も多い結果となった。</p>	
会議・ 打合せ に関する意見	アンケート	<p>“利用してみたい支援”については「会議室、展示室、調理室などの活動スペースの貸し出し」が多い結果となった。</p> <p>“東京家政大学と連携して、一緒にやってみてみたい取り組み”については、「長南産の食材を使ったレシピ開発などの魅力づくり」、「まち歩きによる観光・学習資源などの魅力の発掘」が多い結果となった。「その他」の自由記述では、「土産物や加工品開発」といった意見があった。</p>	<p>活動・利用の内容に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民団体やサークルなどの活動を盛り込む。 <p>活動・利用の内容に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学と連携した地域の魅力づくりを盛り込む。

分類	アンケート、ワークショップ で出た意見	基本計画への反映の方針
休憩・イベントに関する意見	<p>ワークショップ</p> <p>広場については、「子どもが遊べる」「長南川での川遊び」「田植え体験ができる」「日本庭園の鑑賞」といった意見があった。</p> <p>屋外イベントとして、「昔の市」「神輿担ぎ」などの地域イベントの再興といった意見があった。</p> <p>室内イベントとして、「音楽会」「カラオケ」「読み聞かせ会」「子ども向けのおにぎりづくりイベント」を実施するといった意見があった。</p>	<p>広場の整備方針に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊ぶこともできるつくり ・様々なイベントに対応できるつくり <p>とすることを盛り込む。</p> <p>活動・利用の内容に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから大人まで多世代が憩える場づくり ・賑わいを創出するイベントを盛り込む。 <p>活動・利用の内容に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賑わいを創出するイベント ・町民団体やサークルなどの活動を盛り込む。
	<p>アンケート</p> <p>“多目的室”については、「食事会など飲食を提供するイベント利用ができる」「映画の上映会やコンサートを開催できる」「町民の文化活動の活動場所としての場所を借りられる」の順で多い結果となった。</p> <p>“広場”については、「子どもや若者が集まるイベントが開催される」「自然や草花、緑がある」「子どもが遊べる」「多世代が利用できる」「地元食材が購入できたり、食べられる」「ゆったりとしている、くつろげる」「賑わいがある」「野外コンサートができる」といった意見が多い結果となった。</p>	<p>活動・利用の内容に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賑わいを創出するイベントを盛り込む。 <p>多目的室の整備方針に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な規模の利用に対応できるつくり <p>とすることを盛り込む。</p> <p>広場の整備方針に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊ぶこともできるつくり ・長南川沿いの緑と一体的修景 ・様々なイベントに対応できるつくり ・落ち着いた空間を確保するために県道から離れた配置を盛り込む。

分類		アンケート、ワークショップ で出た意見	基本計画への反映の方針
物販に 関する 意見	ワーク ショッ プ	「町の名産品（産直野菜、家庭料理、 グルメ、ちょな丸グッズ）の販売」や 「町民手づくり品の販売ができる」とい った意見があった。	活動・利用の内容に、 ・名産品・農産物・工芸品の販 売 を盛り込む。 活動・利用の内容に、 ・新鮮な食材や加工品を購入、 飲食ができるマルシェの開催 を盛り込む。
	アンケ ート	“マルシェ（市場）”については、「新 鮮な食材や加工品を購入できる」「長南産 の食材を使った軽食をその場で食べられ る」「町内外の人気の飲食店などの出店が ある」が多い結果となった。 「その他」の自由記述では、「手づくり 品（工芸品等）が購入できる」といった 意見があった。	
飲食に 関する 意見	ワーク ショッ プ	カフェ・レストランの“料理”につい ては、「郷土料理」「東京家政大学がプロデュ ースしたレストラン」「お店をやってみ たい方のためのお試し1DAYレストラン」 「安くて気軽に食べに行ける店」「町内の 飲食業者（テナント）の出店」といった意 見があった。 カフェ・レストランの“雰囲気”につ いては、「同窓会会場等に利用できる」 「家族連れで食べに行ける」「外で遊ぶ子 どもを見守りながら飲食ができる」とい った意見があった。	活動・利用の内容に、 ・長南産の食材を使った料理の 提供 ・東京家政大学と協働で考案し た料理の提供 ・期間限定のカフェ、お試しか フェ を盛り込む。 レストランの整備方針に ・テラスを設け、外にテーブル を出して飲食できるつくり とすることを盛り込む。
	アンケ ート	“料理”については、「安くておいしい料 理が食べられる」「町の食材を使った料理 が食べられる」「東京家政大学が考案した 料理が食べられる」が多い結果となった。 “雰囲気”については、「天気の良い日 は椅子やテーブルを屋外に出して食べら れる」「夜も飲食ができる」が多い結果と なった。「その他」の自由記述では、「小 さい子どもも連れて行ける」「食材の持ち 込みができる」といった意見があった。	

分類		アンケート、ワークショップ で出た意見	基本計画への反映の方針
管理・ 運営に 関する 意見	ワーク ショッ プ	「広い駐車スペースの設置」といった 意見があった。	駐車場の整備方針に、 ・利用者用の駐車場の周辺敷地 での確保 を盛り込む。

第3章 基本理念・基本コンセプト

1 基本理念・基本コンセプト

記念館の基本理念・基本コンセプトを下記の通り設定した。

基本理念・基本コンセプト

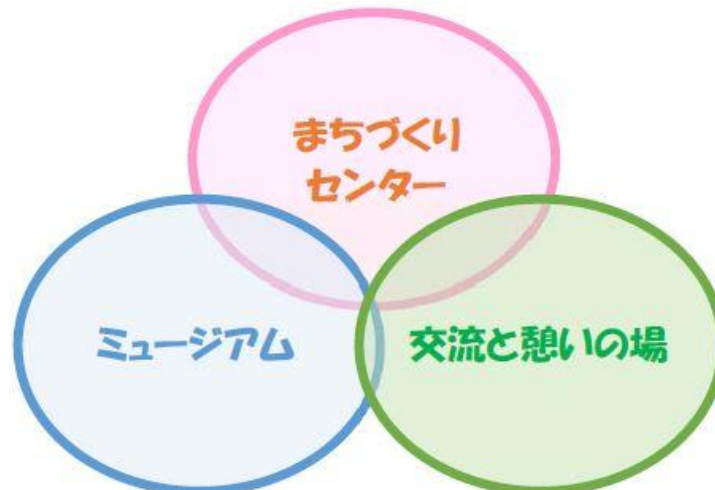
●基本理念

渡邊辰五郎の「創造性」を規範として、大学と連携した地域活性化の拠点とする。

●基本コンセプト

- ◎本施設は、渡邊辰五郎の「創造性」を主題としたミュージアムであり、ミュージアムが「地域と連携するフィールド」であることを積極的に活用するまちづくりの拠点・文化創造の拠点として位置付ける。
- ◎創立者が本町出身ということで交流がある東京家政大学と連携し、その専門性を地域のまちづくりに活用させるためのコーディネーターとしての役割を担う。
- ◎地域住民による創造的なまちづくりを支援することで、ローカルイノベーションが生まれる土壌を育成する役割を担う。
- ◎辰五郎を生んだ「旧長南宿」と一体となったフィールドミュージアムの核として、宿場町の風情を残す町並みを観光・学習資源として活用する誘発剤としての役割も担う。

■記念館の役割



「ミュージアム」、「まちづくりセンター」、「交流と憩いの場」という3つの役割が互いに連携し、互いの役割を引き立たせる記念館を目指す。

2 導入機能

基本理念・基本コンセプトを受けて、記念館の役割を踏まえた導入機能を下記の通り設定した。

役割	導入機能
ミュージアム 渡邊辰五郎及びまちの文化・歴史の継承と創出、及び地域の魅力を情報発信する。	展示機能
	研修・講座機能
	調査・研究機能
	収蔵機能
まちづくりセンター 地域と大学が連携したまちづくり活動の拠点とする。	情報発信機能
	会議・打合せ機能
交流と憩いの場 町外・町内の人々が集い、憩う場とする。	休憩・イベント機能
	物販機能
	飲食機能
その他	管理・運営機能

※町内に宿泊施設がほとんどないことから、東京家政大学との積極的な交流を図るための宿泊機能・施設については、「長南町立小学校跡地活用検討委員会」と整合を図りながら、検討を行う。

第4章 導入機能・諸室構成

1 導入機能の詳細検討

記念館の役割として設定したミュージアム・まちづくりセンター・交流と憩いの場としての主な活動の中身の詳細検討を行い、下記のように設定した。

設定にあたっては、記念館の基本理念・基本コンセプトに沿った活動であること、市民が関わり、発信する活動であること、中央公民館など他施設との機能分担がされていることを基本とした。

(1) ミュージアム

“辰五郎やまちの文化・歴史の継承と創出”や“地域の魅力の情報発信”を主眼に置き、以下の活動・利用を想定する。

展示機能

主な活動・利用

①辰五郎の生涯や偉業、人物像の紹介

- 現在の裁縫教育の背景に渡邊辰五郎が存在していることがわかるよう、渡邊辰五郎の生涯や偉業、裁縫技術を近代教育の場に適用させるために考案した裁縫ひな形や教科書などの関連資料を、展示及びアニメーション（漫画などを使った親近感を持てるもの）で紹介する。
- 渡邊辰五郎の人柄を知り、親近感を持てるよう、男性でありながらも女性のための道を切り開いたこと、夢を持ち努力し続けたことなどがわかる展示をする。

②辰五郎が生まれ育った長南町の紹介

- 渡邊辰五郎が生まれ育った明治時代、本町は、教育のまちとして学校建設の動きや、渡邊辰五郎の活躍など、大きく躍動していた。これまでの本町の躍動感ある歴史を、明治時代を中心に展示する。
- 渡邊辰五郎がどのような場所で生まれ育ったのかがわかる、宿場町の時代に関する展示を行い、本町が地域再生計画で示した「旧 宿場町の活性化」についての理解へ繋げる。
- 世に輩出された本町出身の偉人や名産品の紹介をしたり、本町と連携包括協定を結び、記念館を通じた積極的な連携を行う東京家政大学の紹介をしたりする。

③企画展示

- 町内外の借用資料、東京家政大学の研究成果や学生作品の展示、蔵出し展示（普段は収蔵庫に入っている資料の展示）、大学と町が連携した取り組みの紹介、市民の作品の発表の場など、様々な企画展示の場として利用する。

研修・講座機能

主な活動・利用

①町民の活躍の場・まい進の場づくりの研修

→本町の郷土・歴史・文化や、現状分析や課題分析、活動活性化の方法などを学び、まちづくりの担い手・記念館に関わるボランティアなどを育成する研修を実施する。また、雇用創出に繋がる職人育成研修、子育て世代の活躍の場・雇用支援（長南産の果物や野菜を使ったジャム加工、子ども服の製造など）などを実施する。

②ものづくり体験講座

→渡邊辰五郎が考案した裁縫ひな形づくりワークショップ、郷土玩具づくりワークショップなど、本町の歴史や資源を知るための講座を開催する。

③農業体験講座（グリーン・ツーリズムなど）

→農業体験（稲作、畑作、酪農、養蜂など）を通じた、本町の資源を知るための講座を開催する。

④エコツアー

→本町の自然環境や歴史、文化を体験し、学ぶための日帰りのエコツアーを実施する。ツアーの一環として、食材を収穫して調理し、食べる体験などを取り入れる。

⑤東京家政大学の専門性を取り込んだ教養講座

→日本文化の伝承、浴衣の着付け、和裁の講習、和食講習など、東京家政大学の服飾美術や栄養、食に関する専門性を取り込んだ教養講座や、子どもの遊びや造形表現などを育む子ども向け講座等を開催する。

⑥再チャレンジ支援講座

→専門職の資格取得はしているが、介護や子育てのために現場を離れていた人向けの、再就職支援講座を開催する。

⑦女性の活躍を視野に入れた教室

→子育て世代などの女性の活躍の場づくりとして、クラフト教室や料理教室、軽体操教室などを開催する。参加者、講師、サポーターなど様々な立場で町民が関わりをもつ。

調査・研究機能

主な活動・利用

①記念館を拠点としたフィールドワーク（調査・研究）

→地域の古い建物、石造物、仏像等の調査や、郷土の偉人についての調査・普及活動、地域の里山の植物・生きものの調査など、フィールドミュージアム形成に向けた調査・研究拠点として使用する。

②東京家政大学との連携

→レシピや加工食品の開発後のパッケージデザインの考案、まち歩きによる観光・学習資源の発掘後の宣伝広報などを担う。

③展示物寄贈の受け入れ

→現在本町内にある渡邊辰五郎に関する資料は少ないため、東京家政大学の卒業生や千葉県内を中心に、資料や裁縫ひな形などの展示物寄贈の受け入れをする。

収蔵機能

主な活動・利用

展示品の収蔵、保管

→常設展示や企画展示等の展示物の収蔵や保管を行う。

(2) まちづくりセンター

記念館を地域と連携するフィールドと捉え、“大学や地域と連携したまちづくり活動の拠点”として、以下の活動・利用を想定する。

情報発信機能

主な活動・利用

①展示物を中心にした長南町の案内

→記念館の展示や本町内の名所などについて、記念館職員や記念館に関わるボランティアが案内する。

②長南町の情報入手・発信

→記念館での企画展示やイベント、本町の観光スポットや衣食住に関する情報、未利用農地の情報などについて、パンフレット、ガイドブック、インターネット、タブレット式案内板など様々な媒体で情報を来訪者自らが入手する。なお、来訪者が口コミやSNSで拡散促進することも期待できる。

→観光客や、本町周辺の地域おこし協力隊などの町外在住者が、記念館での企画展示やイベント、本町の観光スポットや衣食住に関する情報、未利用農地の情報などについて、パンフレット、ガイドブック、インターネット、タブレット式案内板など様々な媒体で入手する。

③まちづくりの情報収集

→まちづくりに関する専門書、雑誌などを誰もが気軽に閲覧できる場所に常備する。

④東京家政大学との連携

→本町と東京家政大学との仲介窓口を設置し、本町のまちづくりに活用できる教員・大学生・卒業生の人材・ノウハウをデータ化する。そのデータをもとに、本町で実施する活動内容などを調整する。

→本町に訪れた際に、大学生の得意分野であるSNSで写真や動画を活用し、本町の魅力を拡散促進する。

⑤展示物寄贈の募集

→現在本町にある渡邊辰五郎に関する資料は少ないため、東京家政大学の卒業生や千葉県内を中心に、資料や裁縫ひな形などの展示物寄贈の募集案内をする。

会議・打合せ機能

主な活動・利用

①町民団体やUターン者・Iターン者への場所貸し

→町民団体、サークル、Uターン者・Iターン者などの活動スペースとして利用する。
それぞれが交流することにより、活動の情報交換や、本町の取り組みや課題について意見交換をする拠点としての発展も見込まれる。

②イベントの検討

→記念館や本町内で開催するイベントの検討の場として利用する。

③地域の魅力づくりの拠点

→長南産の食材を使ったレシピや加工食品の開発、まち歩きによる観光・学習資源の発掘など、魅力づくりの拠点として利用する。なお、東京家政大学の専門性を活かすことも期待できる。

④「教育の町」に関する検討

→「教育の町」を目指している本町について、町と東京家政大学の人材が協働で、“創造性豊かな子どもを育てるための教育方針”について考える検討会を開催する。

(3) 交流と憩いの場

長南川の自然に囲まれ、歴史的情緒の感じられる長南宿の環境の中で、町民や大学、町外からの来訪者が集い、交流し、憩うことができ、賑わいを創出して何度も訪れたいと思える長南宿の「顔」となる場とする。

休憩・イベント機能

主な活動・利用

①子どもから大人まで多世代が憩う

→大人だけでなく、子どものいる世帯が訪れ、安心して子どもを遊ばせることができるなど、多世代が日常的に憩える場所とする。また、長南川沿いの自然環境に囲まれた心地の良い環境で憩える場所とする。

②賑わいを創出するプチハレの実施

→お祭りやコンサート、ものづくりワークショップ、バーベキュー、ビアガーデンなど交流や賑わいを創出する様々な屋外イベントを実施する。
→食事会や映画の上映会、コンサートなどの屋内イベントを開催する。

③町民団体やUターン者・Iターン者の活動の実施

→町民団体、サークル、Uターン者・Iターン者などの活動スペースとして利用する。

物販機能

主な活動・利用

①名産品や作品の常設販売

→エントランス付近で、町の名産品や町民による手づくり品などを購入できるようにする。

②名産品や作品の定期販売

→長南産や近郊農家からの産直の新鮮な農産物や加工品、工芸品の購入や、軽食をとることができるマルシェを開催する。

飲食機能

主な活動・利用

①カフェ

- 地元の農家・おかあさんなどの町民が運営するカフェで、本町の食材を使った家庭料理を提供する。
- 大学生と地元の農家・おかあさんとの協働によるメニュー考案に取り組む。
- 本町で新規に飲食店を営業したいと思っている方に厨房を貸し出し、期間限定の「お試しカフェ」を開催する。
- カフェの休業日は、持ち寄りで飲食ができる「持ち寄りカフェ」のスペースとして開放する。

②レストラン

- 本町の食材を使った料理を提供する。テナントへ貸与し、テナント料収入を見込む。

2 諸室構成の検討

(1) 導入機能と必要スペース

記念館の導入機能に関して必要なスペースは、下記のように整理できる。

ミュージアム	展示機能	<ul style="list-style-type: none"> ○常設展示スペース …パネル展示や作品展示、映像展示ができるスペース ○企画展示スペース …企画展が開催できるスペース
	研修・講座機能	<ul style="list-style-type: none"> ○研修・講座スペース …座学・講義型の研修・講座の他、ものづくりや調理等、体験型の講座もできるスペース
	調査・研究機能	<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり活動スペース …地域資源等の調査・研究や大学と協働した活動、展示物収集窓口として、継続的かつ拠点的に利用できるスペース
	収蔵機能	<ul style="list-style-type: none"> ○収蔵・保管スペース …展示資料や調査・研究用の資料を収蔵・保管できる余裕のあるスペース
まちづくりセンター	情報発信機能	<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信スペース …パンフレットやチラシ、電子情報パネル等が設置され、町の情報を入手できるスペース …まちづくりに関する専門書等を閲覧できるスペース …相談コーナー
	会議・打合せ機能	<ul style="list-style-type: none"> ○会議・打合せスペース …町民同士の情報交換や、まちづくり活動の企画会議が行えるスペース …工具等が配備されイベントの準備が行えるスペース
交流と憩いの場	休憩・イベント機能	<ul style="list-style-type: none"> ○休憩・イベントスペース …子どもが遊べ、町民が憩える心地良い屋外広場 …様々なイベントができる屋外・屋内スペース
	物販機能	<ul style="list-style-type: none"> ○マルシェスペース …産直の農産物や加工品、工芸品等の定期販売ができる屋外スペース ○屋内販売スペース …名産品の常設販売ができる屋内スペース
	飲食機能	<ul style="list-style-type: none"> ○カフェスペース …地元料理や大学と考案したレシピ等、期間限定のメニューを提供できるスペース ○レストラン …テナント貸しのレストラン
その他	管理・運営機能	<ul style="list-style-type: none"> ○職員が常駐し管理・運営を行うスペース ○駐車場や駐輪場、公衆トイレ

(2) 諸室構成表

導入機能と必要なスペースを踏まえて、諸室の構成を下記のように設定した。

①屋内（建築）

導入機能	導入施設	整備方針	面積
<p><凡例></p> <ul style="list-style-type: none"> ●：ミュージアムの機能 ●：まちづくりセンターの機能 ●：交流と憩いの場の機能 ●：その他の機能 			150～200 m ²
● 展示機能	展示室	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展と企画展を同時開催できる複数の室に分割できるづくり ・展示物の種類に応じて、家具のレイアウトや照明を柔軟に変更できるづくり ・ミニシアター（視聴覚コーナー）の設置 ・展示物保存のため、展示ケース内の湿度管理を重点項目とする ・照明は紫外線を含まない LED を採用する 	
● 収蔵機能	収蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・各展示物の保管場所が把握できる程度の余裕を持った室内レイアウト ・耐火、防盜、安全性に優れ、空気環境にも配慮した設計 ・無窓の室とし、空調で温湿度を管理できるづくり ・収蔵庫専用の搬入口を設ける 	30～60 m ²
<ul style="list-style-type: none"> ● 調査・研究機能 ● 会議・打合せ機能 ● 情報発信機能 	まちづくり活動スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動の様子が周りに染み出すような仕掛けづくり ・工具類を備え、イベント等の準備ができるづくり ・情報コーナーを設ける ・カフェと併設させ、一体的な利用ができるようにする 	100～120 m ² ※カフェの面積を含む
<ul style="list-style-type: none"> ● 研修・講座機能 ● 会議・打合せ機能 ● 休憩・イベント機能 	多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント広場との一体的な利用もできる配置 ・2室分割して利用できるづくり ・教室形式、ワークショップ形式での利用等、机・椅子の配置を柔軟にレイアウトできる 	80～120 m ²
● 飲食機能	レストラン	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく開放的でゆとりのある空間を確保する ・テナントに貸し付け、閉館時も営業できるようにする ・テラスを設け、外にテーブルを出して飲食もできるづくり 	80～120 m ²

● 飲食機能 ● 物販機能	カフェ	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動スペースと併設させ、一体的な利用ができるようにする 各製品の販売コーナーを設ける 	100~120 m ² ※まちづくり活動スペースの面積を含む
● 管理・運営機能	事務室	<ul style="list-style-type: none"> 人の出入りの監視や来館者へのサービスのしやすさからエントランスを見通せる位置に配置する 	30~40 m ² ※4人想定
	公衆トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 広場からも利用しやすい配置 身障者や高齢者、乳幼児連れ等も利用しやすい多機能トイレ 	50~60 m ² ※男女各3名以上同時使用可 ※多機能トイレ1箇所
	廊下等	<ul style="list-style-type: none"> エントランスホールに情報コーナーを設ける 	130~150 m ²
			計 760 m ² 程度

②屋外（外構）

導入機能	導入施設	整備方針	面積
● 休憩・イベント機能	イベント広場	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた空間を確保するために県道から離れた配置 長南川沿いの緑と一体的な修景化や、一休みしたくなるベンチ、記念館のシンボルとなるようなモニュメントの配置など、町民の日常的な憩いの場となるようなづくり 様々なイベント利用にも対応できるづくり 子どもが遊べるづくり 	900 m ² 程度
● 物販機能	マルシェスペース	<ul style="list-style-type: none"> テントを設置し、長南産の食材などを販売できるづくり 	100~150 m ²
● 管理・運営機能	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 県道に面して配置 車椅子利用者用と管理・サービス用の最低限の駐車場を確保 ※一般利用者用駐車場は近隣の敷地に確保する 	80 m ² 程度 ※4台 サービス3台 車椅子1台
	駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ロードバイク用のスタンドを設置する 	40 m ² 程度 ※20台想定

第5章 施設計画

※本章は、現段階における条件を基に設定した、基本設計へ向けた方向性を示したものです。より具体的な検討は基本設計の中で行います。

1 建物・広場の配置計画

本記念館は、人物に関するミュージアムであると同時に地域活性化のためのまちづくり活動の拠点を目指している。

この施設は、町民にとって学習の場、交流の場であるとともに、来街者にとっては観光案内所としても機能する地域に開かれたミュージアムである。そのため、気軽に立ち寄れる雰囲気を持つ空間構成と、かつての長南宿を彷彿させるような形態を備えることが求められる。

建物と広場の配置関係の検討

建設予定地は、東側の県道 147 号に面する奥行き深い敷地形状となっている。

西側は長南川を挟んで町道長南 49 号線があり、旧長南小学校が近接している。旧長南小学校は新たな活用が検討されており、本記念館との機能補完や相乗効果が期待される。そのため、町道長南 49 号線側への動線を確保し、旧長南小学校と本記念館とのアクセス利便性の向上を図ることが望まれる。

屋外スペースの構成要素としてはイベント広場やエントランス広場、駐車場、駐輪場がある。建物と広場の関係は以下の 2 つの構成が考えられる。

なお、長南川沿いは斜面地のため、修景緑地として整備する。

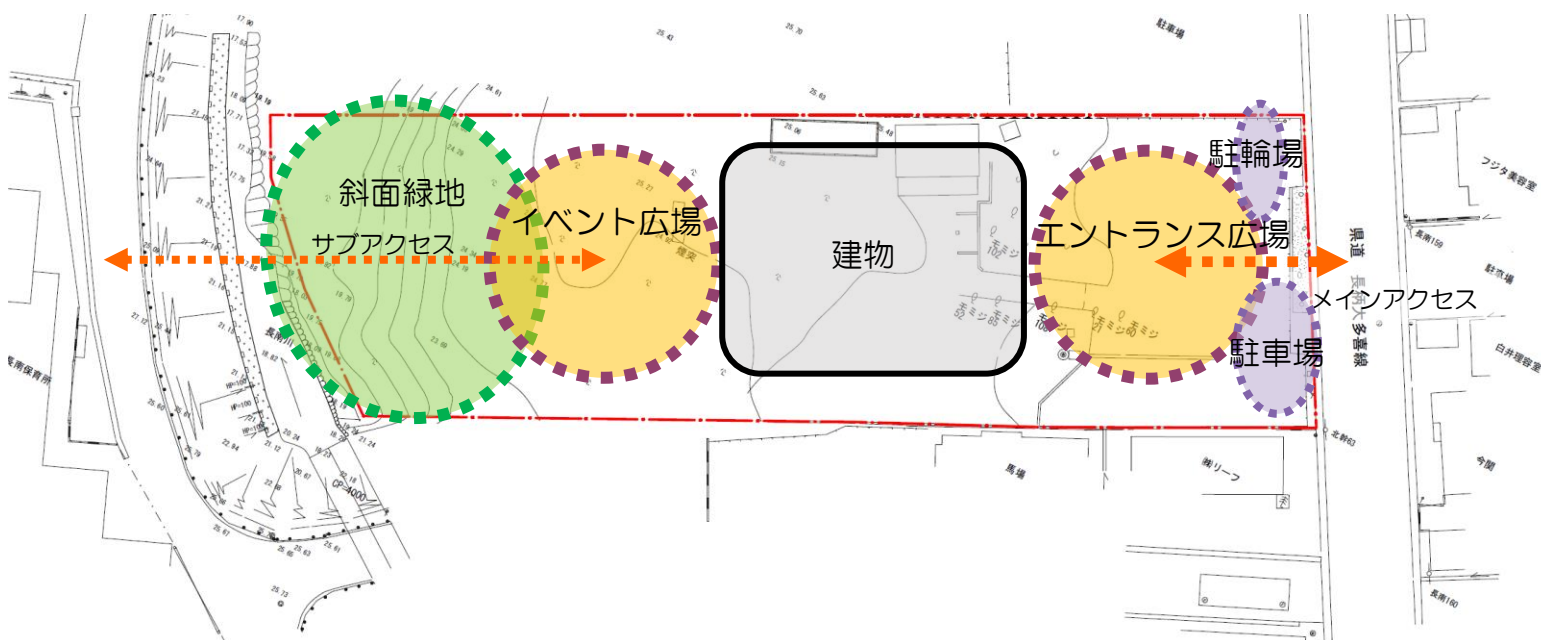
■配置案 1：建物を挟んでエントランス広場とイベント広場を配置

【メリット】

- ・エントランス広場とイベント広場のそれぞれの使い方や雰囲気づくりに特徴をつけやすい。
- ・建物内部の機能配置に柔軟性が得られる。

【デメリット】

- ・イベント広場での活動が県道 147 号側からは見えない。



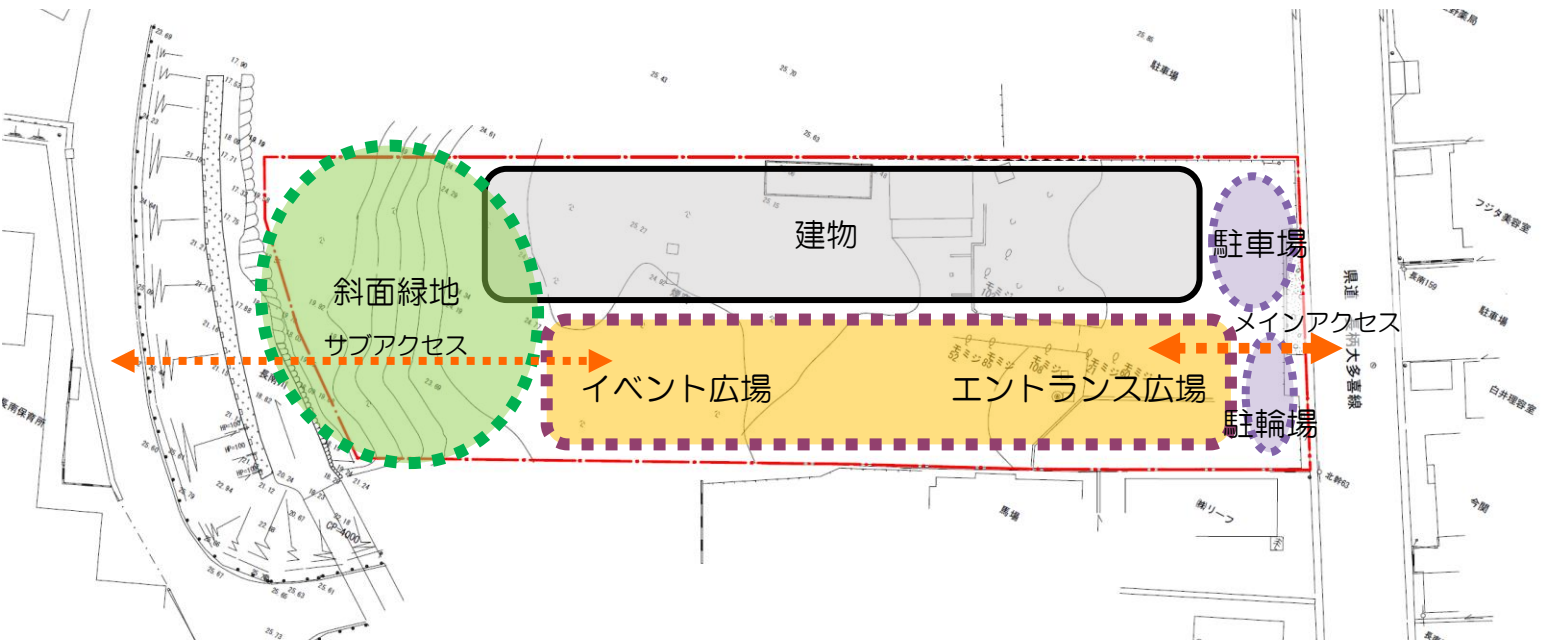
■配置案2：広場をまとめて配置

【メリット】

- 建物は北側に寄せて南側をオープンスペースとすることで、エントランス広場とイベント広場が連続的に構成され、広場の使い方の幅が広がる。

【デメリット】

- 建物を細長く直線的な構成とすることがあり、建物内部の動線が長くなる。

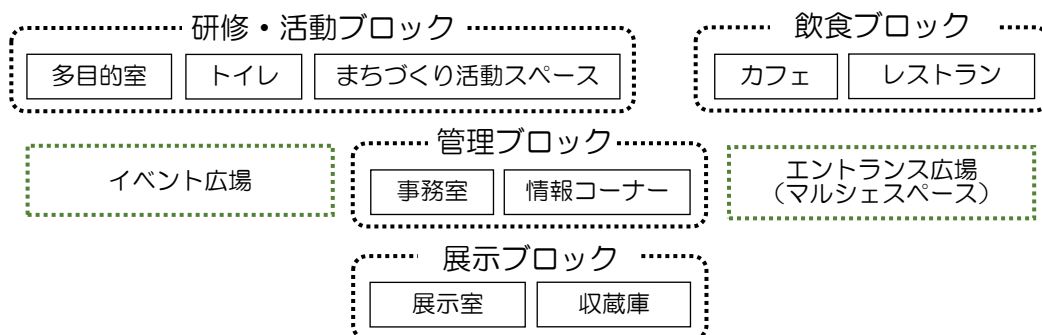


本基本計画においては、建物の機能配置に柔軟性がある「配置案1」を基本として、諸室の配置を検討することとする。

2 諸室の配置計画

(1) ゾーニング計画の方針

本記念館は多様な機能を併せ持っているが、関連する機能を以下の4つのブロックにグルーピングしたゾーニングが考えられる。



○展示ブロック

- ・展示室及び収蔵庫は、貴重な資料を保管・公開する。
- ・収蔵庫の配置は、観覧者動線と重ならないで搬出入できる位置が望ましい。

○研修・活動ブロック

- ・多目的室は、屋外広場との一体的イベント利用が想定されるため、イベント広場との関係性に配慮した配置とする。また、小規模な講座や研修に活用されることが想定できるため、2つに仕切れる設備を付帯する。
- ・まちづくり活動スペースは、町民が中心となる運営協力者とともに地域の魅力づくりを検討する場であり、ものづくり工房的な要素もある。その活動状況を入館者が窺えることにも留意し、エントランスに近い位置に設けることが望ましい。

○飲食ブロック

- ・レストランは、入館利用者だけではなく、一般の飲食利用に便利が良くまた、地域の賑わいをつくるためにアクセスしやすい県道側に配置する。
- ・カフェは、地元運営を想定しており、まちづくり活動の一環として捉え、まちづくり活動スペースと連動した配置が望ましい。
- ・エントランス広場付近で定期的にマルシェが開催できるスペースを確保する。

○管理ブロック

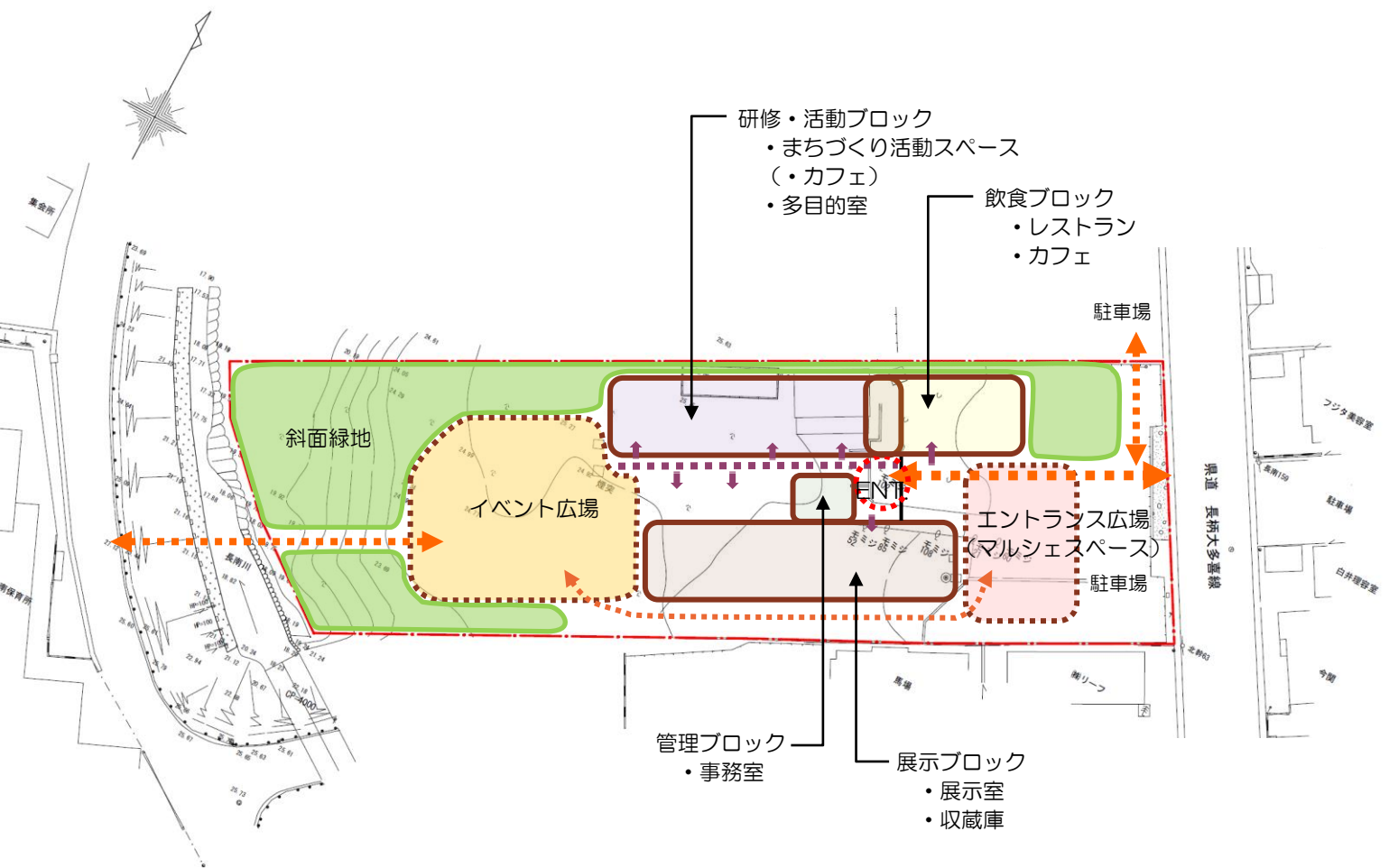
- ・事務室は、本記念館の管理・運営の中核である。入館者の案内の役割があり、エントランスに近接して配置する。同様に情報コーナーもエントランス付近に設置する。

(2) 動線計画の方針

建物内におけるブロックごとの諸室の配置と、これを踏まえた人や物の動線を、下記の通り設定する。

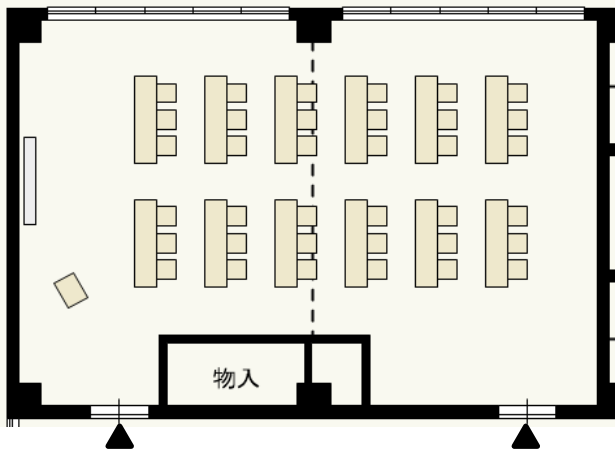
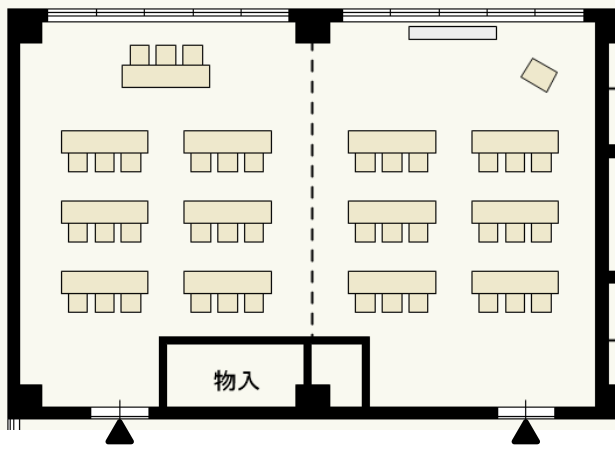
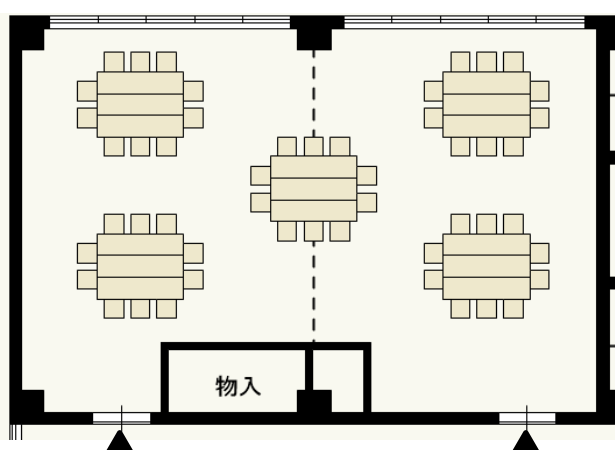
- ・県道側からエントランス広場を通り入館する。
- ・レストランは独自の営業時間帯が設定できるように、エントランス広場から直接出入りできる構成とする。
- ・研修・活動ブロックの諸室は一つの動線上に配置する。
- ・展示室への動線は、他の機能と関連しつつも他の諸室への動線と交差しないことが望ましい。
- ・イベント広場と建物とは、行き来が容易で一体的な利用も可能な関係をつくる。
- ・イベント広場への動線は、建物内部を貫通するルートのほか建物の外部を回るルートを確認する。

■建物諸室と広場の空間構成



(3) 諸室の活用イメージ

○多目的室の活用イメージ

講座・研修	
<p>(1室利用の場合)</p> 	<p>(用途)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人数での講座・研修利用 <p>(利用形態)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1室利用 ・教室型配置 <p>(利用可能人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・36人
<p>(2室分割利用の場合)</p> 	<p>(用途)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数での講座・研修利用 <p>(利用形態)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーティションで2室に区切って利用 ・教室型配置 <p>(利用可能人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1室につき18人
まちづくりワークショップ	
	<p>(用途)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数での討議を必要とするワークショップ利用 <p>(利用形態)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1室利用 ・島型配置 <p>(利用可能人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5テーブル×10人=50人

○まちづくり活動スペースの活用イメージ



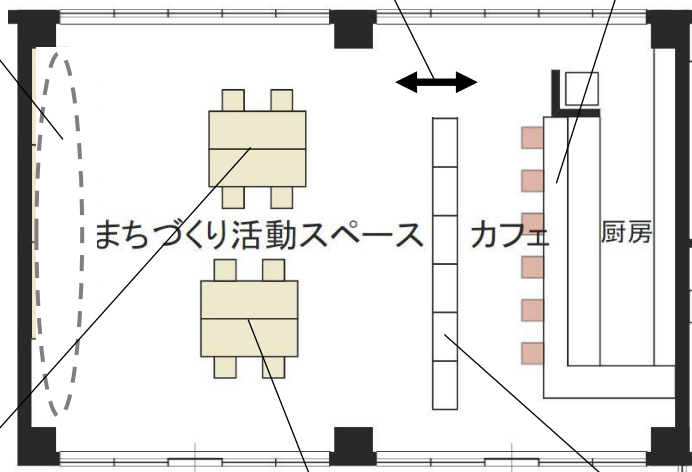
● 記念館を拠点としたフィールドワーク(調査・研究)



● まちづくり活動スペースとカフェの連携(町民運営の発展、利用者同士の交流促進など)



● お試しカフェ
● 大学生と考案したメニューの提供
● 地元の農家・おかあさんなどの交流



● 活動やまちづくりに関する検討、話し合い
● まちづくりに関する相談や、東京家政大学との連携、U・Iターンなどに関する窓口



● 事業の実施
● 実施事業の準備などの作業



● 専門書や雑誌などの資料閲覧

(4) 周辺施設等との連携、機能分担による運営

①中央公民館、農村環境改善センターなどとの連携

敷地の規模や整備費には限りがあり、計画した全ての活動を施設内で行う前提で、施設整備を行うことは現実的ではないため、近隣の町営施設も活用することを想定し、コンパクトな施設計画とすることが必要である。

本記念館においては、講座・研修、ワークショップ、調理を伴う活動など、記念館が行う事業の内容や規模によっては、中央公民館、農村環境改善センターなどの適切な町有施設を会場として使用することを前提として、整備を進める。

②記念館周辺の駐車場の活用

駐車場については、敷地内で確保できるスペースには限りがあることから、民間を含む周辺の敷地を借り上げ確保するための調整を行う。

③宿泊機能の確保についての検討

町内に宿泊施設がほとんどないことから、東京家政大学との積極的な交流を図るための宿泊機能・施設については、「長南町立小学校跡地活用検討委員会」と整合を図りながら、検討を行う。

第6章 管理・運営計画

※本章は、現段階における条件を基に管理・運営の方向性を示したものです。より具体的な検討は、今後の事業の具体化の中で行います。

1 管理・運営体制

(1) 管理・運営体制の検討

記念館を管理・運営していくために、運営組織を中心とした管理・運営体制を構築する。

○運営組織

展示や調査研究、普及活動などに地域住民の参画を受け入れ、地域住民によるまちづくり活動を行うための拠点となる記念館における、管理・運営体制の中核を担う。

記念館における展示や事業の企画・実施、施設の管理などを行うとともに、東京家政大学との協働、町への移住や観光などに関する総合的な窓口としての役割を担う。

日常の業務を行うための職員体制を構築する。

○長南町・長南町教育委員会

町は、本事業に主導的立場で臨み、事業を軌道に乗せる役割を担うとともに、東京家政大学や地域住民、その他の関係機関との調整を行う。

教育委員会は、記念館が行う事業の講師などとして、教員等を派遣するとともに、記念館を拠点として、町が掲げる「教育の町」に関する検討に地域とともに取り組む。特に郷土資料館は、記念館における展示などの企画に対するアドバイスや展示品の貸与など、記念館と密な連携を図る。

大規模な講座・研修・ワークショップ、調理を伴う活動など、記念館が行う事業の内容や規模、日程によっては、中央公民館、農村環境改善センターなどの適切な町有施設を会場として提供する。

○東京家政大学

平成 28 年 8 月 31 日に町と大学とで結ばれた「連携協力に関する包括協定書」に則り、これまで 5 件の協働プログラムが実施されてきたが、計画的に、そして、より強固な関係を築きながら実施していくために、平成 30 年度より町と大学による連絡協議会が持たれることとなった。記念館完成後は、連絡協議会の町側の窓口を記念館が担うことが求められると想定される。

○茂原北陵高等学校

展示内容に関するアドバイス、情報や資料の提供などを行う。

○（仮称）町民サポーター（以下、町民サポーター）

記念館の理念に賛同する町民等による施設運営への協力体制を構築し、記念館における自主事業及び受託事業のサポートと実施、施設の清掃、植栽の剪定など、管理・運営に必要なサポートを行う。

○長南町商工会

記念館が行うマルシェの実施、商品開発などに商工業者の協力を得るとともに、長南宿のまちづくりにともに取り組み。

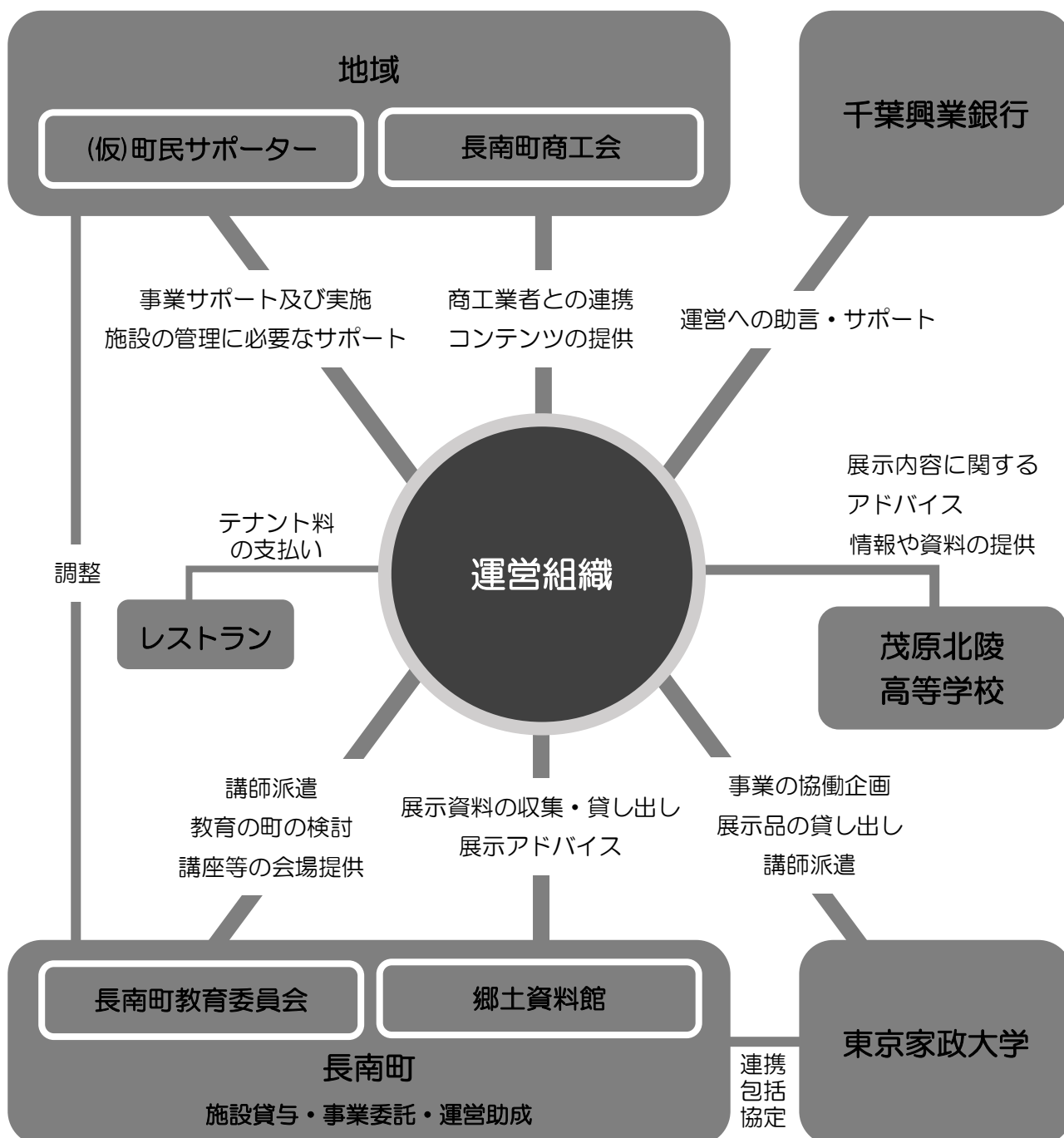
○千葉興業銀行

施設運営にあたって必要な事業計画に対する助言など、記念館及び運営組織の運営に関するサポートを行う。

○レストラン

テナントからの賃貸収入を得るとともに、飲食目的での来訪者による施設利用増を見込む。

■管理・運営サポート体制のイメージ



(2) 運営組織の構成

本記念館が行う活動を踏まえて、記念館の管理・運営体制の中核となる運営組織が担う業務を整理し、運営組織を2つの部門により構成する。

■ 運営組織の構成

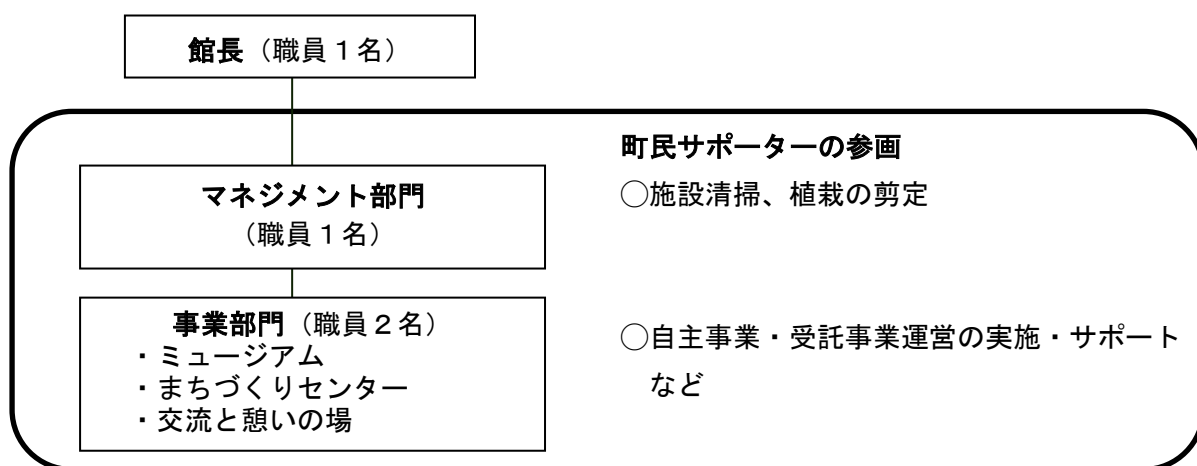
部門	業務	主な業務の内容
事業部門	ミュージアムに係る事業の企画・実施	<ul style="list-style-type: none"> ○展示資料収集・保存・管理 ○展示内容の企画、展示レイアウト ○寄贈品の受け入れ、展示物の収蔵・保管 ○研修・講座の企画・講師選定・実施 ○フィールドミュージアム形成に向けた調査・研究
	まちづくりセンターに係る事業の企画・実施	<ul style="list-style-type: none"> ○イベント、検討会の企画運営 ○東京家政大学の人材・ノウハウのデータ化、大学との調整 ○町、東京家政大学との仲介窓口 ○Uターン・Iターンなどに必要な情報収集・窓口 ○地域の魅力づくりに関する検討 ○「教育の町」の検討 ○まちづくりの資料収集とストック
	交流と憩いの場に係る事業の企画・実施	<ul style="list-style-type: none"> ○町民団体やUターン者・Iターン者の活動支援 ○マルシェなど、屋外イベントの企画・実施 ○カフェの運営サポート
マネジメント部門	広報	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内や町についての案内 ○情報提供媒体の整備と発信 ○町内の資源などに関する情報の提供
	管理	<ul style="list-style-type: none"> ○総務・組織統括 ○会計 ○貸し施設受付、テナント募集・対応の窓口 ○事業運営の人材確保・管理 ○事業への参加受付・集約 ○施設管理、機器・備品の管理 ○警備、清掃、植栽などの管理

(3) 運営組織の職員等の体制

運営組織を構成する各部門の業務内容を踏まえて、日々の運営のために配置する職員等の体制を下記の通り設定する。

- 組織が雇用する職員は、館長（1名）、マネジメント部門担当（1名）、事業部門担当（2名）の4名体制とする。
- マネジメント部門、事業部門においては町民サポーターを増やし、組織運営への参画を得る。平成29年度に行った「(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画策定に向けたアンケート調査結果」によると、「問17 記念館建設後は、町民が記念館の運営や活動に積極的に関わってもらえるような仕組みづくりを検討しています。あなたはどのようなところに関われそうですか。」との設問に対して、約30名から参加意向が示されている。

■職員等の体制



2 運営組織の形態・運営費

(1) 運営形態

運営組織として、町関係者、東京家政大学関係者、地域住民、長南町商工会、金融機関、その他により構成される法人（（仮称）長南町まちづくり再生協議会）を立ち上げ、平成 28 年度に策定した「（仮称）渡邊辰五郎記念館基本構想」で行った事業方式の比較を踏まえて、この法人を指定管理者とすることが最適である。

指定管理者制度導入の理由としては、下記の点があげられる。

○指定管理者として、地域の団体を指定することも可能な制度であること。

地域との官民協働による運営や、地域が主体的に管理・運営へ参画することにより、記念館の理念の達成や施設の持つ役割を活かすことが可能である。

○利用料金制の導入により、運営主体にとって一定の収益が期待できること。

利用料金制は、施設の利用料等を指定管理者の収入とすることを認める制度である。これにより、指定管理者の意欲を高め、民間事業者としての創意工夫を活かした効果的・効率的な管理・運営を促す要因となり、より一層のサービス向上とコスト削減が期待できる。

○町民ニーズに合ったサービスの充実が期待できること。

民間事業者等の能力やノウハウを活用することにより、町民ニーズに合ったサービスのさらなる充実が期待できる。

○同一の指定管理者による、長期にわたる管理・運営が可能であること。

地方公共団体による指定管理者の指定は、複数年度にわたる指定が可能とされている。

○民間事業者等も行うことができる業務であること。

本記念館における管理・運営業務は、公設公営でなければできない業務ではないと考えられる。

本記念館においては、記念館の定着、収入を伴う事業の拡大、受託事業の実施などに伴い、指定管理料を段階的に逡減させ、運営組織の自立を目指す。レストランは記念館の理念に賛同するテナントによる運営とする。

●事業方式の比較

項目	公設公営 (直営・一部業務委託)	公設民営 (指定管理者制度)	民設民営 (PFI)
概要	・公共が建設・所有、管理運営する。(一部業務を民間委託)	・公共が建設・所有する施設の管理運営を民間の法人、その他の団体に代行させる。	・民間が建設、管理運営を一体的に行う。
費用負担	・地方公共団体	・地方公共団体	・民間事業者
リスク負担	・地方公共団体	・想定されるリスクをできる限り明確化した上で、「リスクを最もよく管理することができる者が当該リスクを分担する」との考え方に基づいて、協定等で取り決める。	・想定されるリスクをできる限り明確化した上で、「リスクを最もよく管理することができる者が当該リスクを分担する」との考え方に基づいて、協定等で取り決める。
サービスの質	・自治体の関係部署、施設や施策との連携を図りやすい。 ・利用者にとって安心感、公平感がある。 ・人事や会計など行政内部の事情により、社会情勢の変化やニーズに対する対応が遅くなることがある。	・社会情勢や住民ニーズに基じて多様なサービスに柔軟に対応しやすいとされている。 ・地域の団体やNPOを指定することも可能であり、施設によっては住民との協働による運営も可能になる。 ・モニタリングによってサービスの質の継続性、公共公益性の確保を図る必要がある。	・社会情勢や住民ニーズに基じて多様なサービスに柔軟に対応しやすいとされている。 ・モニタリングによってサービスの質の継続性、公共公益性の確保を図る必要がある。
課題	・建設時の事業費が大きく、財政負担の制約が課題となる。 ・一般的には減少傾向にある。	・建設時の事業費が大きく財政負担の制約が課題となる。 ・指定の手続き、管理の基準、業務の範囲などを定める条例制定が必要である。	・手続きや民間資金の調達コストが高むことから、一般的に事業規模が小さい場合、費用対効果が見合わず、民間事業者の参加意欲に繋がらないとされる。 ・事業実施に際して専門的な知識が必要であり、公共の事務手続き業務が複雑である。

(2) 町からの運営支援の逡減へ向けた基本的な考え方

開館当初は主に町からの指定管理料を得て運営することとするが、開館5年目からを目途に、運営組織が自立した運営をできることを目指す。

- ・開館当初は、町が主導的立場で臨み、本記念館を軌道に乗せる役割を担う。公設公営（直営）に近い支援を行う。
 - ・開館後、本記念館のPR、展示及び事業の充実に努め、来館者数及び収入の拡大を目指す。
 - ・施設の定着を図り、運営を軌道に乗せることで、
 - ＊収入を伴う事業の充実と拡大を図っていく。
 - ＊町等からの委託事業の受託に取り組む。
 - ＊施設の運営や事業に対する町民などによるボランティア（町民サポーター）の参画を図っていく。
 - ＊実施事業に活用できる各種助成金、ふるさと納税、寄付金などの獲得と増大を図っていく。
- 主にこれらを通して、町からの指定管理料の逡減を図っていく。

3 自立化へ向けて

(1) 開館へ向けた主な準備

開館へ向けた準備として、主に次のことを行う。

①運営組織の立ち上げ

運営組織を中心とした管理・運営体制の構築へ向けて、運営組織を早期に立ち上げ、開館へ向けた準備に取りかかる。立ち上げにあたっては、東京家政大学、長南町商工会、金融機関などへ参加を要請するとともに、平成29年度のアンケートで記念館の運営に対する協力意向があった回答者など、運営組織の構成員として参画可能性のある町民への個別の意向把握を行い、地域住民の参画を得る。

運営組織の法人化、職員の採用などに必要な実務を進めるとともに、初年度の事業計画書、収支計画書を作成する。

②事業の準備

初年度から行う各事業に関する準備を進める。

○展示の企画・収集・制作

第4章に掲げた展示内容を具体化していくため、学芸員を含む町関係者、東京家政大学及び茂原北陵高等学校関係者などで構成される会議を開催し、常設展示の企画、展示品の収集・制作に取り組む。展示品の収集にあたっては、東京家政大学の卒業生や千葉県内を中心に、寄贈を呼びかける。

○講座の企画・準備

東京家政大学の協力を得て、初年度からの実施を計画している「出前公開講座」の企画内容などについて、連絡協議会の場を中心に協議を行う。必要に応じて担当講師との個別の連絡調整、テキストや講義資料の調整・印刷などを行う。

○広報・PRの準備・パンフレット等の作成

開館へ向けた広報・PRの準備を進める。記念館のパンフレット、ホームページなどのデザインや作成にあたっては、東京家政大学の学生などとの協働により進める。

○町民サポーターの募集

平成29年度のアンケートで記念館の運営に対する協力意向があった回答者など、記念館のマネジメント部門、事業部門への参画可能性のある町民への個別の声かけと公募を行う。各自の関心事や得意分野に応じて、「マネジメント部門」「事業部門」に登録してもらう。両部門に関わることも可能とする。

町民サポーター養成講座を実施する。全サポーターの受講が必須の講座（渡邊辰五郎の功績と記念館の基本理念、記念館の事業概要、町民サポーターの役割・基本マナーなど）と、部門ごとの内容に応じた講座（ミュージアムガイド育成、エコツアーガイド育成、パソコンの基本操作、施設修

繕、植栽の手入れなど)を企画する。

開館後は町民サポーター連絡会を開催し、活動や養成講座の充実を図っていく。

○レストランのテナント募集と契約

テナント募集の条件を設定する。テナントの条件には、記念館の理念に賛同すること、長南産の食材を使った料理を提供することなどを盛り込む。出店意向のありそうな、周辺地域の事業者に対するヒアリングを行う。

③イベントの実施

多くの町民などが、記念館の運営に関わるきっかけとなるイベントを企画・実施する。

○建設予定地見学会

建設予定地見学会を実施する。見学会は、特に子育て中の世帯を対象とした親子で楽しめるイベントや、東京家政大学との協働プログラムなどをメインに開催する。

イベントなどへの参加を目的に建設予定地を訪れた町民に、記念館整備への理解を深めてもらう機会とする。

○施設整備時の町民参加工事、現場見学会

記念館の建物及び広場について、基本設計段階で町民参加の可能な工事を洗い出し、実施設計図面へ盛り込む。町民参加工事に併せて現場見学会を開催する。

○東京家政大学の学生による作品展示

記念館パンフレット案、カフェやレストランで提供するメニューのレシピ案など、東京家政大学の学生による作品展を、建設予定地や中央公民館などで開催し、併せて来場者に対する記念館整備のPRを行う。

○町民への展示品や情報などの募集

各世帯に伝わる、渡邊辰五郎や、特に明治期の長南宿に関する資料、写真、思い出話などを募集する。資料や情報の提供者による懇談会を開催し、内容を展示へ反映させる。

（２）収入を伴う事業の実施と段階的な拡充

運営組織の自立化へ向けて、収入を伴う事業を企画・実施し、入館料以外の収入を見込む。収入を伴う主な事業について、事業ごとの中期計画を設定し、実現へ向けた準備を進める。

○有料講座実施

東京家政大学と連携し、同大学の講師陣による有料の「出前公開講座」を1年目から開設する。受講料収入を見込む。専門職の資格を持ちながら現在は現場を離れている者を対象とした「再チャレンジ支援講座」を目玉とし、周辺市町村を含む町民等の就労支援、人手不足という課題解決の取り組みの一つに位置付ける。「出前公開講座」は、順次内容と実施回数を増やしていく。

また、4年目からは町民サポーターも講師となる記念館独自の有料講座にも取り組んでいく。

○ツアー実施

町民サポーターを対象にツアーガイドの育成を図り、3年目から日帰りのエコツアーを実施する。参加費収入を見込む。エコツアーは町民以外の参加者も募り、ガイドを担う町民一人ひとりが自らの言葉で長南町の魅力を発信する機会としていく。4年目以降、段階的に回数を増やしていく。

長南町産の食材の収穫、調理体験などを伴う内容を、東京家政大学と連携して企画する。

実施にあたっては、ツアーガイド育成のための研修を毎年行っていく。

○受託事業実施

本町の小学生を対象とした体験活動支援などの運営業務の受託に取り組む。町からの委託料収入を見込む。「教育の町」の実践の一環として、主に土曜日を中心に学校の事業とは違った様々な体験プログラムを提供し、子どもたちの知識吸収や体験の場としていくための活動を行う。これからの時代に生きる児童の望ましい人間形成を図るため、家庭、学校及び地域社会が一体となってそれぞれの教育機能を発揮し、子どもたちがゆとりあふれる生活の中で、自ら考え主体的に判断し、行動するための資質や能力の育成を図ることを目的とする。体験の実施にあたっては、子どもたちが自主的に活動することができるよう、様々な活動の機会と場所の提供などの条件整備に積極的に取り組むものとする。日々の運営は、町民サポーターが中心となって担うこととする。2年目から実施し、段階的に実施回数を増やしていくが、年間を通した実施内容は、東京家政大学と連携して企画し、実施する。

○マルシェ運営

開館2年目以降、マルシェを開催し、出店料収入を見込む。長南産や近郊の農家からの産直の農産物、加工品、工芸品、軽食などの販売を定期的に行い、つくり手と買い手の距離が近くつくり手の顔が見え、売り買いのコミュニケーションの魅力もあるマルシェとして定着させる。

実施回数を重ねる中で周辺地域の理解を得られるように努め、商工会と連携しながら敷地外の長南宿エリアへ出店範囲と出店数を拡大していく。

○カフェ運営

町民による「お試しカフェ」を1年目の後半から実施し、スペースレンタル料収入を見込む。「お試しカフェ」を実施しない開館日は、持ち寄りで飲食ができる「持ち寄りカフェ」のスペースとし

て活用できることとし、食を軸とした交流の場として根付かせる。

2年目以降、「お試しカフェ」の実施回数を増やししながら実績を重ねるとともに、並行して4年目を目途としてカフェの運営グループの構築に取り組む。

5年目からは運営グループをテナントとした自立運営によるカフェへ移行し、テナント料収入を見込む。運営グループは、地元の農家・おかあさんなどが構成し、長南町の食材を使った家庭料理を提供することを想定する。東京家政大学と協働で考案したメニューも提供する。

○レストラン運営

1年目からテナントによる運営とし、テナント料収入を見込む。テナントの条件として、記念館の理念に賛同すること、長南産の食材を使った料理を提供することを提示する。

※これらの事業は、単一の事業目的で来訪した者が、他の事業を知り、利用するきっかけとなるよう、可能な範囲で複数の事業を同日に行うよう計画する。

●収入を伴う主な事業の中期計画

項目	開館準備期	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
有料講座実施	<ul style="list-style-type: none"> 出前公開講座企画(有料) 東京家政大学との調整 	1クール(5日間)×1講座実施		1クール(5日間)×2講座実施		1クール(5日間)×3講座実施
ツアー実施			<ul style="list-style-type: none"> ツアーガイド育成 事業計画検討 	月1回(日)×12月実施	月2回(土日)×12月実施	平日を含め、要望に応じて実施(随時)
受託事業実施	収益事業に関わる町民サポーター発掘(以降も継続)	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画検討 実施体制整備 町との委託契約 	月1回実施	実績を踏まえた検証・次年度以降の計画検討	月2回実施	
マルシェ運営		事業計画検討	敷地内で月1回実施	実績を踏まえた検証・次年度の計画検討	敷地外を含め月1回実施	敷地外を含め月2回実施
カフェ運営		お試しカフェ月2回×6月	お試しカフェ月4回(日)×12月開催	お試しカフェ月8回(日・水)×12月開催	実績を踏まえた検証	町民によるテナントが自立運営
レストラン運営	<ul style="list-style-type: none"> 賃料設定 理念に賛同するテナント募集 契約 店舗設計 開店準備 	テナント(事業者)が運営				

(3) 自立化へ向けた方針

本町は、平成28年8月31日に東京家政大学と連携包括協定を締結している。東京家政大学の専門性、本町の自然環境、茂原長南ICの整備効果を活用した経済・文化・観光レクリエーションなど、多方面に及ぶひと・もの・情報の多様な交流機会を創出し、町の活性化を図る拠点として本記念館を位置付け、地方創生を実現していく。

本記念館では、記念館を核とする長南宿周辺をフィールドとした様々な事業を展開することにより、町民と東京家政大学、町民同士、町民と観光客などの交流を創出し、町全体の賑わいを取り戻すとともに、Uターン・Iターン者を増やし、税収の増加へ繋げる。

収入を伴う事業の実施にあたっては、主に町民サポーターが自分たちのまちの活動として関わり進めていくこととし、自立化を目指していく。実際に事業に関わる前には、必要な研修を実施し、事業の質を高める。

町民サポーターが、講座の講師、ツアーガイド、マルシェやカフェの売り手として、自分の言葉で自らの町を語ることは、一人ひとりが地域の魅力を再発見し、地域への誇りや愛着を育むこととなる。さらに、町民自らの言葉が聞け、コミュニケーションを図れることは、記念館を訪れた町民にとっても地域の魅力の再発見の機会となる。これらのことが新たな町民サポーターを増やしていくことにも繋がり、この広がりによって記念館の活動と地域がさらに活性化されていく。

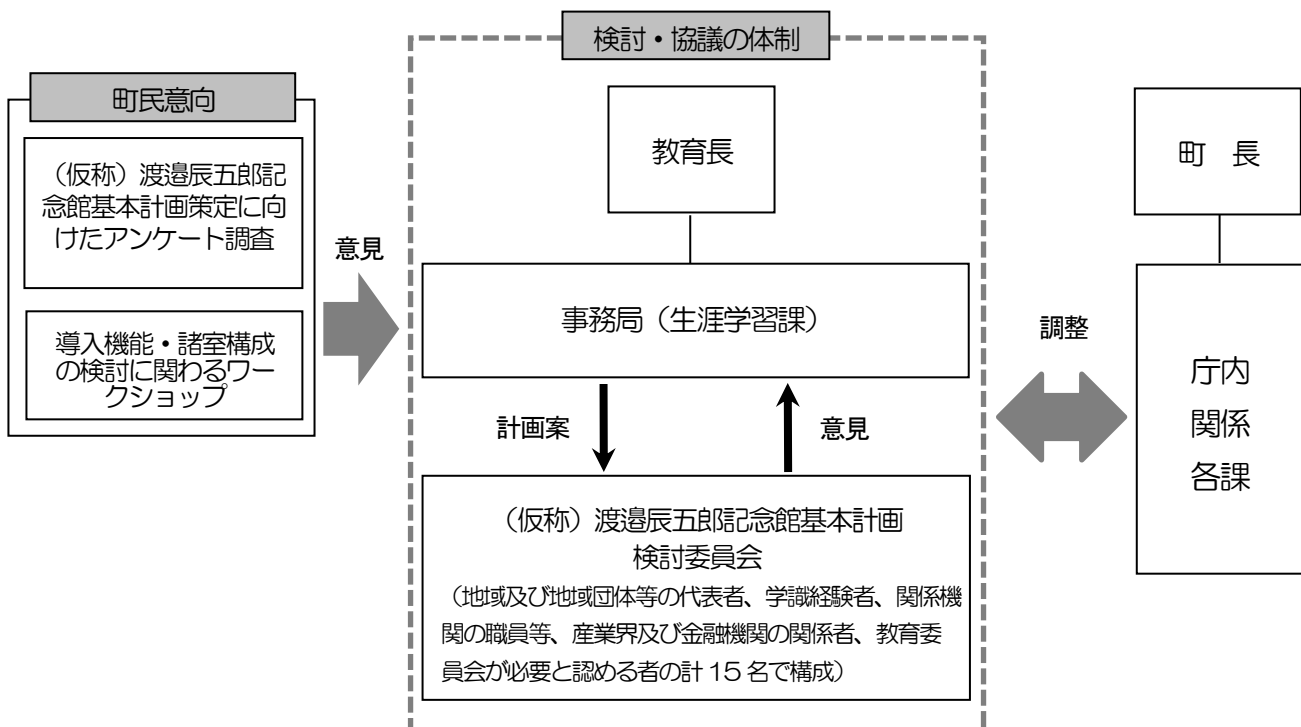
また、講座やツアー、カフェのメニューなどは、東京家政大学の専門性を活用することによって低コストにて質の高い内容を企画することが可能となり、質が高く魅力的な複数の事業を並行して提供することによって、学べる、食べられる、楽しめる施設として評判を呼び、リピーターと新たな来訪者を増やす好循環を生み出すことに繋げ、記念館の収益を向上させることが可能となる。

資料

1 策定体制

基本計画の策定にあたっては、（仮称）渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会設置条例の規定に基づき、地域及び地域団体等の代表者、学識経験者、関係機関の職員等、産業界及び金融機関の関係者、教育委員会が必要と認める者で構成する「（仮称）渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会」を平成 29 年 6 月 23 日に設置し、この委員会の中で計画の検討・協議を行った。

また、平成 29 年 7 月 26 日～8 月 18 日に「（仮称）渡邊辰五郎記念館基本計画策定に向けたアンケート調査」を行い、町民の意見把握を行った。さらに、平成 29 年 8 月 19 日には「導入機能・諸室構成の検討に関わるワークショップ」を開催し、参加した町民、検討委員会委員の意見把握を行った。



2 (仮称)渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会

(1) (仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会設置条例

平成29年3月6日
条例第4号

(設置)

第1条 (仮称) 渡邊辰五郎記念館の建設に関する基本計画を策定するため、各分野の専門家や関係者等で組織する、(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会 (以下「委員会」という。) を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討及び協議を行う。

- (1) (仮称) 渡邊辰五郎記念館基本構想に基づく基本計画の策定に関すること。
- (2) その他、基本計画の策定に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、委員15名以内をもって組織する。

2 委員は、次に各号に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- (1) 地域及び地域団体等の代表者
- (2) 学識経験者
- (3) 関係機関の職員等
- (4) 産業界及び金融機関の関係者
- (5) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

3 委員会には委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

4 委員長は、会務を総理し委員会を代表する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画策定の日までとする。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、委員の半数以上の者の出席がなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で可決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第6条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴き、又は資料の提供を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、生涯学習課において行う。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営その他必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。

(失効)

- 2 この条例は、委員会の目的を達成した日に、その効力を失う。
(特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)
- 3 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和31年長南町条例第11号）の一部を次のように改正する。

別表第1 文化財審議会委員の項の次に次のように加える。

(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会委員長	日額 5,700 円
(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会委員	日額 5,200 円

別表第2 文化財審議会委員の項の次に次のように加える。

(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会委員長	
(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会委員	

(経過措置)

- 4 この条例の施行後、最初に行われる委員会は、第5条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

(2) 開催状況

開催日	議 題
平成 29 年度 第 1 回 6 月 23 日 (金)	(1) 委嘱状の交付 (2) 委員長・副委員長の選出 (3) (仮称) 渡邊辰五郎隠念館基本構想について (4) (仮称) 渡邊辰五郎隠念館基本計画検討委員会設置条例について (5) (仮称) 渡邊辰五郎隠念館基本計画策定スケジュール(案)について (6) 「アンケート調査」実施について (7) 「事例視察」実施について (8) 「導入機能・諸室構成の検討に関わるワークショップ」実施について
平成 29 年度 第 2 回 8 月 1 日 (火)	(1) 先進事例視察 千葉科学大学エクステンションセンター(新銚子セレクト市場内)を視察
平成 29 年度 第 3 回 10 月 16 日 (月)	(1) 第 2 回検討委員会(先進事例視察)の報告 (2) (仮称) 渡邊辰五郎隠念館基本計画策定に向けたアンケート調査結果 (3) 導入機能・諸室構成の検討に関わるワークショップの報告 (4) 導入機能・諸室構成(案)
平成 29 年度 第 4 回 12 月 25 日 (月)	(1) 施設計画(案)について (2) 管理・運営計画(案)について (3) (仮称) 渡邊辰五郎隠念館基本計画(素案)の構成について
平成 29 年度 第 5 回 2 月 5 日 (月)	(1) (仮称) 渡邊辰五郎隠念館基本計画(案)について

(3) 委員名簿

NO	職名	氏名	区 分	摘 要
1	委員長	古 谷 一 雄	2号委員 (学識経験者)	
2	副委員長	河 本 雅 史	//	長南町文化財審議会会長
3	委 員	松 崎 剛 忠	1号委員 (地域及び地域団体等の代表者)	長南町議会 教育民生常任委員
4	//	大 倉 正 幸	//	長南町議会副議長
5	//	墨 田 治 平	//	長南2区区長
6	//	白 鳥 久 良	//	長南3区区長
7	//	鈴 木 喬 子	2号委員 (学識経験者)	長南町社会教育委員長
8	//	酒 井 政 則	//	長南小学校長
9	//	手 嶋 尚 人	3号委員 (関係機関の職員等)	東京家政大学家政学部長 造形表現学科 教授
10	//	永野 美和子	//	茂原北陵高等学校
11	//	中 橋 一 夫	4号委員 (産業界及び金融機関の関係者)	長南町商工会会長
12	//	國 吉 威	//	千葉興業銀行法人戦略部 ナレッジ企画室長
13	//	星野 眞紗子	5号委員 (教育委員会が必要と認める者)	
14	//	大森 美智子	//	
15	//	金 澤 秀 和	//	

NO	職名	氏名	区 分	摘 要
1	オブザーバー	田 中 英 司		企画政策課長
2	//	風 戸 知		企画政策課企画調整係

3 先進事例視察の結果

(1) 視察の目的

東京家政大学と連携した、地域活性化の拠点となる施設の基本計画策定の参考とするため、大学と連携したまちづくりセンターなどの拠点施設における、活動や組織、施設の運営などを視察した。

(2) 視察地

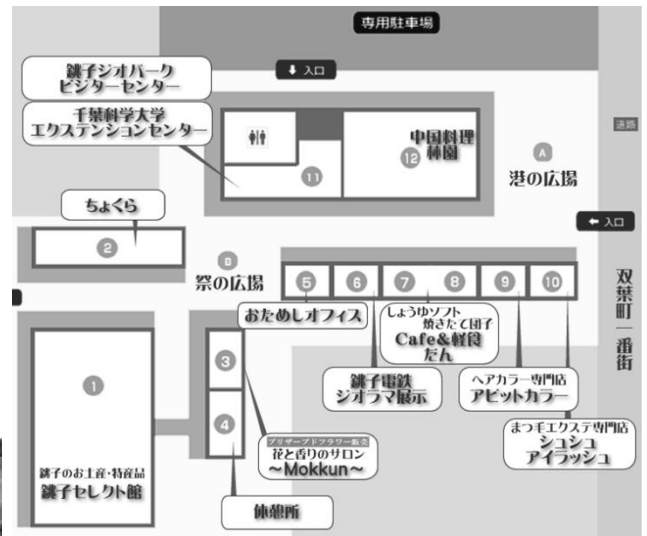
新 銚子セレクト市場

千葉科学大学エクステンションセンター

銚子ジオパークビジターセンター

NPO 法人ちょうしがよくなるくらぶ

銚子セレクト館



(3) 視察日

平成 29 年 8 月 1 日 (火)

(4) 参加者

(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会 委員 10 名

(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会 事務局 7 名

(5) 交通手段

町バス (べにばな号)

千葉科学大学エクステンションセンター 機能：会議・研修 運営主体：千葉科学大学

市民・学生・教員が交流しながら学ぶプラットフォームとして、銚子市の中心部に千葉科学大学エクステンションセンターが開設されている。

◆銚子市の課題と解決のための大学の取り組み

銚子市には魅力的な資源が多く存在するが、地域住民・企業等がその恩恵（豊かな自然や誇るべき歴史等）の価値と、地域全体に影響を及ぼす脅威（地震・津波等の自然災害）の危険性に明確に気づいていないという状況があった。そこで大学として、地域の自然・環境や歴史・伝統・産業などの恩恵を知り、学ぶ地域志向の科目を開講することにより、学生の地域社会とのコミュニケーション力を育成し「地育地就」を進めることに取り組んでいる。



- 銚子の「恩恵」と「脅威」を学べる、地域志向新設科目「銚子学」（千葉科学大学1年次の必修科目）における、ボランティア体験実習、まち歩き実習のステーション機能（学生の集合、解散、振り返りなど）
- 「防災まちおこし研究会」の勉強会や防災学習ツアーなどの拠点として活用
- 教育支援ボランティアサークルの学生による、地元の小学生を対象とした学習支援活動の場
- 本学の教育交流提携校からの仕事体験生による市民を対象とした英会話レッスンの場

銚子ジオパークビジターセンター 機能：展示 運営主体：銚子市、ジオパーク推進市民の会
来訪者：市内2割、市外8割（全体）

銚子の成り立ち、自然・文化・歴史を楽しく学べる情報ステーションとして、銚子ジオパークビジターセンターが開設されている。



◆銚子ジオパーク推進市民の会

千葉科学大学教授の「銚子市をジオパークにしたい」という想いにより発足した市民の会。当施設の受付を担い、日頃は毎週木曜日に会議を行いジオに関する勉強などを行っている。銚子市の小学6年生に屏風ヶ浦の説明をしたり、ジオに関する自由研究のお手伝いをしたりしている。

◆認定ジオガイド

銚子ジオパーク講座（講義及び野外実習）を開催しており、それに出席して試験に合格すると、認定ジオガイドになることができる。現在は約30名のガイドがあり、これからも増やしていく予定である。

ちょうしがよくなるくらぶ 機能：物販・飲食 運営主体：NPO法人

来訪者：市内多数（平日イベント時）、市外多数（祝日）

食・自然・文化など、銚子の豊かな地域資源を「健康」というテーマのもと再創造し、それを活用した商品開発及び販売を行っている。

◆「ちょうしがよくなる」ためのちよくらの取り組み

「ちょうしがよくなる」という視点で銚子の魅力を再発見したり、新たに生み出したりして、銚子の魅力を広く売り出していくNPO法人である。新しい魅力に触れることで、「ちょうらぶ（法人名の最初と最後の部分を合わせた）」になってほしいという願いも持って活動している。



- 千葉科学大学と連携した非常食・非常用品「もしものおまもり」や機能性表示食品缶詰などの健康商品開発・販売
- 飲食スペースでのまごわやさしいこ定食等、健康メニューの提供
- 「企業」「シニア」「家族」等、様々なライフステージに応じた「〇〇のちょうしがよくなるツアー」やJR東日本と連携したヘルスツーリズムの企画・開催

銚子セレクト館 機能：物販 運営主体：ヒューマンライブ株式会社

来訪者：市内7割（内2/3が高齢者）、市外3割（旭市など）

銚子が大好きな地元の人たちが自らセレクトした、上質な逸品の紹介、販売をしている。厳選した海産物、農産物、銚子のお土産などを購入できる。



◆商品の選定

約200社と提携しており、その内約50社が青果、約30社が弁当である。地産地消にこだわっているが、銚子で取れたものだけでは客に満足を与えられないため、桃やバナナなど銚子で採れないものは、近隣自治体の青果市場から補充している。商品の生産地を大きく示した値札を設置している。

◆行事の開催

客の目を惹きつけるために、毎週火曜日に魚屋による鮭の切り身ショーや花屋の相談会などを取り入れている。原則毎週金・土・日には弁当等の試食販売会も行っている。

4 (仮称)渡邊辰五郎記念館基本計画策定に向けたアンケートの結果

(1) 調査の目的

- ・基本構想で取りまとめた導入機能や施設について、内容の具体化に向け、町民意向を把握する。
- ・基本計画の策定や、記念館建設後の運営への協力者を把握する。

(2) 調査項目

- ・渡邊辰五郎、長南町と東京家政大学との連携、長南宿について
- ・(仮称) 渡邊辰五郎記念館の施設全体について
- ・導入機能・施設について
- ・基本計画の策定や運営への参加意向について
- ・回答者の属性

(3) 調査の概要

○調査対象：在住者アンケート

○調査期間：平成29年7月26日(水)から平成29年8月18日(金)まで

○調査方法：郵送による配布及び郵送収集

○配布・回収状況：

配布数	回収数	回収率
1,000 票	334 票	33.4%

○配布内訳

年齢(歳)	年齢別人数(人)	アンケート対象者人数(人)	年齢別人数に対する割合
18～19	112	16	14.3%
20～29	607	88	14.5%
30～39	711	104	14.6%
40～49	898	128	14.3%
50～59	1,054	156	14.8%
60～69	1,716	252	14.7%
70～85	1,777	256	14.4%
合計	6,875	1,000	-

(4) 調査結果の見方

○図表中の「N」は「Number of case」の略で、設問への回答者数を示している。

○回答は百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。

○複数選択ができる設問では、設問該当者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が100%を超えることがある。

○選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。

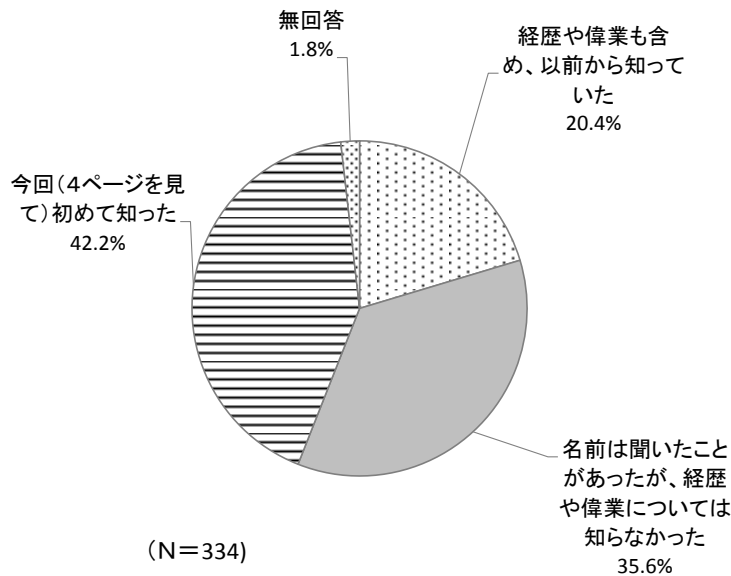
○表中の「全体が黒で白文字」は最も多かった回答、「全体が灰色で太文字」は2番目に多かった回答を表す。

渡邊辰五郎、長南町と東京家政大学との連携、長南宿について

問1 東京家政大学の創設者の渡邊辰五郎氏について、どの程度知っていますか？
(いずれかに○)

【全体】

「今回（4ページを見て）初めて知った」が42.2%、次いで「名前は聞いたことがあったが、経歴や偉業については知らなかった」が35.6%、「経歴や偉業も含め、以前から知っていた」が20.4%となっている。



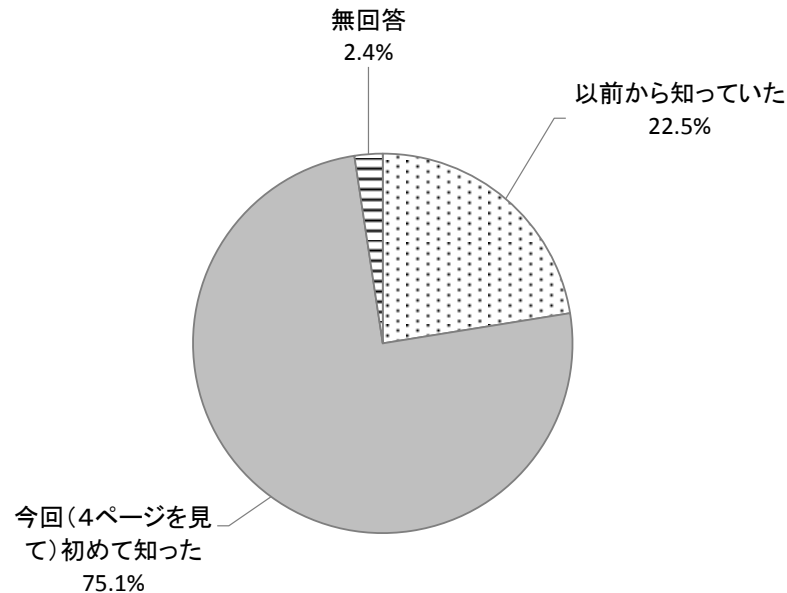
【性別・年代別】

		回答者数	経歴や偉業も含め、以前から知っていた	名前は聞いたことがあったが、経歴や偉業については知らなかった	今回（4ページを見て）初めて知った	無回答
全体	人数	334	68	119	141	6
	構成比		20.4%	35.6%	42.2%	1.8%
男性	人数	141	34	51	54	2
	構成比		24.1%	36.2%	38.3%	1.4%
女性	人数	172	32	63	75	2
	構成比		18.6%	36.6%	43.6%	1.2%
無回答	人数	21	2	5	12	2
	構成比		9.5%	23.8%	57.1%	9.5%
10歳代	人数	4	0	1	3	0
	構成比		0.0%	25.0%	75.0%	0.0%
20歳代	人数	16	2	2	12	0
	構成比		12.5%	12.5%	75.0%	0.0%
30歳代	人数	28	3	4	21	0
	構成比		10.7%	14.3%	75.0%	0.0%
40歳代	人数	38	5	15	18	0
	構成比		13.2%	39.5%	47.4%	0.0%
50歳代	人数	52	7	21	23	1
	構成比		13.5%	40.4%	44.2%	1.9%
60歳代	人数	84	22	33	29	0
	構成比		26.2%	39.3%	34.5%	0.0%
70歳代以上	人数	89	27	38	22	2
	構成比		30.3%	42.7%	24.7%	2.2%
無回答	人数	23	2	5	13	3
	構成比		8.7%	21.7%	56.5%	13.0%

問2 町が東京家政大学と「連携協力に関する包括協定書」を締結し、長南宿のまち歩きやレシピ開発などの取組みを行っていることをご存じですか。(いずれかに○)

【全体】

「今回（4ページを見て）初めて知った」が75.1%、「以前から知っていた」が22.5%となっている。



(N=334)

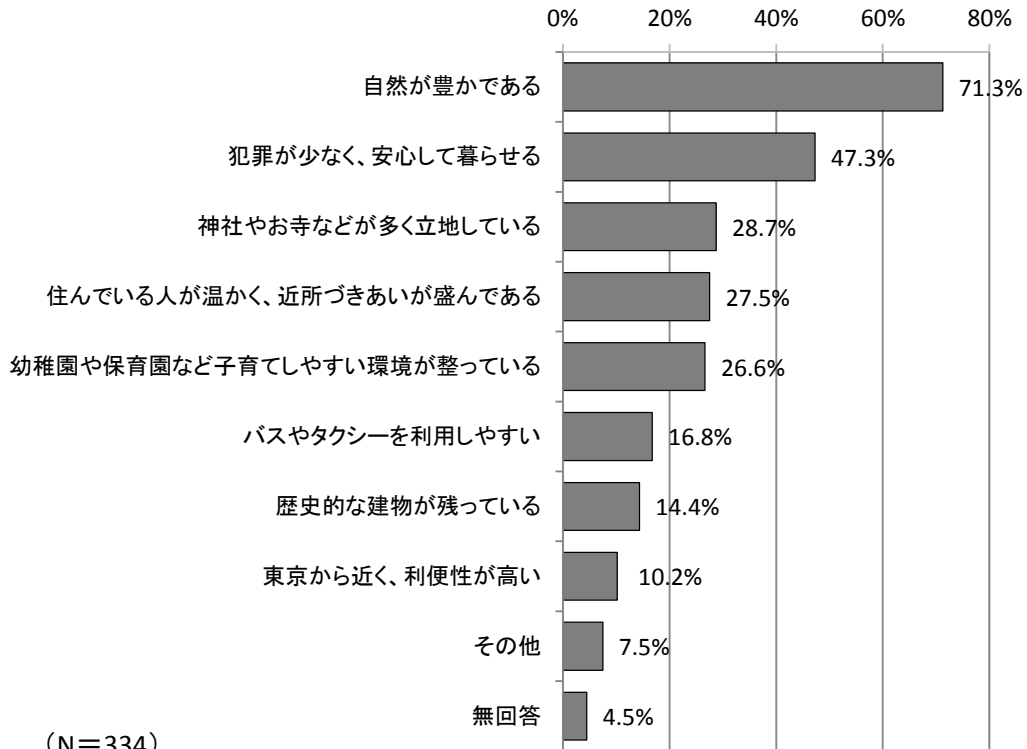
【性別・年代別】

		回答者数	以前から知っていた	今回(4ページを見て)初めて知った	無回答
全体	人数	334	75	251	8
	構成比		22.5%	75.1%	2.4%
男性	人数	141	36	103	2
	構成比		25.5%	73.0%	1.4%
女性	人数	172	36	133	3
	構成比		20.9%	77.3%	1.7%
無回答	人数	21	3	15	3
	構成比		14.3%	71.4%	14.3%
10歳代	人数	4	0	4	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%
20歳代	人数	16	2	14	0
	構成比		12.5%	87.5%	0.0%
30歳代	人数	28	6	22	0
	構成比		21.4%	78.6%	0.0%
40歳代	人数	38	8	30	0
	構成比		21.1%	78.9%	0.0%
50歳代	人数	52	8	44	0
	構成比		15.4%	84.6%	0.0%
60歳代	人数	84	20	64	0
	構成比		23.8%	76.2%	0.0%
70歳代以上	人数	89	28	57	4
	構成比		31.5%	64.0%	4.5%
無回答	人数	23	3	16	4
	構成比		13.0%	69.6%	17.4%

問3 古くは宿場町として栄え、町の中心部として賑わいを見せてきた長南宿について、現在どのような印象をお持ちですか。あなたが思う現在の長南宿の良いところと問題点について、それぞれ教えてください。(該当するもの全てに○)

○良いところ

【全体】 「自然が豊かである」が71.3%、「犯罪が少なく、安心して暮らせる」が47.3%となっている。



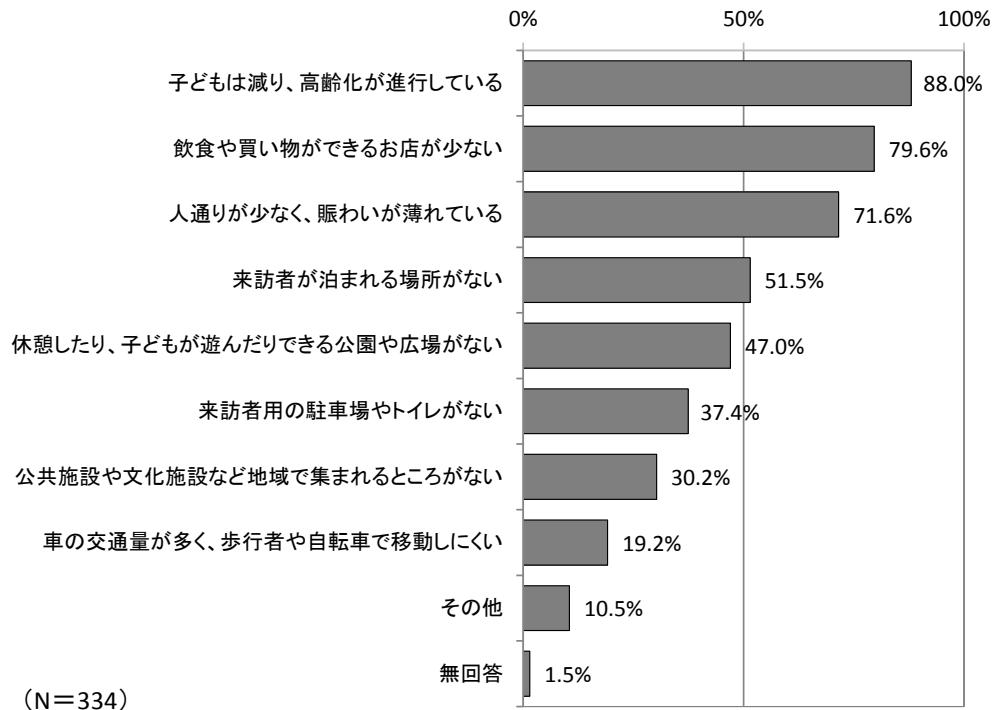
【性別・年代別】

		回答者数	バスやタクシーを利用しやすい	東京から近く、利便性が高い	住んでいる人が温かく、近所づきあいが盛んである	犯罪が少なく、安心して暮らせる	神社やお寺などが多く立地している	歴史的な建物が残っている	幼稚園や保育園など子育てしやすい環境が整っている	自然が豊かである	その他	無回答
										割合	割合	割合
全体	人数	334	56	34	92	158	96	48	89	238	25	15
	構成比		16.8%	10.2%	27.5%	47.3%	28.7%	14.4%	26.6%	71.3%	7.5%	4.5%
男性	人数	141	24	20	38	63	42	22	36	87	12	10
	構成比		17.0%	14.2%	27.0%	44.7%	29.8%	15.6%	25.5%	61.7%	8.5%	7.1%
女性	人数	172	29	12	49	87	51	23	50	138	10	4
	構成比		16.9%	7.0%	28.5%	50.6%	29.7%	13.4%	29.1%	80.2%	5.8%	2.3%
無回答	人数	21	3	2	5	8	3	3	3	13	3	1
	構成比		14.3%	9.5%	23.8%	38.1%	14.3%	14.3%	14.3%	61.9%	14.3%	4.8%
10歳代	人数	4	0	0	2	2	0	1	0	3	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%
20歳代	人数	16	2	1	5	6	0	1	2	8	1	2
	構成比		12.5%	6.3%	31.3%	37.5%	0.0%	6.3%	12.5%	50.0%	6.3%	12.5%
30歳代	人数	28	1	0	4	7	7	3	8	21	8	0
	構成比		3.6%	0.0%	14.3%	25.0%	25.0%	10.7%	28.6%	75.0%	28.6%	0.0%
40歳代	人数	38	2	3	9	19	8	4	13	34	2	0
	構成比		5.3%	7.9%	23.7%	50.0%	21.1%	10.5%	34.2%	89.5%	5.3%	0.0%
50歳代	人数	52	2	3	11	29	9	5	12	39	3	1
	構成比		3.8%	5.8%	21.2%	55.8%	17.3%	9.6%	23.1%	75.0%	5.8%	1.9%
60歳代	人数	84	13	13	20	40	28	12	25	60	4	7
	構成比		15.5%	15.5%	23.8%	47.6%	33.3%	14.3%	29.8%	71.4%	4.8%	8.3%
70歳代以上	人数	89	34	14	36	47	40	18	26	59	5	3
	構成比		38.2%	15.7%	40.4%	52.8%	44.9%	20.2%	29.2%	66.3%	5.6%	3.4%
無回答	人数	23	2	0	5	8	4	4	3	14	2	2
	構成比		8.7%	0.0%	21.7%	34.8%	17.4%	17.4%	13.0%	60.9%	8.7%	8.7%

○問題点

【全体】

「子どもは減り、高齢化が進行している」が88.0%、次いで「飲食や買い物ができるお店が少ない」が79.6%、「人通りが少なく、賑わいが薄れている」が71.6%となっている。



【性別・年代別】

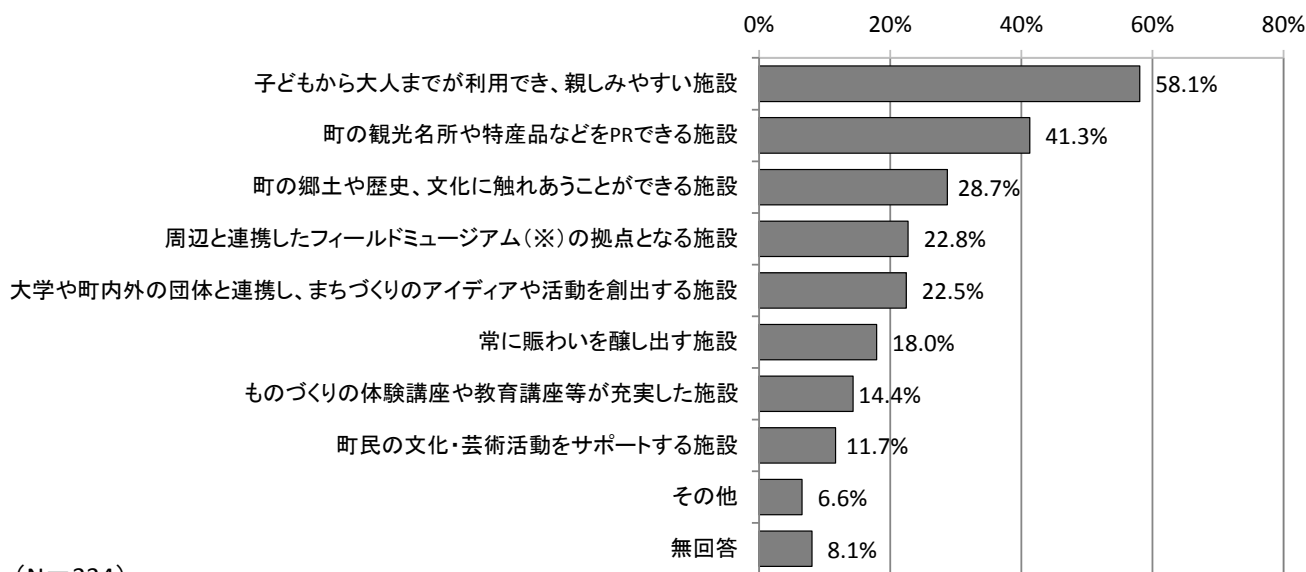
	回答者数	車の交通量が多く、歩行者や自転車で移動しにくい	人通りが少なく、賑わいが薄れている	子どもは減り、高齢化が進行している	公共施設や文化施設など地域で集まれるところがない	休憩したり、子どもが遊んだりできる公園や広場がない	来訪者用の駐車場やトイレがない	来訪者が泊まれる場所がない	飲食や買い物ができるお店が少ない	その他	無回答										
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比								
全体	334	64	19.2%	239	71.6%	294	88.0%	101	30.2%	157	47.0%	125	37.4%	172	51.5%	266	79.6%	35	10.5%	5	1.5%
男性	141	25	17.7%	105	74.5%	128	90.8%	43	30.5%	63	44.7%	61	43.3%	77	54.6%	108	76.6%	16	11.3%	2	1.4%
女性	172	35	20.3%	119	69.2%	150	87.2%	51	29.7%	86	50.0%	57	33.1%	87	50.6%	144	83.7%	16	9.3%	1	0.6%
無回答	21	4	19.0%	15	71.4%	16	76.2%	7	33.3%	8	38.1%	7	33.3%	8	38.1%	14	66.7%	3	14.3%	2	9.5%
10歳代	4	0	0.0%	1	25.0%	3	75.0%	1	25.0%	2	50.0%	0	0.0%	2	50.0%	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
20歳代	16	2	12.5%	11	68.8%	13	81.3%	4	25.0%	5	31.3%	2	12.5%	5	31.3%	13	81.3%	2	12.5%	0	0.0%
30歳代	28	5	17.9%	20	71.4%	26	92.9%	7	25.0%	17	60.7%	10	35.7%	18	64.3%	23	82.1%	6	21.4%	0	0.0%
40歳代	38	6	15.8%	26	68.4%	35	92.1%	15	39.5%	24	63.2%	9	23.7%	21	55.3%	32	84.2%	5	13.2%	0	0.0%
50歳代	52	9	17.3%	38	73.1%	50	96.2%	15	28.8%	22	42.3%	23	44.2%	30	57.7%	42	80.8%	4	7.7%	0	0.0%
60歳代	84	17	20.2%	59	70.2%	70	83.3%	24	28.6%	35	41.7%	31	36.9%	39	46.4%	68	81.0%	9	10.7%	1	1.2%
70歳代以上	89	21	23.6%	67	75.3%	80	89.9%	27	30.3%	43	48.3%	43	48.3%	47	52.8%	68	76.4%	5	5.6%	1	1.1%
無回答	23	4	17.4%	17	73.9%	17	73.9%	8	34.8%	9	39.1%	7	30.4%	10	43.5%	16	69.6%	4	17.4%	3	13.0%

(仮称) 渡邊辰五郎記念館の施設全体について

問4 (仮称) 渡邊辰五郎記念館にどのような施設を望みますか。(該当するもの3つまでに○)

【全体】

「子どもから大人までが利用でき、親しみやすい施設」が58.1%、次いで「町の観光名所や特産品などをPRできる施設」が41.3%、「町の郷土や歴史、文化に触れあうことができる施設」が28.7%となっている。



(N=334)

【性別・年代別】

		回答者数	子どもから大人までが利用でき、親しみやすい施設	常に賑わいを醸し出す施設	町の郷土や歴史、文化に触れあうことができる施設	町の観光名所や特産品などをPRできる施設	町民の文化・芸術活動をサポートする施設	ものづくりの体験講座や教育講座等が充実した施設	周辺と連携したフィールドミュージアム(※)の拠点となる施設	大学や町内外の団体と連携し、まちづくりのアイデアや活動を創出する施設	その他	無回答
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
全体	人数	334	194	60	96	138	39	48	76	75	22	27
	構成比		58.1%	18.0%	28.7%	41.3%	11.7%	14.4%	22.8%	22.5%	6.6%	8.1%
男性	人数	141	71	28	43	61	15	16	29	40	13	10
	構成比		50.4%	19.9%	30.5%	43.3%	10.6%	11.3%	20.6%	28.4%	9.2%	7.1%
女性	人数	172	113	26	49	72	22	30	44	32	8	11
	構成比		65.7%	15.1%	28.5%	41.9%	12.8%	17.4%	25.6%	18.6%	4.7%	6.4%
無回答	人数	21	10	6	4	5	2	2	3	3	1	6
	構成比		47.6%	28.6%	19.0%	23.8%	9.5%	9.5%	14.3%	14.3%	4.8%	28.6%
10歳代	人数	4	4	1	2	1	0	2	1	1	0	0
	構成比		100.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
20歳代	人数	16	12	5	1	8	1	4	1	4	1	0
	構成比		75.0%	31.3%	6.3%	50.0%	6.3%	25.0%	6.3%	25.0%	6.3%	0.0%
30歳代	人数	28	16	4	9	11	2	6	8	5	5	1
	構成比		57.1%	14.3%	32.1%	39.3%	7.1%	21.4%	28.6%	17.9%	17.9%	3.6%
40歳代	人数	38	18	11	7	13	4	7	7	8	4	1
	構成比		47.4%	28.9%	18.4%	34.2%	10.5%	18.4%	18.4%	21.1%	10.5%	2.6%
50歳代	人数	52	33	12	8	26	7	7	13	18	1	2
	構成比		63.5%	23.1%	15.4%	50.0%	13.5%	13.5%	25.0%	34.6%	1.9%	3.8%
60歳代	人数	84	43	13	26	40	10	8	19	20	8	8
	構成比		51.2%	15.5%	31.0%	47.6%	11.9%	9.5%	22.6%	23.8%	9.5%	9.5%
70歳代以上	人数	89	58	10	39	34	12	11	24	15	3	7
	構成比		65.2%	11.2%	43.8%	38.2%	13.5%	12.4%	27.0%	16.9%	3.4%	7.9%
無回答	人数	23	10	4	4	5	3	3	3	4	0	8
	構成比		43.5%	17.4%	17.4%	21.7%	13.0%	13.0%	13.0%	17.4%	0.0%	34.8%

※フィールドミュージアム

建物だけでなく、地域全体が博物館という考え方。宿場町である長南宿をひとつの博物館とし、本記念館をその拠点として存在させ、多くの方に来ていただくという意味を込めている。

問5 導入機能・施設(案)以外で、追加してほしい機能・施設はありますか。(自由回答)

温浴施設

- ・温浴施設(3)

子どもの遊び場、キッズスペース

- ・子どもが遊ぶ場所
- ・室内アスレチックや広いキッズスペース(2)
- ・若者が1日遊べる施設

地域特性を活かしたレストラン

- ・古民家的飲食等
- ・農村地域の特性を活かした農家レストラン
- ・町内の店舗

観光案内

- ・町内全域をくわしく説明、案内できるプロフェッショナルな観光案内の常駐(ボランティアでなく仕事として)
- ・町の要所に看板、町全体の観光案内がわかる看板(長柄町にある)

その他

- ・ポイントカードにて来場者に地元農産物等のプレゼント(又はレストランへの招待)
- ・屋外ラウンジ
- ・町内を散策できるレンタサイクル、サイクリングステーション
- ・ランナーのためのコインロッカー・シャワー(風呂)など
- ・都内から車で来て、ランニング・サイクリング・トレッキングが出来る拠点
- ・図書室とカフェの一体化した施設
- ・照明設備の充実(展示室)と芸術作品(写真や絵画など)の発表展示

道の駅

- ・道の駅(2)

トイレ、駐車スペース

- ・体の不自由な方、乳児連れの母親も利用できる、パーキングエリアのようなトイレや施設(2)
- ・24時間利用できる十分な駐車スペース

災害時の避難場所

- ・災害時、避難場所や福祉避難所として一時的に利用出来る施設(3)
- ・子ども110番

歴史や偉人の紹介コーナー

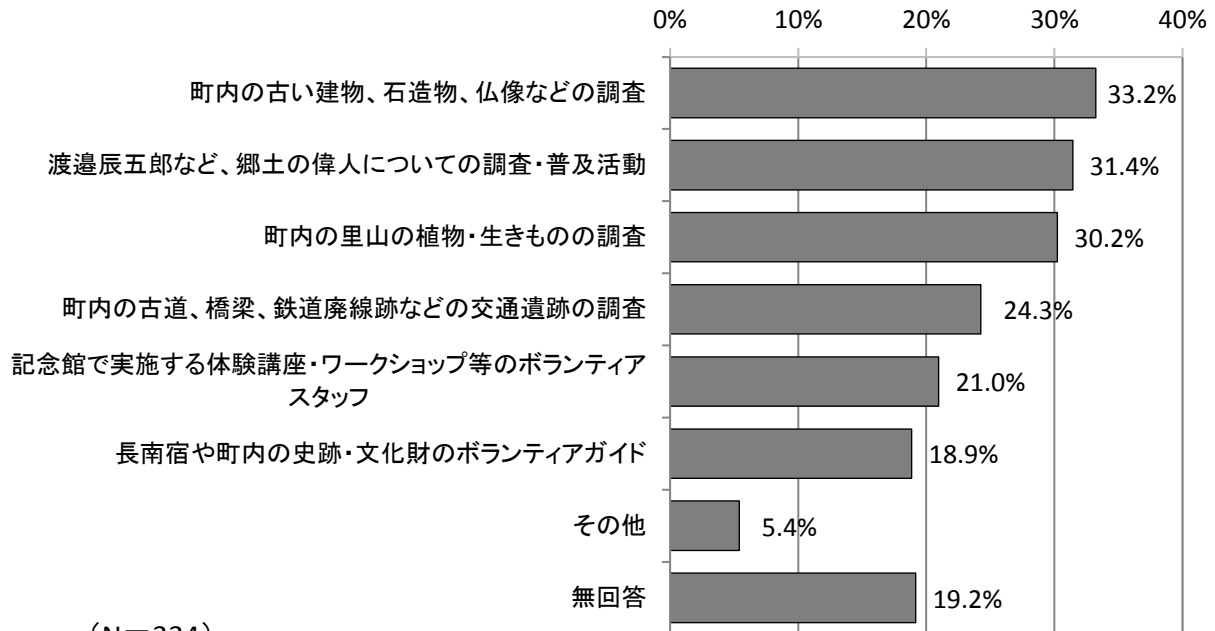
- ・今泉にある長南町指定文化財史跡、上埴生学館跡の紹介など
- ・辰五郎が活躍した明治時代に交流があった偉人と、そのエピソードを紹介するコーナー

- ・泊まれる所
- ・旧小学校施設の再利用(2)
- ・駅と電車道の設立
- ・学校の設立
- ・酪農家の協力を得て、良質な堆肥づくり
- ・山林の活用方法の研究
- ・ドッグランやドッグカフェ(ペットが出入りできる施設)(2)
- ・ミニ畑(稲、麦、はす、べに花などの見学)
- ・プロも呼べる様な音響施設の整った建物(ミュージックホール)
- ・プラネタリウム

問6 地域に開かれたミュージアムとして、地域と連携した活動の拠点を目指していきたいと考えていますが、どのような活動をしてみたいと思いますか。(該当するもの全てに○)

【全体】

「町内の古い建物、石造物、仏像などの調査」が33.2%、次いで「渡邊辰五郎など、郷土の偉人についての調査・普及活動」が31.4%、「町内の里山の植物・生きものの調査」が30.2%となっている。



(N=334)

【性別・年代別】

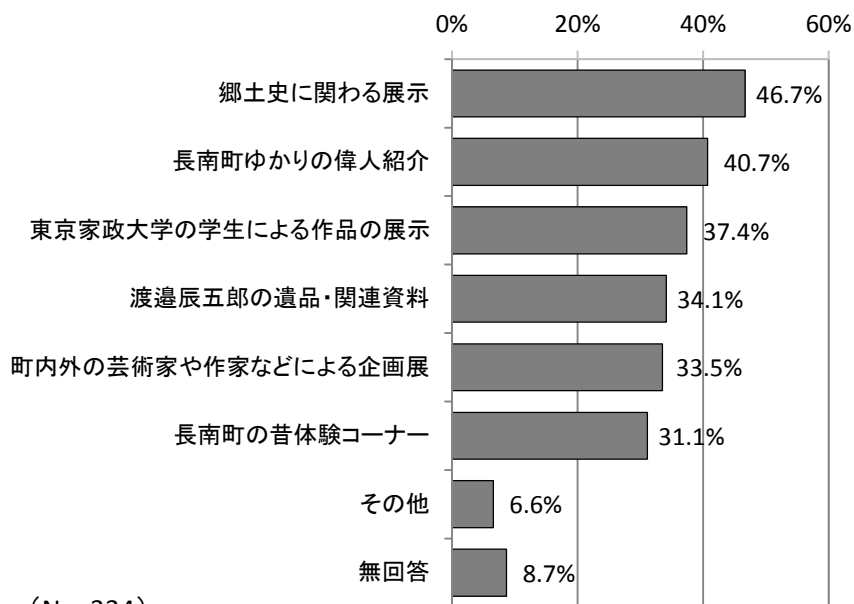
		回答者数	渡邊辰五郎 など、郷土 の偉人につ いての調査・ 普及活動	町内の古い 建物、石造 物、仏像な どの調査	町内の里山 の植物・生き ものの調査	町内の古 道、橋梁、鉄 道廃線跡な どの交通遺 跡の調査	長南宿や町 内の史跡・ 文化財のボ ランティアガ イド	記念館で実 施する体験 講座・ワー クショップ等 のボランティ アスタッフ	その他	無回答
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
全体	人数	334	105	111	101	81	63	70	18	64
	構成比		31.4%	33.2%	30.2%	24.3%	18.9%	21.0%	5.4%	19.2%
男性	人数	141	45	58	50	47	24	26	8	21
	構成比		31.9%	41.1%	35.5%	33.3%	17.0%	18.4%	5.7%	14.9%
女性	人数	172	55	49	44	29	36	43	9	35
	構成比		32.0%	28.5%	25.6%	16.9%	20.9%	25.0%	5.2%	20.3%
無回答	人数	21	5	4	7	5	3	1	1	8
	構成比		23.8%	19.0%	33.3%	23.8%	14.3%	4.8%	4.8%	38.1%
10歳代	人数	4	0	2	1	1	0	2	0	0
	構成比		0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
20歳代	人数	16	2	2	2	1	3	7	0	4
	構成比		12.5%	12.5%	12.5%	6.3%	18.8%	43.8%	0.0%	25.0%
30歳代	人数	28	8	5	11	8	3	7	3	4
	構成比		28.6%	17.9%	39.3%	28.6%	10.7%	25.0%	10.7%	14.3%
40歳代	人数	38	5	13	6	12	8	9	2	10
	構成比		13.2%	34.2%	15.8%	31.6%	21.1%	23.7%	5.3%	26.3%
50歳代	人数	52	14	17	17	7	11	17	2	7
	構成比		26.9%	32.7%	32.7%	13.5%	21.2%	32.7%	3.8%	13.5%
60歳代	人数	84	26	29	29	20	15	13	4	16
	構成比		31.0%	34.5%	34.5%	23.8%	17.9%	15.5%	4.8%	19.0%
70歳代以上	人数	89	45	38	29	29	19	13	6	13
	構成比		50.6%	42.7%	32.6%	32.6%	21.3%	14.6%	6.7%	14.6%
無回答	人数	23	5	5	6	3	4	2	1	10
	構成比		21.7%	21.7%	26.1%	13.0%	17.4%	8.7%	4.3%	43.5%

導入機能・施設について（ミュージアムについて）

問7 展示室を計画していますが、どのような展示や映像であれば見てみたいと思いますか。
（該当するもの全てに○）

【全体】

「郷土史に関わる展示」が46.7%、次いで「長南町ゆかりの偉人紹介」が40.7%、「東京家政大学の学生による作品の展示」が37.4%となっている。



(N=334)

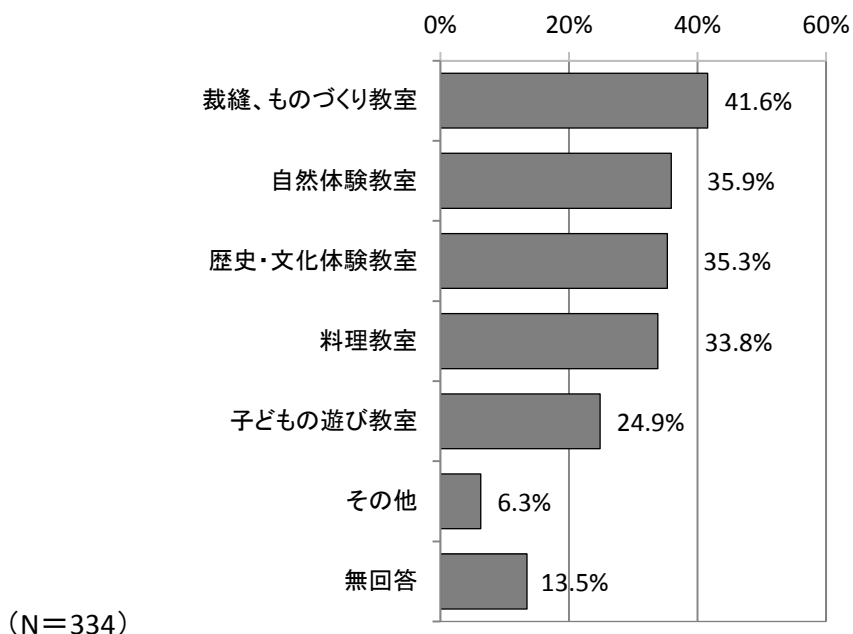
【性別・年代別】

		回答者数	郷土史に関わる展示	長南町ゆかりの偉人紹介	長南町の昔体験コーナー	渡邊辰五郎の遺品・関連資料	東京家政大学の学生による作品の展示	町内外の芸術家や作家などによる企画展	その他	無回答
全体	人数	334	156	136	104	114	125	112	22	29
	構成比		46.7%	40.7%	31.1%	34.1%	37.4%	33.5%	6.6%	8.7%
男性	人数	141	70	62	43	52	57	40	10	11
	構成比		49.6%	44.0%	30.5%	36.9%	40.4%	28.4%	7.1%	7.8%
女性	人数	172	79	64	55	55	63	69	11	14
	構成比		45.9%	37.2%	32.0%	32.0%	36.6%	40.1%	6.4%	8.1%
無回答	人数	21	7	10	6	7	5	3	1	4
	構成比		33.3%	47.6%	28.6%	33.3%	23.8%	14.3%	4.8%	19.0%
10歳代	人数	4	0	2	3	0	4	0	0	0
	構成比		0.0%	50.0%	75.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	人数	16	4	4	6	2	4	3	0	1
	構成比		25.0%	25.0%	37.5%	12.5%	25.0%	18.8%	0.0%	6.3%
30歳代	人数	28	9	10	8	9	13	8	5	2
	構成比		32.1%	35.7%	28.6%	32.1%	46.4%	28.6%	17.9%	7.1%
40歳代	人数	38	15	11	14	6	12	16	3	5
	構成比		39.5%	28.9%	36.8%	15.8%	31.6%	42.1%	7.9%	13.2%
50歳代	人数	52	25	19	18	16	25	21	2	1
	構成比		48.1%	36.5%	34.6%	30.8%	48.1%	40.4%	3.8%	1.9%
60歳代	人数	84	41	29	18	33	31	28	5	8
	構成比		48.8%	34.5%	21.4%	39.3%	36.9%	33.3%	6.0%	9.5%
70歳代以上	人数	89	55	53	31	42	32	30	6	6
	構成比		61.8%	59.6%	34.8%	47.2%	36.0%	33.7%	6.7%	6.7%
無回答	人数	23	7	8	6	6	4	6	1	6
	構成比		30.4%	34.8%	26.1%	26.1%	17.4%	26.1%	4.3%	26.1%

問8 講座室を計画していますが、どのような講座を受けてみたいと思いますか。
(該当するもの全てに○)

【全体】

「裁縫、ものづくり教室」が41.6%、次いで「自然体験教室」が35.9%、「歴史・文化体験教室」が35.3%、「料理教室」が33.8%となっている。



【性別・年代別】

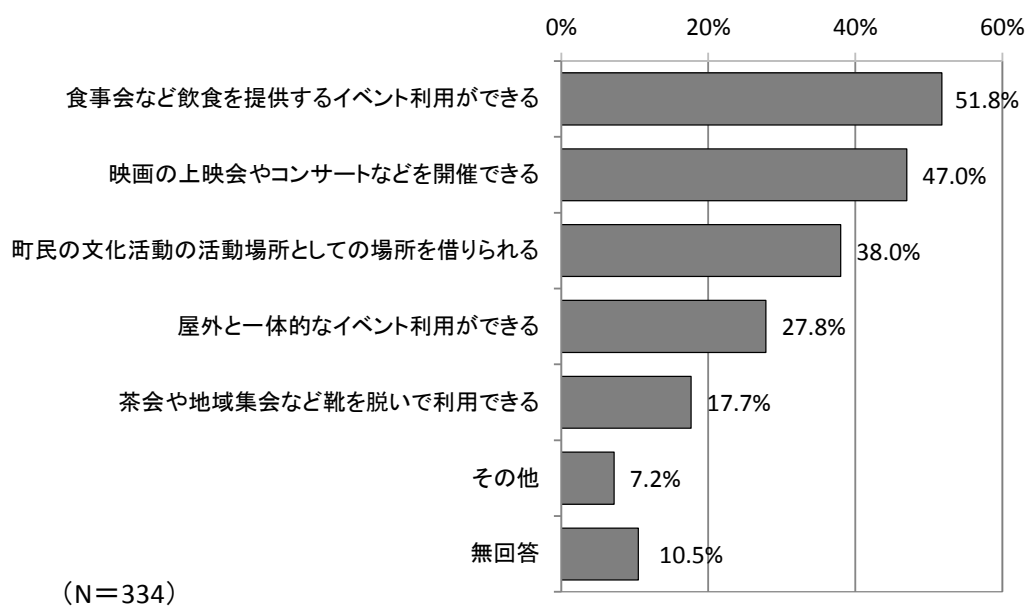
		回答者数	裁縫、ものづくり教室	歴史・文化体験教室	料理教室	子どもの遊び教室	自然体験教室	その他	無回答
全体	人数	334	139	118	113	83	120	21	45
	構成比		41.6%	35.3%	33.8%	24.9%	35.9%	6.3%	13.5%
男性	人数	141	46	57	28	32	63	11	18
	構成比		32.6%	40.4%	19.9%	22.7%	44.7%	7.8%	12.8%
女性	人数	172	87	54	79	46	53	9	20
	構成比		50.6%	31.4%	45.9%	26.7%	30.8%	5.2%	11.6%
無回答	人数	21	6	7	6	5	4	1	7
	構成比		28.6%	33.3%	28.6%	23.8%	19.0%	4.8%	33.3%
10歳代	人数	4	4	0	3	2	1	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
20歳代	人数	16	3	4	9	6	7	0	1
	構成比		18.8%	25.0%	56.3%	37.5%	43.8%	0.0%	6.3%
30歳代	人数	28	12	9	12	14	13	4	3
	構成比		42.9%	32.1%	42.9%	50.0%	46.4%	14.3%	10.7%
40歳代	人数	38	18	13	15	11	15	3	4
	構成比		47.4%	34.2%	39.5%	28.9%	39.5%	7.9%	10.5%
50歳代	人数	52	25	23	19	11	19	2	4
	構成比		48.1%	44.2%	36.5%	21.2%	36.5%	3.8%	7.7%
60歳代	人数	84	30	29	24	13	30	8	12
	構成比		35.7%	34.5%	28.6%	15.5%	35.7%	9.5%	14.3%
70歳代以上	人数	89	42	34	24	21	30	3	12
	構成比		47.2%	38.2%	27.0%	23.6%	33.7%	3.4%	13.5%
無回答	人数	23	5	6	7	5	5	1	9
	構成比		21.7%	26.1%	30.4%	21.7%	21.7%	4.3%	39.1%

導入機能・施設について（交流と憩いの場について）

問9 休憩・イベント機能として、「多目的室」を計画していますが、どのようなことができる場所であれば利用してみたいと思いますか。（該当するもの全てに○）

【全体】

「食事会など飲食を提供するイベント利用ができる」が 51.8%、次いで「映画の上映会やコンサートなどを開催できる」が 47.0%、「町民の文化活動の活動場所としての場所を借りられる」が 38.0%となっている。



【性別・年代別】

		回答者数	食事会など飲食を提供するイベント利用ができる	屋外と一体的なイベント利用ができる	茶会や地域集会など靴を脱いで利用できる	映画の上映会やコンサートなどを開催できる	町民の文化活動の活動場所としての場所を借りられる	その他	無回答
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数
全体	人数	334	173	93	59	157	127	24	35
	構成比		51.8%	27.8%	17.7%	47.0%	38.0%	7.2%	10.5%
男性	人数	141	69	48	15	59	56	12	16
	構成比		48.9%	34.0%	10.6%	41.8%	39.7%	8.5%	11.3%
女性	人数	172	99	41	41	87	67	10	15
	構成比		57.6%	23.8%	23.8%	50.6%	39.0%	5.8%	8.7%
無回答	人数	21	5	4	3	11	4	2	4
	構成比		23.8%	19.0%	14.3%	52.4%	19.0%	9.5%	19.0%
10歳代	人数	4	3	1	1	1	1	0	0
	構成比		75.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
20歳代	人数	16	11	9	5	6	5	1	0
	構成比		68.8%	56.3%	31.3%	37.5%	31.3%	6.3%	0.0%
30歳代	人数	28	13	9	7	14	14	3	3
	構成比		46.4%	32.1%	25.0%	50.0%	50.0%	10.7%	10.7%
40歳代	人数	38	20	12	5	17	16	2	4
	構成比		52.6%	31.6%	13.2%	44.7%	42.1%	5.3%	10.5%
50歳代	人数	52	26	15	10	28	24	2	2
	構成比		50.0%	28.8%	19.2%	53.8%	46.2%	3.8%	3.8%
60歳代	人数	84	38	19	10	42	24	7	11
	構成比		45.2%	22.6%	11.9%	50.0%	28.6%	8.3%	13.1%
70歳代以上	人数	89	57	23	18	39	39	7	9
	構成比		64.0%	25.8%	20.2%	43.8%	43.8%	7.9%	10.1%
無回答	人数	23	5	5	3	10	4	2	6
	構成比		21.7%	21.7%	13.0%	43.5%	17.4%	8.7%	26.1%

問10 休憩・イベント機能として、「広場」を計画していますが、あなたが行ってみたいくなる広場のイメージを教えてください。

天候に限らず利用できる/屋根のある広場

- ・天候に限らず、利用できる屋根のつきの広場 (10)
- ・週末にはイベントが開催され、賑わいのある広場
- ・半円形広場、(野外) ステージ (2)
- ・お土産、食事が出来る広場
- ・日陰のある広場 (2)
- ・ベンチが多い
- ・水飲み場(手洗い) がある
- ・近くの学校をカフェや料理教室に利用することもできるのでは？

イベントが開催される広場

- ・若者や子どもが楽しめるイベント開催 (2)
- ・文化祭のような店や催しで、人が集まっている広場
- ・大道芸などが行えるような広場
- ・町内が賑わいになるようなイベント
- ・子どもが多く集まれる、ふれあいの場所としての広場 (2)
- ・週末にイベント(マルシェやワークショップ、フリーマーケット、音楽、食など) 開催される広場 (5)
- ・大多喜にあるハーブガーデンのようなイベントが行われる広場
- ・BBQやイベントが行えるような、ある程度の広さとナイター設備
- ・長南町の歴史及び文化などの広場
- ・長南町、長柄、大多喜、茂原等の周辺地域からの出店を募集しイベントを実施する。

多世代が利用できる広場

- ・年令に問われない、安全に/自由に利用できる広場 (5)
- ・休憩もできつつ、遊ぶこともできる広場

自然や草花、緑、芝生等がある広場

- ・ガーデニングで整った広場
- ・長南町の自然にちなんだ緑、草花がある広場 (3)
- ・自然を感じられる広場
- ・季節の花々が咲く(桜など) (2)
- ・木や花のある庭、花壇 (2)
- ・庭園にて散歩出来る広場
- ・自然があつて花があつてリラックスできる、いこいの場。また行ってみたいくなる広場
- ・芝生がある広場 (5)
- ・アスレチックのある広場
- ・小川 (2)
- ・テーブル ・ねころがれる ・キャンプ可

子どもが遊べる広場

- ・子どもをつれて気軽に集まり楽しく過ごせる広場 (2)
- ・ヨーヨーつりなどちょっとした遊びやゲームが楽しめるような
- ・小さな子どもがいつきても活用できるスペースと人員確保が必ずある広場
- ・子どもたちが(安心して) 走り回れるような広場 (3)
- ・小さい子どもが行って楽しんで遊べるような施設(ブランコ、すべり台などの遊具) を設けた広場 (3)
- ・農村の広場なのでトラクターをシンボルとして置く。

ゆったりとした広場

- ・歩くスペースと、休めるスペースのある、ゆとりある広場
- ・ゆったり、くつろげる広場 (4)

地元の食材が購入できたり、食べられる広場

- ・農作物の直売場（3）
- ・長南町の食材を食べられる広場（2）
- ・屋台のように小さな店舗が集まったマルシェのような広場
- ・食を基本とする絆づくりをはじめてほしい。

コンサートができる広場

- ・屋内外で、コンサートができる/鑑賞できる場所（3）
- ・「音楽」を主体に毎週イベントが開催されるような広場

その他

- ・小さなカフェメニュー、コーヒーとデザートがある（2）
- ・長南町に住んでみたくなるような雰囲気がある広場
- ・気がねなく入園でき自由におしゃべりができる場所
- ・町民であれば、事前の申込みなしで利用出来るもの
- ・イベントがなくても来たくなる
- ・車椅子が入れる
- ・和風のお休み処(屋根付き)があり、足湯があったら利用したくなる
- ・きれいなトイレがある

賑わいのある広場

- ・町民がたくさん集まって賑わいのある広場（3）
- ・お宝市、得々市等、来場者がワクワクするような品物を揃えた、多くの人が集まるような広場
- ・いつ行っても何かやっている、できる広場

ペットを連れて利用できる広場

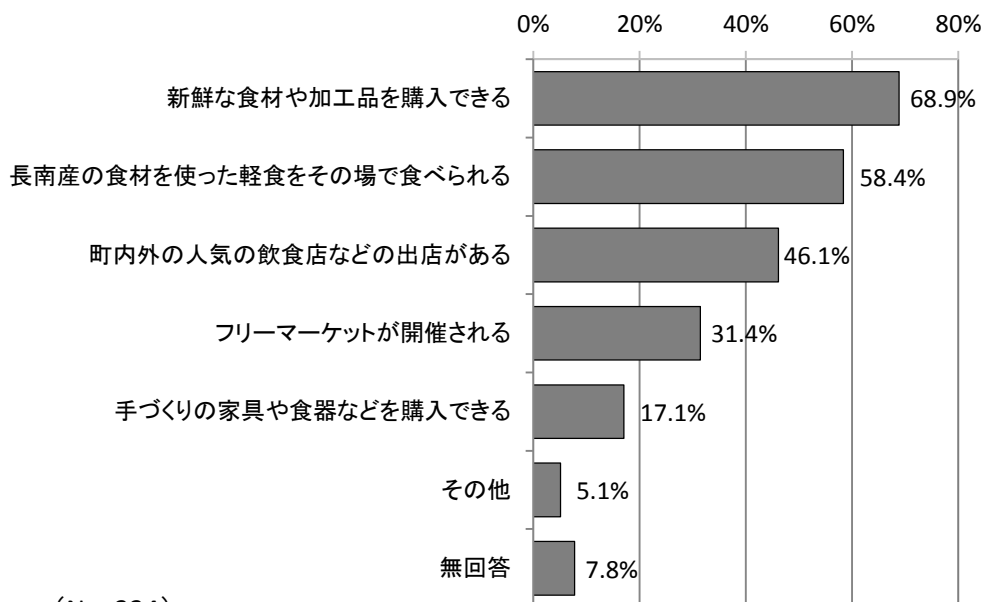
- ・ペットと散歩、一緒に遊べる広場（3）
- ・犬が走れる（3）

- ・祝日には、ちよな丸があらわれる広場
- ・虫におびえることのない広場
- ・町民の方の趣味の作品、又、他からの出店での販売・設置や管理に町民が参加して、手づくり感があり常に人が居るような所
- ・広くきれいに整備されている場所
- ・パター練習場
- ・音楽が流れている
- ・スポーツ関係行事を招く場
- ・昔の行事（年中・季節）等の再現をする遊び
- ・蔵持の万灯の復活
- ・駐車場が広い（2）

問 11 物販機能として、「マルシェ（市場）」を計画していますが、どのようなものであれば利用してみたいと思いますか。（該当するもの全てに○）

【全体】

「新鮮な食材や加工品を購入できる」が 68.9%、次いで「長南産の食材を使った軽食をその場で食べられる」が 58.4、「町内外の人気の飲食店などの出店がある」が 46.1%となっている。



(N=334)

【性別・年代別】

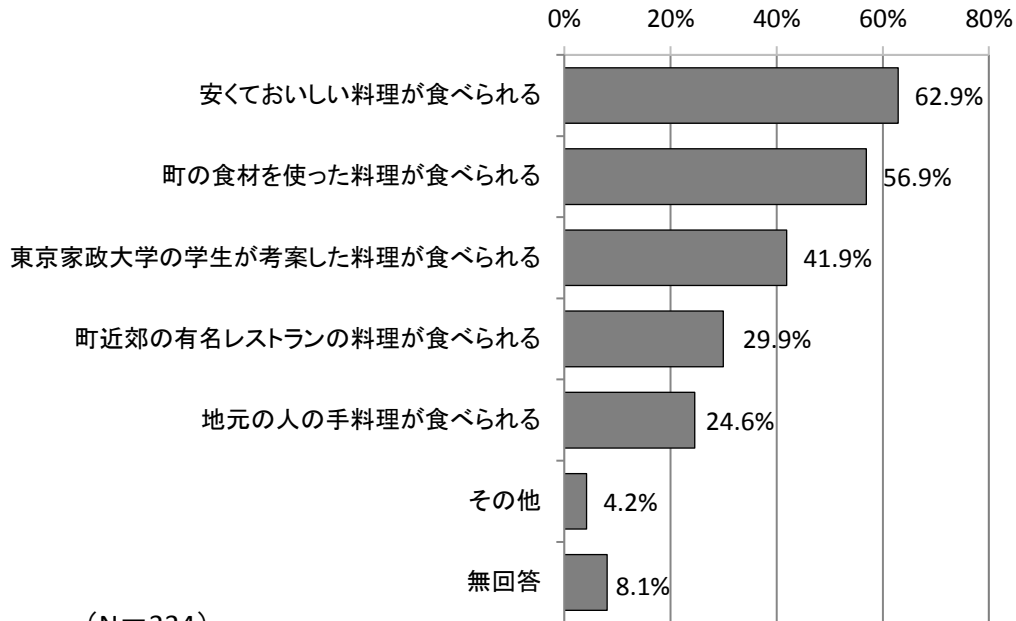
		回答者数	新鮮な食材や加工品を購入できる	手づくりの家具や食器などを購入できる	長南産の食材を使った軽食をその場で食べられる	町内外の人気の飲食店などの出店がある	フリーマーケットが開催される	その他	無回答
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数
全体	人数	334	230	57	195	154	105	17	26
	構成比		68.9%	17.1%	58.4%	46.1%	31.4%	5.1%	7.8%
男性	人数	141	94	33	79	69	47	6	10
	構成比		66.7%	23.4%	56.0%	48.9%	33.3%	4.3%	7.1%
女性	人数	172	125	23	107	78	52	10	12
	構成比		72.7%	13.4%	62.2%	45.3%	30.2%	5.8%	7.0%
無回答	人数	21	11	1	9	7	6	1	4
	構成比		52.4%	4.8%	42.9%	33.3%	28.6%	4.8%	19.0%
10歳代	人数	4	3	0	3	1	1	0	0
	構成比		75.0%	0.0%	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
20歳代	人数	16	12	2	14	6	3	1	0
	構成比		75.0%	12.5%	87.5%	37.5%	18.8%	6.3%	0.0%
30歳代	人数	28	15	5	18	16	9	2	3
	構成比		53.6%	17.9%	64.3%	57.1%	32.1%	7.1%	10.7%
40歳代	人数	38	29	8	20	22	15	1	0
	構成比		76.3%	21.1%	52.6%	57.9%	39.5%	2.6%	0.0%
50歳代	人数	52	39	10	31	29	17	3	2
	構成比		75.0%	19.2%	59.6%	55.8%	32.7%	5.8%	3.8%
60歳代	人数	84	59	16	45	34	24	5	9
	構成比		70.2%	19.0%	53.6%	40.5%	28.6%	6.0%	10.7%
70歳代以上	人数	89	61	14	54	39	30	4	6
	構成比		68.5%	15.7%	60.7%	43.8%	33.7%	4.5%	6.7%
無回答	人数	23	12	2	10	7	6	1	6
	構成比		52.2%	8.7%	43.5%	30.4%	26.1%	4.3%	26.1%

問 12 飲食機能として、「カフェ・レストラン」を計画していますが、どのようなものであれば利用したいと思いますか。(該当するもの全てに○)

○料理

【全体】

「安くておいしい料理が食べられる」が 62.9%、次いで「町の食材を使った料理が食べられる」が 56.9%、「東京家政大学の学生が考案した料理が食べられる」が 41.9%となっている。



(N=334)

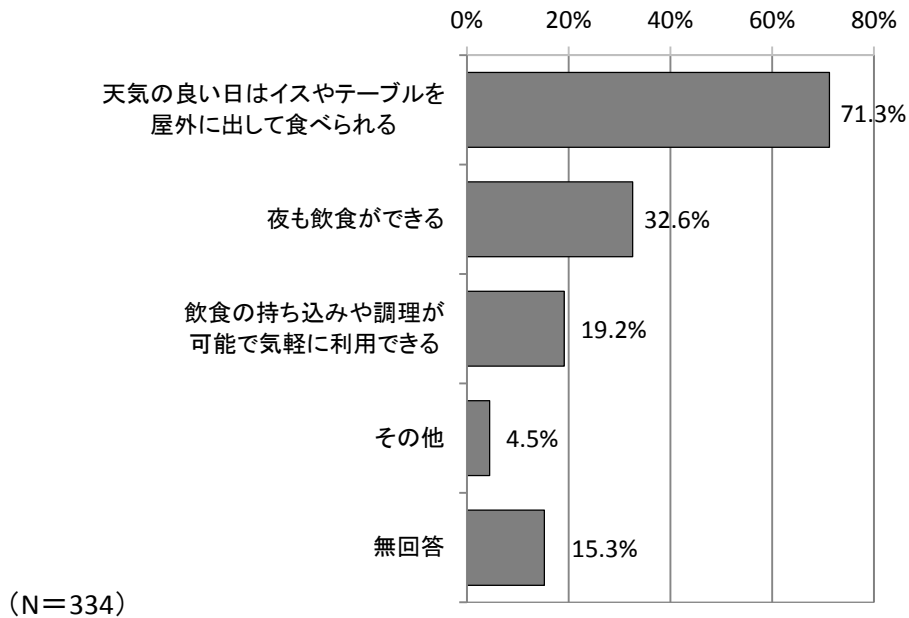
【性別・年代別】

		回答者数	安くておいしい料理が食べられる	町の食材を使った料理が食べられる	地元の人の手料理が食べられる	町近郊の有名レストランの料理が食べられる	東京家政大学の学生が考案した料理が食べられる	その他	無回答
全体	人数	334	210	190	82	100	140	14	27
	構成比		62.9%	56.9%	24.6%	29.9%	41.9%	4.2%	8.1%
男性	人数	141	88	71	39	44	61	8	12
	構成比		62.4%	50.4%	27.7%	31.2%	43.3%	5.7%	8.5%
女性	人数	172	111	108	39	51	75	5	11
	構成比		64.5%	62.8%	22.7%	29.7%	43.6%	2.9%	6.4%
無回答	人数	21	11	11	4	5	4	1	4
	構成比		52.4%	52.4%	19.0%	23.8%	19.0%	4.8%	19.0%
10歳代	人数	4	3	4	1	1	1	0	0
	構成比		75.0%	100.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
20歳代	人数	16	9	10	5	4	5	0	0
	構成比		56.3%	62.5%	31.3%	25.0%	31.3%	0.0%	0.0%
30歳代	人数	28	16	18	6	6	16	3	3
	構成比		57.1%	64.3%	21.4%	21.4%	57.1%	10.7%	10.7%
40歳代	人数	38	21	29	12	12	14	2	2
	構成比		55.3%	76.3%	31.6%	31.6%	36.8%	5.3%	5.3%
50歳代	人数	52	36	25	9	21	26	2	1
	構成比		69.2%	48.1%	17.3%	40.4%	50.0%	3.8%	1.9%
60歳代	人数	84	54	43	14	26	34	3	9
	構成比		64.3%	51.2%	16.7%	31.0%	40.5%	3.6%	10.7%
70歳代以上	人数	89	61	49	30	27	40	3	6
	構成比		68.5%	55.1%	33.7%	30.3%	44.9%	3.4%	6.7%
無回答	人数	23	10	12	5	3	4	1	6
	構成比		43.5%	52.2%	21.7%	13.0%	17.4%	4.3%	26.1%

○雰囲気

【全体】

「天気の良い日は椅子やテーブルを屋外に出して食べられる」が71.3%、次いで「夜も飲食ができる」が32.6%、「飲食の持ち込みや調理が可能で気軽に利用できる」が19.2%となっている。



【性別・年代別】

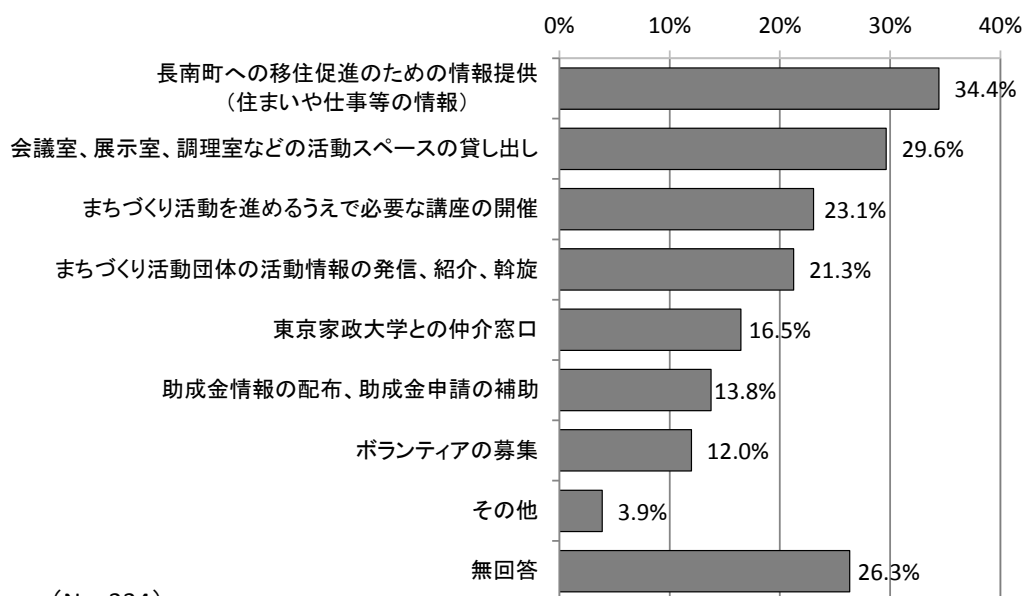
		回答者数	天気の良い日はイスやテーブルを屋外に出して食べられる	夜も飲食ができる	飲食の持ち込みや調理が可能で気軽に利用できる	その他	無回答
			人数	構成比	人数	構成比	人数
全体	人数	334	238	109	64	15	51
	構成比		71.3%	32.6%	19.2%	4.5%	15.3%
男性	人数	141	99	57	28	5	15
	構成比		70.2%	40.4%	19.9%	3.5%	10.6%
女性	人数	172	127	47	33	8	30
	構成比		73.8%	27.3%	19.2%	4.7%	17.4%
無回答	人数	21	12	5	3	2	6
	構成比		57.1%	23.8%	14.3%	9.5%	28.6%
10歳代	人数	4	2	1	2	0	0
	構成比		50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
20歳代	人数	16	11	9	3	2	0
	構成比		68.8%	56.3%	18.8%	12.5%	0.0%
30歳代	人数	28	17	13	6	3	3
	構成比		60.7%	46.4%	21.4%	10.7%	10.7%
40歳代	人数	38	29	18	7	2	5
	構成比		76.3%	47.4%	18.4%	5.3%	13.2%
50歳代	人数	52	43	20	8	1	6
	構成比		82.7%	38.5%	15.4%	1.9%	11.5%
60歳代	人数	84	58	17	13	5	14
	構成比		69.0%	20.2%	15.5%	6.0%	16.7%
70歳代以上	人数	89	65	26	22	0	15
	構成比		73.0%	29.2%	24.7%	0.0%	16.9%
無回答	人数	23	13	5	3	2	8
	構成比		56.5%	21.7%	13.0%	8.7%	34.8%

導入機能・施設について（まちづくりセンターについて）

問 13 どのような支援があれば利用してみたいと思いますか。（該当するもの全てに○をつけてください。）（該当するもの全てに○）

【全体】

「長南町への移住促進のための情報提供（住まいや仕事等の情報）」が 34.4%、次いで「会議室、展示室、調理室などの活動スペースの貸し出し」が 29.6%、「まちづくり活動を進めるうえで必要な講座の開催」が 23.1%、「まちづくり活動団体の活動情報の発信、紹介、斡旋」が 21.3%となっている。



(N=334)

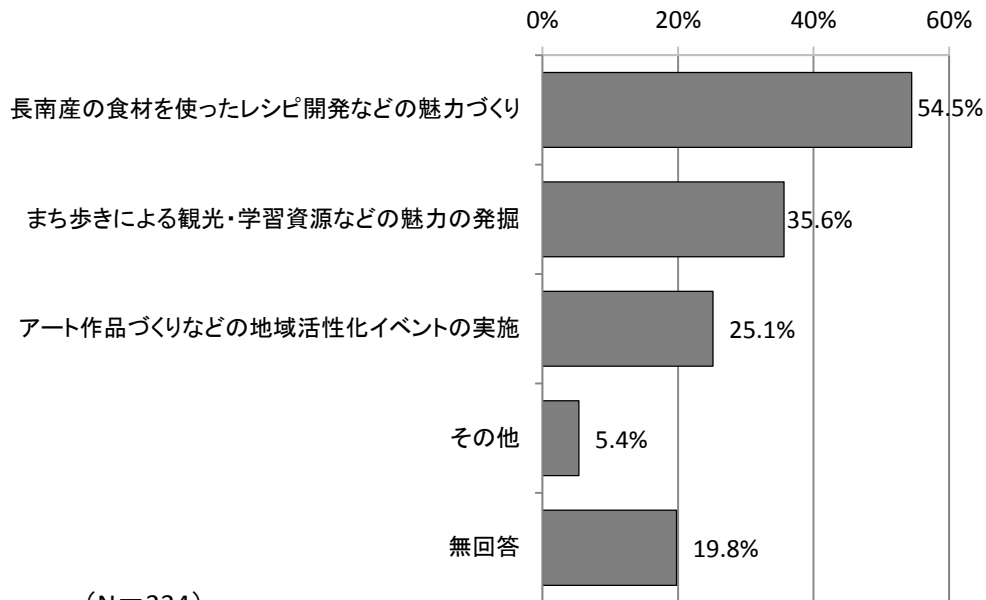
【性別・年代別】

	回答者数	会議室、展示室、調理室などの活動スペースの貸し出し	まちづくり活動団体の活動情報の発信、紹介、斡旋	まちづくり活動を進めるうえで必要な講座の開催	ボランティアの募集	助成金情報の配布、助成金申請の補助	長南町への移住促進のための情報提供（住まいや仕事等の情報）	東京家政大学との仲介窓口	その他	無回答
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数
全体	334	99	71	77	40	46	115	55	13	88
		29.6%	21.3%	23.1%	12.0%	13.8%	34.4%	16.5%	3.9%	26.3%
男性	141	43	38	39	16	22	64	31	8	21
		30.5%	27.0%	27.7%	11.3%	15.6%	45.4%	22.0%	5.7%	14.9%
女性	172	52	26	34	21	21	46	21	4	58
		30.2%	15.1%	19.8%	12.2%	12.2%	26.7%	12.2%	2.3%	33.7%
無回答	21	4	7	4	3	3	5	3	1	9
		19.0%	33.3%	19.0%	14.3%	14.3%	23.8%	14.3%	4.8%	42.9%
10歳代	4	2	0	0	1	2	1	0	0	0
		50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	16	6	3	2	1	4	6	3	0	2
		37.5%	18.8%	12.5%	6.3%	25.0%	37.5%	18.8%	0.0%	12.5%
30歳代	28	12	6	6	2	7	13	6	3	5
		42.9%	21.4%	21.4%	7.1%	25.0%	46.4%	21.4%	10.7%	17.9%
40歳代	38	14	4	9	6	6	13	5	0	7
		36.8%	10.5%	23.7%	15.8%	15.8%	34.2%	13.2%	0.0%	18.4%
50歳代	52	19	11	15	6	6	20	5	3	9
		36.5%	21.2%	28.8%	11.5%	11.5%	38.5%	9.6%	5.8%	17.3%
60歳代	84	20	18	15	9	11	29	15	4	21
		23.8%	21.4%	17.9%	10.7%	13.1%	34.5%	17.9%	4.8%	25.0%
70歳代以上	89	23	25	27	13	9	29	19	2	31
		25.8%	28.1%	30.3%	14.6%	10.1%	32.6%	21.3%	2.2%	34.8%
無回答	23	3	4	3	2	1	4	2	1	13
		13.0%	17.4%	13.0%	8.7%	4.3%	17.4%	8.7%	4.3%	56.5%

問 14 東京家政大学と連携し、その専門性を地域のまちづくりに活用することを検討していますが、どのような取組みを一緒にやってみたいですか。(該当するもの全てに○)

【全体】

「長南産の食材を使ったレシピ開発などの魅力づくり」が 54.5%、次いで「まち歩きによる観光・学習資源などの魅力の発掘」が 35.6%、「アート作品づくりなどの地域活性化イベントの実施」が 25.1%となっている。



(N=334)

【性別・年代別】

		回答者数	長南産の食材を使ったレシピ開発などの魅力づくり	まち歩きによる観光・学習資源などの魅力の発掘	アート作品づくりなどの地域活性化イベントの実施	その他	無回答
			人数	構成比	人数	構成比	人数
全体	人数	334	182	119	84	18	66
	構成比		54.5%	35.6%	25.1%	5.4%	19.8%
男性	人数	141	73	62	38	10	18
	構成比		51.8%	44.0%	27.0%	7.1%	12.8%
女性	人数	172	101	49	44	5	41
	構成比		58.7%	28.5%	25.6%	2.9%	23.8%
無回答	人数	21	8	8	2	3	7
	構成比		38.1%	38.1%	9.5%	14.3%	33.3%
10歳代	人数	4	3	2	0	0	0
	構成比		75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	人数	16	10	8	4	0	0
	構成比		62.5%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
30歳代	人数	28	14	8	9	4	4
	構成比		50.0%	28.6%	32.1%	14.3%	14.3%
40歳代	人数	38	26	11	10	2	7
	構成比		68.4%	28.9%	26.3%	5.3%	18.4%
50歳代	人数	52	26	21	21	0	8
	構成比		50.0%	40.4%	40.4%	0.0%	15.4%
60歳代	人数	84	44	31	18	7	13
	構成比		52.4%	36.9%	21.4%	8.3%	15.5%
70歳代以上	人数	89	52	31	19	4	23
	構成比		58.4%	34.8%	21.3%	4.5%	25.8%
無回答	人数	23	7	7	3	1	11
	構成比		30.4%	30.4%	13.0%	4.3%	47.8%

問 15 (仮称) 渡邊辰五郎記念館に関するあなたのお考えをぜひお聞かせください。(ご自由にお書きください。)

○20代

- ・マルシェ(道の駅)をメインにして、その施設内のベースに記念館
- ・東京家政大学と連携したイベントの開催(週末)
- ・町外の人をターゲットとして長南町の魅力を発進し、町おこしをする。
- ・余裕のある駐車場を確保する。
- ・災害時の避難所としての機能を有するなど、有効な施設

○30代

小学校跡地の活用

- ・記念館の旧小学校利用の検討(予算を役場や公民館の耐震化に充てる)
- ・旧長南小学校のリノベーション

町の活性化／若者が集まる場所

- ・町の活性化と人口増加に貢献する。
- ・長南町の文化や歴史の継承、地域の活性化に繋げるために色々な人の意見が反映された施設
- ・活気があり賑やかになるきっかけとする。
- ・SNSに映えるメニューや交通の便等、若い子が集まって来るような場所
- ・お客様も一緒になって楽しめる展示
- ・清潔な施設と明るく笑顔のスタッフ

その他

- ・長南の良いところ(子育てに力を入れている。若年者の移住歓迎。自然豊か)のアピール
- ・名産物(米、古代米、麦、ハス、べに花など)のアピール
- ・千葉市や木更津市(横浜市)等、交通の便が良い所と、直通バスで結ぶ。(土日祝日のみでも)
- ・「長南 only」(長南では当たり前だが、町外(県外)ではそうでないことをアピール)
- ・記念館建設後の機能の計画は?町外へPR計画等。集客使用計画。
- ・気軽に利用できる場所
- ・オムツ交換台、駐車スペースの充実

○40代

外部の人を呼び込める施設に／詰め込み過ぎ

- ・外の人や若者を呼び込めるマルシェやカフェ、シアターなど
- ・改善センターや公民館などを活用
- ・長南町のイメージを変えるくらいの施設
- ・観光客のリピーターが増えるような魅力ある施設

小学校跡地の活用

- ・小学校の利用
- ・既存の旧長南小学校の物で代替できないか。
- ・大学の専門性を「まちづくり」に活かす食材レシピ、大学生滞在によるまち歩きをこの建築物が存在しないと達成できないのか?

その他

- ・魅力ある町民の誉れとなるもの
- ・長南町の活性化に繋がる施設
- ・町にもつかう人にも利益がある施設として、雇用に創出する。
- ・収支をプラスにしていけるための計画をする。
- ・知名度を上げる。
- ・興味のひく(わく)エピソード
- ・アニメやマンガの活用
- ・電子版、SNSの活用
- ・何か他ではないものを設置する。(例、世界一広いトイレみたいな)

○50代

町の活性化に繋がる施設を

- ・町おこし、活性化の助けとなる。(3)
- ・子どもから老人、町外からもたくさんの方が気軽に来てくれる記念館

道の駅など観光客が集まる施設

- ・道の駅(2)
- ・ハトバスなどバスツアーが立ち寄れるような形
- ・周辺の店舗も活気あふれる町
- ・辰五郎さんの功績を皆さんに知ってもらえる機会とする。
- ・圏央道を利用する人達が観光として訪れる施設

小学校跡地の活用

- ・旧長南小学校の利用
- ・409号線から入ってくる道路を整備する。

その他

- ・手芸や町生産野菜を用いたレストランなど、人の生活に関するものに特化
- ・駐車場が広く、使いやすい館内
- ・町の散策もでき、記念館を見て、カフェでゆっくりお話しする町並み
- ・個人名の記念館でなく、近代裁縫教育の里というような広場

- ・記念館内もしくは隣に美術館建設。関主悦先生の日本画の下絵展等を行い、町民以外に来館していただく。
- ・東京家政大学の学生の作品展等

- ・町内外の方がいつでも、誰でも、気軽に活用できる施設

○60代

小学校跡地の活用

- ・長南小学校跡地と建物の活用（3）

その他

- ・記念館でコーヒーや食事がとれる。
- ・町民が憩える、楽しめる場所（2）
- ・地元の人達が気軽に何度も足を運びたくなるような場所（2）
- ・郷土愛を育み、長南町を誇りとできる起点
- ・他の所から来てくれた人と交流が生まれる場所
- ・伊能忠敬記念館の様なフィールドミュージアム
- ・かつての繁栄した長南宿をジオラマ等で表現し、周辺地域との経済的、政治的影響、交通事情、人の流れ等についての説明があり、渡邊辰五郎が活躍した当時の長南町が印象できる施設
- ・記念館を核とした町の物産の直売所やレストランのテナント等の設置
- ・名称は、もっと明るい呼びやすい名称に。
- ・公民館との住み分けをする。（2）
- ・大学のセミナーハウスを誘致する。

町の活性化

- ・町の活性化の起爆剤となる。

- ・駐車場の広さで、来館者の見込みがわかると思う。
- ・機能や導入施設が多彩すぎる。
- ・町の農産物を販売する道の駅
- ・土地の提供や寄付金を募り、寄付者の刻印等行う
- ・所在地をわかりやすく多方面に宣伝する。
- ・電車をひいて、駅をつくり、学校（短期大学や各大学の研究施設等）を誘致する。
- ・駐車場への出入りの道路を安全にする。
- ・長南宿は現状に保存しつつ、別の道路をつくることを優先する。
- ・県町外からの来客を見込み、旧小学校用地の売却を建築費に充ててインター付近に建設する。
- ・記念館の大きさが想像つかない。もう少し具体的（予想図的）なものがほしい。
- ・各機能を検討する時、およその広さが明示されたら、なお、良かった。

○70代以上

大学との連携／若者を呼び込める施設

- ・衣・食に関することを豊富に取り入れる。
- ・大学との連携、交流を通して若者も出入りが多くなる。
- ・大学生の活動拠点
- ・若者の出入りがある。
- ・大学側が活用できること。
- ・看板をインター入口等要所に設置（町内案内含め）
- ・旧小学校の活用
- ・若者世帯も呼び込める施設に注力すべき。辰五郎にこだわり過ぎ。これからの施策を重点にすべき。
- ・東京家政大学との連携をまちづくりに活用
- ・「道の駅」とし、副題で辰五郎と表示する。
- ・長南町人の大学入学、特別枠をつくる。
- ・辰五郎の知名度は低い。新規に箱物からつくり集客数も望めない可能性大の中で、維持は難しいと思う。
- ・グリーンラインが開通すれば素通りされる可能性大。

広い駐車場

- ・観光バスが入るくらいの駐車場（2）
- ・長南町内外のリピーターが大勢集まる様な記念館

長続きできる施設

- ・一過性のものでなく、長続きできる様な施設
- ・また行きたい、また行って何かやりたい、見たいと思わせる施設

町の活性化

- ・みんなで盛り上げられる施設
- ・既存の他施設と共に町の活性化のために活用される施設
- ・基本的には渡邊辰五郎の功績を表現し、町の発展や農林業の産業化への取り組みにも向けた研究の基軸となる。

その他

- ・一時避難所としての機能を設ける。
- ・裁縫を習いたい方が、長南町の偉人が残した和裁（原点）を学ぶ。
- ・名誉、偉人の渡邊氏の記念館が落成した暁には、とても嬉しく町民全部が誇らしく思えると思います。楽しみに待たせて頂きます。

○年齢不明

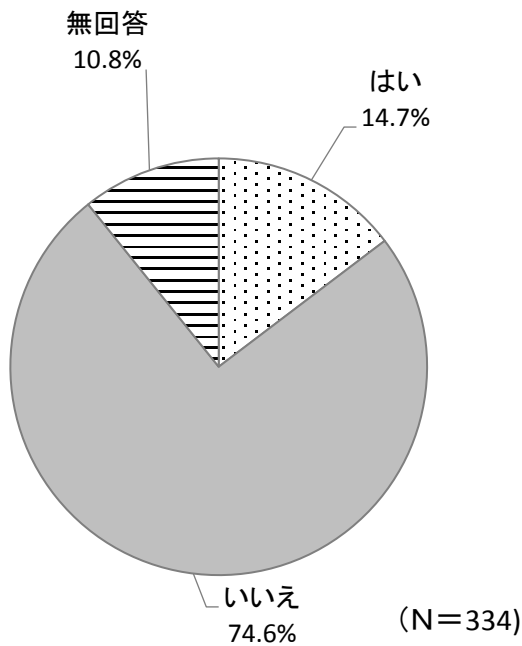
- ・活用されていない建物の利用

基本計画の策定や運営への参加意向について

問 16 (仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画策定にあたり、町民の意見を十分に取り入れていくためのワークショップ(意見交換会)の開催を予定していますが、あなたは参加してみたいですか。(いずれかに○)

【全体】

「いいえ」が74.6%、次いで「はい」が14.7%となっている。



【性別・年代別】

		回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	人数	334	49	249	36
	構成比		14.7%	74.6%	10.8%
男性	人数	141	32	98	11
	構成比		22.7%	69.5%	7.8%
女性	人数	172	16	143	13
	構成比		9.3%	83.1%	7.6%
無回答	人数	21	1	8	12
	構成比		4.8%	38.1%	57.1%
10歳代	人数	4	0	4	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%
20歳代	人数	16	2	14	0
	構成比		12.5%	87.5%	0.0%
30歳代	人数	28	5	22	1
	構成比		17.9%	78.6%	3.6%
40歳代	人数	38	11	26	1
	構成比		28.9%	68.4%	2.6%
50歳代	人数	52	8	43	1
	構成比		15.4%	82.7%	1.9%
60歳代	人数	84	10	62	12
	構成比		11.9%	73.8%	14.3%
70歳代以上	人数	89	13	67	9
	構成比		14.6%	75.3%	10.1%
無回答	人数	23	0	11	12
	構成比		0.0%	47.8%	52.2%

問 17 記念館建設後は、町民が記念館の運営や活動に積極的に関わってもらえるような仕組みづくりを検討しています。あなたはどのようなところに関われそうですか。(ご自由にお書きください)

食材の提供

- ・産直食材の提供
- ・米、椎茸の栽培に関係すること

食に関する知識の提供

- ・食に関する知識経験、人脈、食材、食器、什器、備品の提供
- ・都内の飲食店オーナー料理人との人脈の提供
- ・みそづくり、果実酒づくり等の講師
- ・簡単な科学実験の講師

その他

- ・駐車場、駐輪場の管理、運営補助業務
- ・展示品の説明や管理
- ・地域の人との交流

子どもの遊びや指導

- ・子どもを対象とした遊び、体づくり教室の講師(ボランティア)
- ・子どもの指導、保育

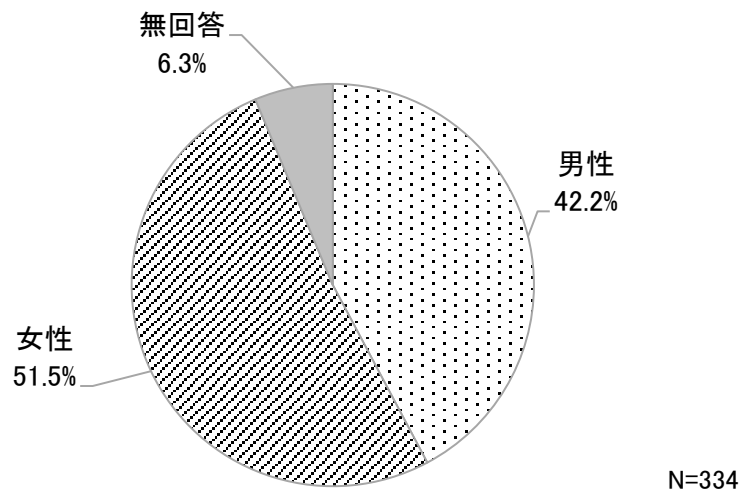
歴史・文化の説明

- ・地元の歴史物に関する話
- ・長南城主、長南氏、武田氏の城づくり、施設、街づくり組織等の普及
- ・町在住のお年寄りから長南町の方言を集めてみたい。

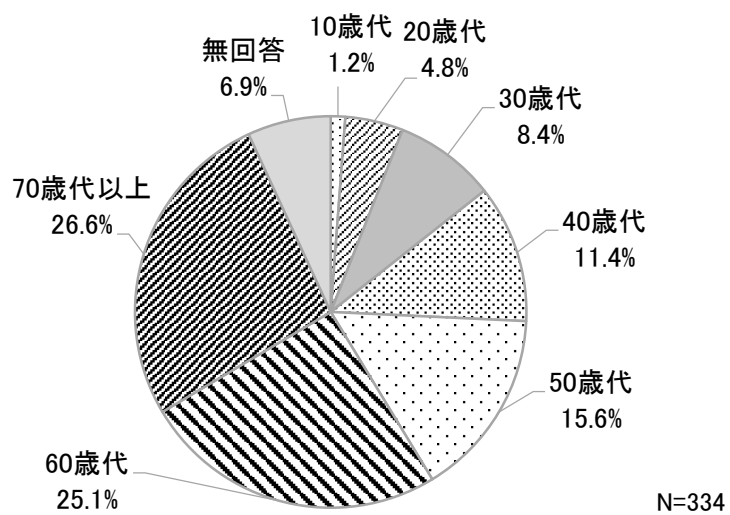
- ・ボランティア活動
- ・アグリライフ長南の活動拠点としての活用

回答者の属性

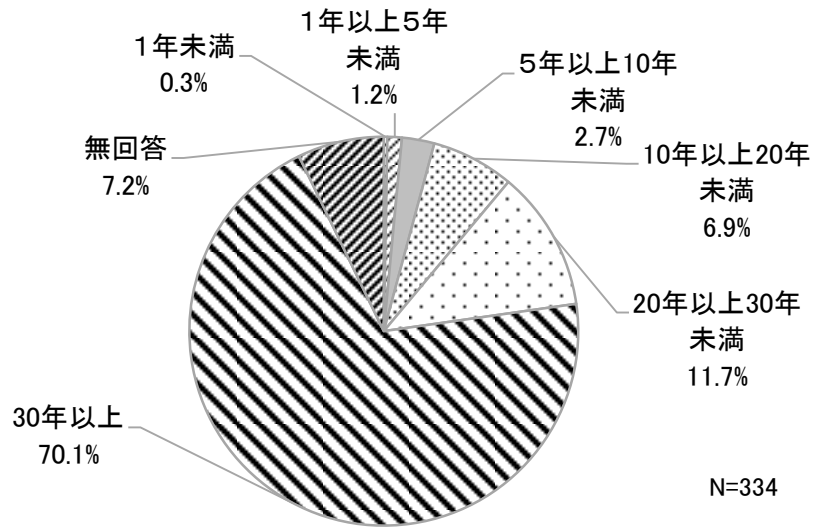
(1) 性別



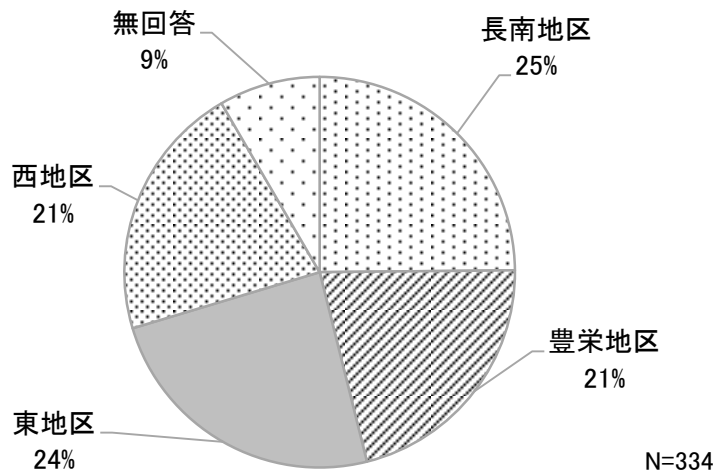
(2) 年齢



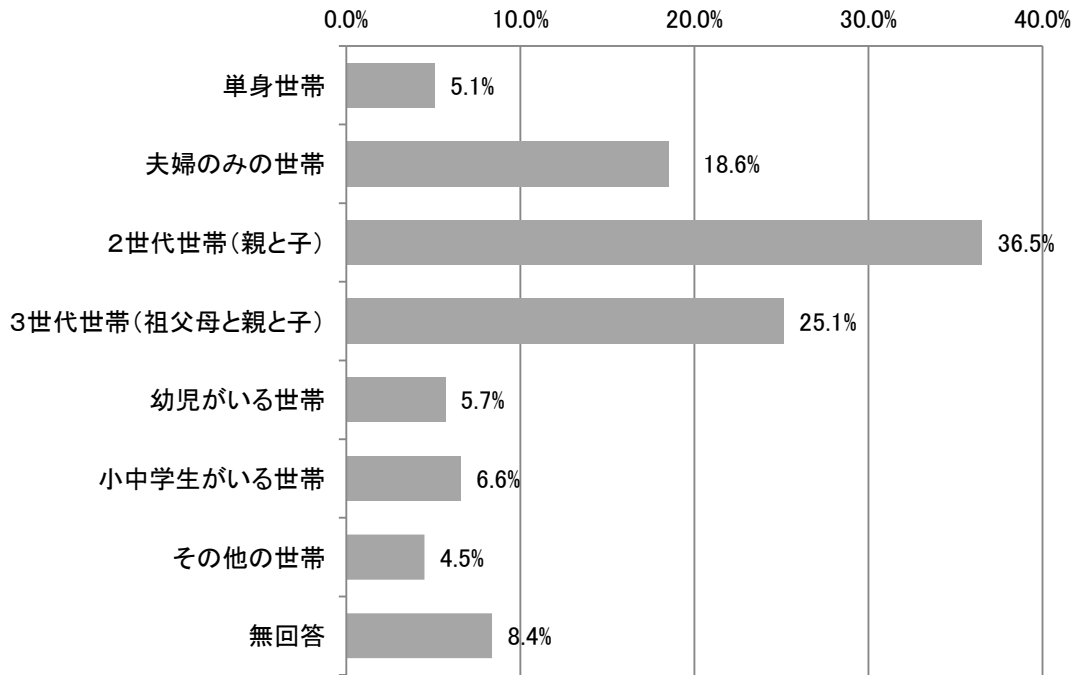
(3) 長南町での居住年数



(4) お住まいの地区



(5) 家族の構成 (該当するもの全てに○)



N=334

はじめに

問1 東京家政大学の創設者の渡邊辰五郎氏について、どの程度知っていますか？（該当するものいずれかに○をつけてください。）

- 1. 経歴や偉業も含め、以前から知っていた
- 2. 名前は聞いたことがあったが、経歴や偉業については知らなかった
- 3. 今回（4ページを見て）初めて知った

問2 町が東京家政大学と「連携協力に関する包括協定書」を締結し、長南宿のまち歩きやレシピ開発などの取組みを行っていることをご存じですか。（該当するものいずれかに○をつけてください。）

- 1. 以前から知っていた
- 2. 今回（4ページを見て）初めて知った

問3 古くは宿場町として栄え、町の中心部として賑わいを見せてきた長南宿について、現在どのような印象をお持ちですか。あなたが思う現在の長南宿の良いところと問題点について、それぞれ教えてください。（該当するもの全てに○をつけてください。）

○良いところ

- 1. バスやタクシーを利用しやすい
- 2. 東京から近く、利便性が高い
- 3. 住んでいる人が温かく、近所づきあいが盛んである
- 4. 犯罪が少なく、安心して暮らせる
- 5. 神社やお寺などが多く立地している
- 6. 歴史的な建物が残っている
- 7. 幼稚園や保育所など子育てしやすい環境が整っている
- 8. 自然が豊かである
- 9. その他 []

○問題点

- 1. 車の交通量が多く、歩行者や自転車で移動しにくい
- 2. 人通りが少なく、賑わいが薄れている
- 3. 子どもは減り、高齢化が進行している
- 4. 公共施設や文化施設など地域で集まれるところがない
- 5. 休憩したり、子どもが遊んだりできる公園や広場がない
- 6. 来訪者用の駐車場やトイレがない
- 7. 来訪者が泊まれる場所がない
- 8. 飲食や買い物ができるお店が少ない
- 9. その他 []

(次頁へ続く)

(仮称) 渡邊辰五郎記念館の施設全体についてお聞きします

問4 (仮称) 渡邊辰五郎記念館にどのような施設を望みますか。(該当するもの3つまでに○をつけてください。)

1. 子どもから大人までが利用でき、親しみやすい施設
2. 常に賑わいを醸し出す施設
3. 町の郷土や歴史、文化に触れあうことができる施設
4. 町の観光名所や特産品などをPRできる施設
5. 町民の文化・芸術活動をサポートする施設
6. ものづくりの体験講座や教育講座等が充実した施設
7. 周辺と連携したフィールドミュージアム(※)の拠点となる施設
8. 大学や町内外の団体と連携し、まちづくりのアイデアや活動を創出する施設
9. その他 ()

※フィールドミュージアムとは・・・

建物だけではなく、地域全体が博物館という考え方です。宿場町である長南宿をひとつの博物館とし、「(仮称) 渡邊辰五郎記念館」をその拠点として存在させ、多くの方に来ていただくという意味を込めています。

問5 3ページの導入機能・施設(案)以外で、追加してほしい機能・施設はありますか。(ご自由にお書きください。)

問6 地域に開かれたミュージアムとして、地域と連携した活動の拠点を目指していきたいと考えていますが、どのような活動をしてみたいと思いますか。(該当するもの全てに○をつけてください。)

1. 渡邊辰五郎など、郷土の偉人についての調査・普及活動
2. 町内の古い建物、石造物、仏像などの調査
3. 町内の里山の植物・生きものの調査
4. 町内の古道、橋梁、鉄道廃線跡などの交通遺跡の調査
5. 長南宿や町内の史跡・文化財のボランティアガイド
6. 記念館で実施する体験講座・ワークショップ等のボランティアスタッフ
7. その他 ()

(次頁へ続く)

導入機能・施設についてお聞きします

【ミュージアムについて】

問7 展示室を計画していますが、どのような展示や映像であれば見てみたいと思いますか。(該当するもの全てに○をつけてください。)

1. 郷土史に関わる展示
2. 長南町ゆかりの偉人紹介
3. 長南町の昔体験コーナー
4. 渡邊辰五郎の遺品・関連資料
5. 東京家政大学の学生による作品の展示
6. 町内外の芸術家や作家などによる企画展
7. その他 ()

問8 講座室を計画していますが、どのような講座を受けてみたいと思いますか。(該当するもの全てに○をつけてください。)

1. 裁縫、ものづくり教室
2. 歴史・文化体験教室
3. 料理教室
4. 子どもの遊び教室
5. 自然体験教室
6. その他 ()

【交流と憩いの場について】

問9 休憩・イベント機能として、「多目的室」を計画していますが、どのようなことができる場所であれば利用してみたいと思いますか。(該当するもの全てに○をつけてください。)

1. 食事会など飲食を提供するイベント利用ができる
2. 屋外と一体的なイベント利用ができる
3. 茶会や地域集会など靴を脱いで利用できる
4. 映画の上映会やコンサートなどを開催できる
5. 町民の文化活動の活動場所としての場所を借りられる
6. その他 ()

(次頁へ続く)

問10 休憩・イベント機能として、「広場」を計画していますが、あなたが行ってみたいくなる広場のイメージを教えてください。（ご自由にお書きください。）

(例:週末にはイベントが開催され、賑わいのある広場)
(例:天候に限らず、利用できる一部屋根のついた広場)

問11 物販機能として、「マルシェ（市場）」を計画していますが、どのようなものであれば利用してみたいと思いますか。（該当するもの全てに○をつけてください。）

1. 新鮮な食材や加工品を購入できる
2. 手づくりの家具や食器などを購入できる
3. 長南産の食材を使った軽食をその場で食べられる
4. 町内外の人気飲食店などの出店がある
5. フリーマーケットが開催される
6. その他 [

問12 飲食機能として、「カフェ・レストラン」を計画していますが、どのようなものであれば利用したいと思いますか。（該当するもの全てに○をつけてください。）

○料理

1. 安くておいしい料理が食べられる
2. 町の食材を使った料理が食べられる
3. 地元の手料理が食べられる
4. 町近郊の有名レストランの料理が食べられる
5. 東京家政大学の学生が考案した料理が食べられる
6. その他 [

○雰囲気

1. 天気の良い日はイスやテーブルを屋外に出して食べられる
2. 夜も飲食ができる
3. 飲食の持ち込みや調理が可能で気軽に利用できる
4. その他 [

(次頁へ続く)

【まちづくりセンターについて】

問13 どのような支援があれば利用してみたいと思いますか。(該当するもの全てに○をつけてください。)

1. 会議室、展示室、調理室などの活動スペースの貸し出し
2. まちづくり活動団体の活動情報の発信、紹介、斡旋
3. まちづくり活動を進めるうえで必要な講座の開催
4. ボランティアの募集
5. 助成金情報の配布、助成金申請の補助
6. 長南町への移住促進のための情報提供（住まいや仕事等の情報）
7. 東京家政大学との仲介窓口
8. その他 []

問14 東京家政大学と連携し、その専門性を地域のまちづくりに活用することを検討していますが、どのような取組みを一緒にやってみたいですか。(該当するもの全てに○をつけてください。)

1. 長南産の食材を使ったレシピ開発などの魅力づくり
2. まち歩きによる観光・学習資源などの魅力の発掘
3. アート作品づくりなどの地域活性化イベントの実施
4. その他 []

問15 (仮称) 渡邊辰五郎記念館に関するあなたのお考えをぜひお聞かせください。(ご自由にお書きください。)

(次頁へ続く)

基本計画の策定や運営への参加意向についてお聞きします

問16 (仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画策定にあたり、町民の意見を十分に取り入れていくためのワークショップ(意見交換会)の開催を予定していますが、あなたは参加してみたいですか。(該当するもの1つに○をつけてください。)

- | |
|--------|
| 1. はい |
| 2. いいえ |

問17 記念館建設後は、町民が記念館の運営や活動に積極的に関わってもらえるような仕組みづくりを検討しています。あなたはどのようなところに関われそうですか。(ご自由にお書きください。)

(例:子どもを対象とした遊び教室の講師ができる。) (例:農家を経営、市場に産直の食材を提供できる。)
--

問18 問16で「1. はい」と回答された方、または問17に記入された方は、今後ご連絡をさせていただく場合がございますので、差し支えなければお名前、ご住所、お電話番号をご記入ください。

お名前	
ご住所	長南町
お電話番号	

(次頁へ続く)

最後にあなたについてお聞かせください。

問19 あなたご自身について、差し支えない範囲でお答えください。

(1) 性別 (該当するもの <u>1つ</u> に○)	1. 男性 2. 女性
(2) 年齢 (該当するもの <u>1つ</u> に○)	1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳代以上
(3) 長南町での居住年数 (通算の居住年数、 該当するもの <u>1つ</u> に○)	1. 1 年未満 2. 1 年以上 5 年未満 3. 5 年以上 10 年未満 4. 10 年以上 20 年未満 5. 20 年以上 30 年未満 6. 30 年以上
(4) お住まいの地区 (該当するもの <u>1つ</u> に○)	1. 長南地区 2. 豊栄地区 3. 東地区 4. 西地区
(5) ご家族の構成 (該当するもの <u>全て</u> に○)	1. 単身世帯 2. 夫婦のみの世帯 3. 2 世代世帯 (親と子) 4. 3 世代世帯 (祖父母と親と子) 5. 幼児がいる世帯 6. 小中学生がいる世帯 7. その他の世帯
(6) 日頃どんな活動をして いますか (ご自由にお書きください。)	(例: 町会で防犯部に所属、小学校のPTA) (例: 民謡サークルで活動している)

**アンケートは以上で終わりです。
皆さまからのご意見を基本計画策定に向けた検討に役立てていきたいと思
います。ご協力ありがとうございました。**

5 導入機能・諸室構成の検討に関わるワークショップの結果

(1) 目的

記念館をどのように利用していきたいか、また、記念館にあるとうれしい機能などの町民意向を把握し、基本計画策定に向けた基礎資料とする。

(2) 開催概要

①開催日

平成 29 年 8 月 19 日（土） 13:30～16:30

②参加者数内訳

・東京家政大学 教授	計 1 名
・検討委員会	計 9 名
・長南小学校 P T A 常任委員会役員	計 3 名
・長生学園幼稚園 長南在住父母の会役員	計 3 名
・長南町住民（アンケート回答者 9 名）	計 21 名
・長南町	計 4 名（事務局）

③スケジュール

時間	プログラム	内容
13:30 - 14:00	開会式 オリエンテーション	○開会 ・あいさつ ○オリエンテーション ・記念館設立の経緯 ・敷地状況 ・基本構想の要点
14:00 - 14:15	参加者同士の自己紹介	○自己紹介 ・「名前」「長南町の好きなところ」
14:15 - 15:20	ワーク① 「記念館をどのように利用 していきたいかを考える」	○基本構想で取りまとめた機能の紹介 ○意見交換
15:20 - 15:30	休憩	
15:30 - 15:50	ワーク② 「記念館にあるとうれしい機能 を考える」	○追加したい機能の検討 ○どんな施設・空間にしたいかの検討
15:50 - 15:55	休憩	
15:55 - 16:10	全体発表	○発表
16:10 - 16:30	閉会式	○東京家政大学 手嶋教授より講評 ○閉会 ・今後の流れ ・あいさつ ・他の班の検討結果へのシール投票

(3) 検討結果 (括弧内の数字はシール投票による獲得票数)

①ミュージアム

○展示機能

渡邊辰五郎氏の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・渡邊辰五郎氏の功績 (1) ・渡邊辰五郎氏と明治時代の交流エピソード
渡邊辰五郎氏が生まれ育った長南町の紹介	<p>① 長南町の歴史に関わる展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神輿や和太鼓 ・庁南氏、武田氏の主な活躍とその活動範囲 (1) <p>② 「教育の町」を目指している長南町の展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡邊辰五郎氏や永野たけ氏が女性の教育に情熱を注いだことがもともととなっている、「教育の町」を目指す長南町 ・長南町の学校教育の特徴 (漢字検定がカリキュラムに組み込まれている、など) <p>③ 長南町の名産品 (お米) の味を知ることができる展示 (2)</p> <p>→学校とも協働し、地元の子どもたちに、地元のお米のよさを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お米の育て方の展示
町民の活動発表	<p>① 町民による自主企画展</p> <p>→継続的な施設利用に繋げるために、書道や食、子育てなどのグループ活動の表現の場として使う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民用ギャラリーの設置 (5) ・中学生の制作物や活動を発表する場の設置 ・自然を取り込んだ空間

○研修・講座機能

町民発案の講座	<p>→ものづくりで得意分野のある町民が主体となり、様々な講座を企画・開催する。</p> <p>① 着付け講座 (1)、着物づくり講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンの設置 (3) ・長南町の花「紅花」による染物ワークショップと併せた開催 (効果) ・日常的に着物で町を歩く人が増える。(1) ・日本舞踊体験に繋がる。 <p>② 収穫体験～料理教室</p> <p>→長南町に長年住んでいる「おかあさん」が、若者の「おかあさん」や東京家政大学の学生に、長南町の食材をつかった調理方法を伝承する。(郷土料理研究) (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長南町で食材を収穫し、それを記念館で調理するツアーの企画 (例：梅→ジャム・干し・ジュース / タケノコ→ごはん / ブルーベリー→ジャム) ・水のきれいなところでわさびをつくる企画
---------	--

	<p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの資源に触れることができる。 ・地元だけでは食べきれない食材を有効活用できる。 <p>③ 子ども向け体験教室</p> <p>→時代の変化により子育て世代が子どもに教えられない昔の遊びなどを、年配者に教えてもらう教室を開催し、昔の知恵の伝承を通じた多世代の交流を行う。</p>
--	---

○收藏機能

	・なし
--	-----

②まちづくりセンター

○会議・打合せ機能

多機能な場所貸し	<p>→継続的な施設利用に繋げるために、書道や食、子育てなどのグループ活動ができる場とする。</p> <p>① 簡易打合せ～事務所利用まで、幅広い用途で使える場所づくり（１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備利用登録の簡易化による、利用希望者の手間の軽減（２） ・事務所としての貸し出し（１） <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の拠点となる。
----------	---

○情報発信機能

住民向けの衣食住に関する情報、観光客向けの観光情報	<p>① 観光案内所</p> <p>→長南町の地図及び観光地を掲示する。</p> <p>② 移住支援情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の空き家情報バンクとの連携 <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会の人に聞かれた際に紹介できる。 <p>③ 食べきれない食材情報</p> <p>→おすそ分けしても自宅で食べきれない食材及び食材を探している人の情報を発信し合う。</p> <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内で認知されることで、リピーターが誕生する。 ・地元だけでは食べきれない食材を有効活用できる。 <p>④ 未利用農地情報</p> <p>→耕作放棄地をなくし、里山再生をする。（３）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用農地の売出・貸し出し情報を発信 ・未利用農地の無料貸し出し
---------------------------	---

③交流と憩いの場

○休憩・イベント実施機能

園庭と散策路の玄関口の整備	<p>① 多目的に使える広い園庭の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッグランを設置することによる来訪者増加 ・日本庭園のような広場 <p>② 散策路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の利用（記念館との一体化、川沿いを公園にする、など）（2） ・川を綺麗にして川遊び
長南町と渡邊辰五郎氏を知るためのイベント等	<p>① 昔の市の復活（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民による六斉市への出店 ・軽トラ販売による朝市 <p>② 祭りの活性化</p> <p>→やらなくなってしまった神輿を東京家政大学の学生に担いでもらって復活させる。</p>
町民発案のイベント	<p>① 小さな音楽会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の人たちで演奏する小規模な企画 <p>② 読み聞かせ会</p> <p>③ 田植え体験</p> <p>④ 子ども向けおにぎりづくりイベント（1）</p>
子どもの遊び場	<p>① 子ども向けの広場</p> <p>→子ども向けの目玉施設となるような広場をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが騒いでも大丈夫な場所 ・雨が降っていても楽しめる場所 ・親子連れで楽しめる遊具の充実（効果） ・子どもも保護者も安心して遊ぶことができる。

○物販機能

長南町ならではのものの販売	<p>① 長南町の名産販売</p> <p>→長南町の名産を販売する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家による直売所（農家レストラン）の設置（配達も含む） ・長南町の家庭料理の販売 ・長南町のグルメの販売（アグリ、おらが丼など） ・ちょな丸グッズの販売（効果） ・食品開発に発展する可能性がある。 <p>② 町民がつくったものの販売（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民手づくりの工芸品販売コーナー設置（効果）
---------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・長南町ならではの土産が生まれ、町民が親戚や友達へプレゼントできる。
--	--

○飲食機能

「おかあさん」のおもてなし	<p>① 町民が町民のために開くレストラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同窓会会場としての利用（１） ・家族連れで食べに行ける空間（１） ・小さい子ども連れが来やすい座敷の設置 ・室内と室外への飲食スペース設置。外のスペースでは子どもが外で遊ぶのを見守りながら飲食可能。高齢者には室内外とも椅子利用が理想的。 ・カラオケ、囲碁、将棋などが楽しめるスペースの設置 ・長南町の郷土料理の提供 ・里山にいるイノシシの料理の提供
その他	<p>① 東京家政大学生がプロデュースしたレストラン</p> <p>② 1DAYレストラン →お店をやってみたいと思っている町民のための、お試し1DAYレストラン。</p> <p>③ 軽食処</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしでも行きやすい ・安くて気軽に来訪可能（ソバ、うどんなど） <p>④ テナントを入れる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の飲食業者の誘致

④その他

○管理・運営機能

	<p>① 駐車スペース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセスしやすくするための駐車スペースの確保 ・イベントにも使用できる広い駐車場の設置（効果） ・駐車スペースが確保されることで誰でもアクセスしやすくなり、コミュニティの推進を図ることができる。
--	--

⑤あるとうれしい機能（追加議論）

○交流機能

多世代の交流	<p>① 多世代の交流（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩だけでなく、おしゃべりや軽食（自動販売機、弁当注文）をすることのできる座るスペースの確保 ・外から人が集まる空間の計画 <p>② 東京家政大学との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京家政大学の学生と町内の子どもたちとの交流スペースの確保。孫を遊ばせたい（２）
子育て世代と地域との交流	<p>① 子育て世代と地域との交流（２）</p> <p>→就学するまでの期間、子育て世代が、子育て世代以外の町民と交流できる場をつくる。（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふらっと行ったときに、知り合いになったおじいちゃん、おばあちゃんが色々教えてくれる（餅つき、七夕の笹が手に入る場所、月見団子のつくり方、など）場（１）

○観光機能

印象	<p>① 関心を持たれる名称</p> <p>→町民だけを対象としても成り立たないため、町外の人を呼び込む必要がある。</p> <p>→農業に関係するトラクターなどの実物を展示し、「トラクター広場」などの愛称で呼ばれるようになるとうい。施設名は重要である。</p> <p>→渡邊辰五郎氏の知名度は低い「道の駅」という名称にすると関心が高まるのではないか。</p> <p>② 記念館のシンボル</p> <p>→町外からの車をいかに引き留めるか。施設が成り立つためには来訪者を引き留めることが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“農村にある記念館”のシンボルの検討
交通手段	<p>① 交通手段（茂原駅～長南町内・記念館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は近場でないと行けない。（１） ・バス（１００円）は運行本数が少なく町中でも利用者が少ない。高齢者はデマンドタクシー（５００円）を利用する人が多いかもしれないが、金額が高い。
ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・地域向け、来訪者向けのゾーン分け

○宿泊機能

東京家政大学との連携	<p>① 東京家政大学の長南キャンパス（宿泊機能付き）</p> <p>→大学との交流には必要</p>
------------	--

	→東京家政大学卒業生が所属する緑窓会の千葉県支部から、30名ほどが長南町で定期的に同窓会をしていた。保養センター（食事、宿泊利用）がなくなったことで、茂原駅から保養センターまでの送迎バスもなくなり、長南町に行きづらくなってしまった。宿泊施設ができればまた行きやすくなる。
オリンピックに合わせて整備	→東京オリンピックで、県内が競技会場となっている競技がある。この機会を活かして宿泊機能を提供し、運営費の足しにする。

○その他

①既存施設との連携

- ・計画中の機能を全て入れようとすると敷地が狭いため、旧長南小学校と連携するべき（2）
- ・公民館がうまく使えている
- ・公民館の機能を記念館に移行していく計画はなく、公民館は公民館で建て替えをする話が出ている

②東京家政大学との連携

- ・継続的に学生さんにきてもらって新しい視点を入れてほしい

③周囲の自然を楽しむ

- ・子どもが遊べる公園が町中にたくさんほしい
- ・笠森観音 子宝の神様

④その他

- ・長い目で見ると町民による運営は難しい
- ・記念館内でよろず相談窓口を受けられる場所がほしい（医療、法律、福祉、結婚）
- ・図書室がほしい
- ・時間を気にせずにカラオケができるとよい
- ・憩いの家の機能を記念館に反映できないか（老朽化で廃止したら）

(仮称) 渡邊辰五郎記念館基本計画

発行年月：平成 30 年 3 月

発 行：長南町教育委員会生涯学習課
住 所：千葉県長生郡長南町長南 2125 番地
電 話：0475-46-1194
F A X：0475-46-1194